KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

AX-D7

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

ご使用の前に、「安全上のご注意」（2〜6ページ）を必ずおよみください。

Progressive Scan　JPEG　MP3/WMA

B60-5612-10 04　MA (J) OC　0508

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

警告

交流100ボルトの電圧で使用する

この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流（DC）電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

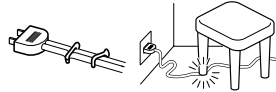
水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

警告

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

きれいにしましょう

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

注意

カセットテープ、ディスク挿入口に手を入れない

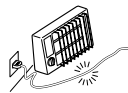
手がはさまれて、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

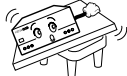
レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

⚠注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。
特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。

液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

はじめに

取扱説明書の使用方法

本書は、準備編、基本編、応用編、知識編の４つの章に分かれています。
まずはじめに安全上のご注意をよくお読みください。

準備編
お手持ちのオーディオ機器との接続のしかたや各部の名称について説明しています。お手持ちのオーディオ機器によっては接続が複雑になることがあります。取扱説明書をよくお読みのうえ、それぞれの機器に接続してください。

基本編
曲の再生など、基本的な機能の操作方法を説明しています。

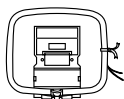
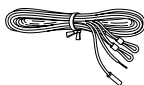
応用編
曲の編集など、応用的な機能（便利な機能）の操作方法を説明しています。

知識編
「故障かな？と思ったら」、「定格」など、知っておくと便利な情報を記載してあります。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

付属品

AM ループアンテナ（1個）

FM 室内アンテナ（1本）

スピーカーコード（スピーカーに同梱）
フロントスピーカー用２本（赤ライン：2m）
サラウンドスピーカー用2本（青ライン:2m）

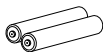
ビデオコード（黄色）（1本）

オーディオコード（白、赤）（2本）

システムコントロールコード（φ3.5mm－φ3.5mm）（1本）

デジタルオーディオプレーヤー録音コード（φ2.5mm－φ3.5mm）（1本）

リモコン（1個）

リモコン用単4乾電池（2本）

ルームイコライザー用マイク（コード長約5m）（1個）

注意
ここを開けると不可視レーザーが放射する
レーザー放射を直接見たりふれたりしないこと

この製品には、「クラス 3B」に分類されるレーザーダイオードが使用されております。
レーザー放射を直接見たり、ふれたりしないで下さい。
貼付位置：本製品内部のMDレーザーピックアップユニットのカバー

本機の特長

DVDプレーヤー搭載コンパクトハイファイコンポーネントシステム

DVD ビデオ、ビデオ CD、CD の再生が可能なマルチプレーヤーと MD レコーダーを搭載。DVD ビデオソフトを再生し MD に録音も可能です。(DVD ビデオ、ビデオ CD、MP3ファイル、WMA ファイルを MD へ録音するときは、アナログ録音になります。)

MP3/WMA再生機能

MP3/WMA 形式の音声圧縮フォーマットで記録された音楽ファイルの再生ができます。

JPEG再生機能

JPEG形式で記録された画像ファイルの再生ができます。画像を表示したままMP3/WMAファイルを楽しむこともできます。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーコントロール機能搭載(デジタルオーディオリンク)

ケンウッドのデジタルオーディオプレーヤー※の基本的な操作を、本体ボタンおよび本機の付属リモコンにて行うことができます。
※対応機種:HD20GA7、M1GB5、M512B5(別売の専用ケーブル(PNC-150)での接続が必要です。)

ルームイコライザー機能

本機には、部屋のレイアウトや設置場所に応じて最適な音響空間を自動で構築することができる「ルームイコライザー」機能を搭載しています。従来は、最適な音響空間は試聴しながらスピーカーや家具などの位置を移動して環境を整えなければならず、時間と手間、専門的な知識が必要とされました。この機能により、実際に物を動かさずに簡単に短時間でお部屋に応じた最適な音響空間を設定することができます。

デジタルサウンドイコライザー機能

本機には DSP でデジタル処理を行うデジタルサウンドイコライザー機能を搭載しています。
これまでの単なる音質調整と比べ、楽しみながら、より自分の好みの音に調整することができます。
作り出した音を MD に録音することもできます。(通常録音、4 倍速録音)

V.F.S.Ⅲ(バーチャル・フロント・サラウンド)、CLEAR VOICE(クリア ボイス)機能

DVD 再生時だけでなく、CD や MD などの音楽再生時にも V.F.S. 機能により、サラウンドスピーカーを後方に設置しなくても臨場感あふれる自然なサラウンド効果をお楽しみいただけます。また、CLEAR(クリア) VOICE(ボイス)機能を搭載、セリフやボーカルなどの音声をクリアーに再生することができます。

MD ロングプレイモード対応

ATRAC 3(MDLP)による長時間録音、再生機能(LP2、LP4)を搭載。標準の 2 倍(約 160 分 *)または 4 倍(約 320 分 *)のデジタル長時間録音、再生ができます。(* 80 分ディスクを使用した場合)

CD → MD High(ハイ) Speed(スピード) ダビング対応 (4 倍速)

CD から MD へカンタン、4 倍速でダビングできる便利な機能です。(全曲、1 曲)

グループ機能

多数の曲を何曲かずつのグループに分けて管理できる便利な MD グループ機能を搭載しています。

便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能です。

- **ワンタッチ録音：** ボタンを押すだけで、CD 1 枚または 1 曲をカンタンに録音できます。
- **プログラム録音：** 好きな曲を好きな曲順で録音できます。

便利なタイマー機能

- **タイマー再生、タイマー録音機能：**
  タイマー再生（AI タイマー再生）とタイマー録音を 2 系統（**PROG. 1**, **PROG. 2**）設定ができます。
  （AI タイマーは、タイマー再生開始後、設定したレベルまで徐々に音量が上がります。）
- **スリープタイマー機能：**
  設定時間になると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聞きながらお休みになりたいときに便利です。

本機は、合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本機は、すべての高解像度テレビと互換性があるというわけではないことをご了承ください。そのため、画像がみだれて表示されることがあります。プログレッシブスキャン（525p順次走査）再生時に問題がありましたら、映像の出力形式を、通常解像度側に切り替えることをお勧めします。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブル D記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品

「DTS」及び「DTS Digital Surround」はデジタルシアターシステムズの登録商標です。

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

知　識　編

本書で使用しているディスク記号について

ディスクにより、使える機能が異なります。本書では次の記号を使い、その機能が使えるディスクを表しています。

DVD	: DVD ビデオで楽しめる機能です。	CD	: 音楽CD(CD-R/-RW)で楽しめる機能です。
ビデオCD	: ビデオCDで楽しめる機能です。	MD	: MDで楽しめる機能です。
JPEG	: JPEGファイルで楽しめる機能です。	MP3/WMA	: MP3/WMAファイルで楽しめる機能です。

接続のしかた

システムと付属品の接続

本機と付属品の接続方法です。

⚠注意　*接続のご注意*

機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな？と思ったら…" を参照してマイコンをリセットしてください。→131

⚠注意

機器を設置する際には、機器に十分な放熱をさせるために下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- C-AXD7はシステムの一番上に置いてください。
- 機器の上面に、放熱の妨げになるようなものを置かないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
  上面：50cm以上　　背面：10cm以上
- ベッド、ソファー、じゅうたんなどの上に機器を設置しないでください。ほこりを吸い込むと火災の原因になることがあります。

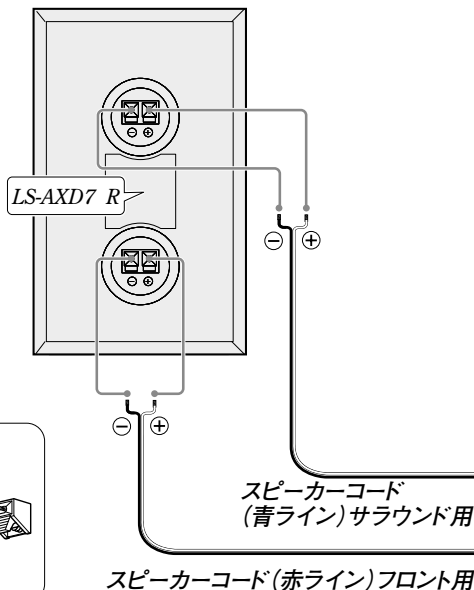
⚠注意

機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

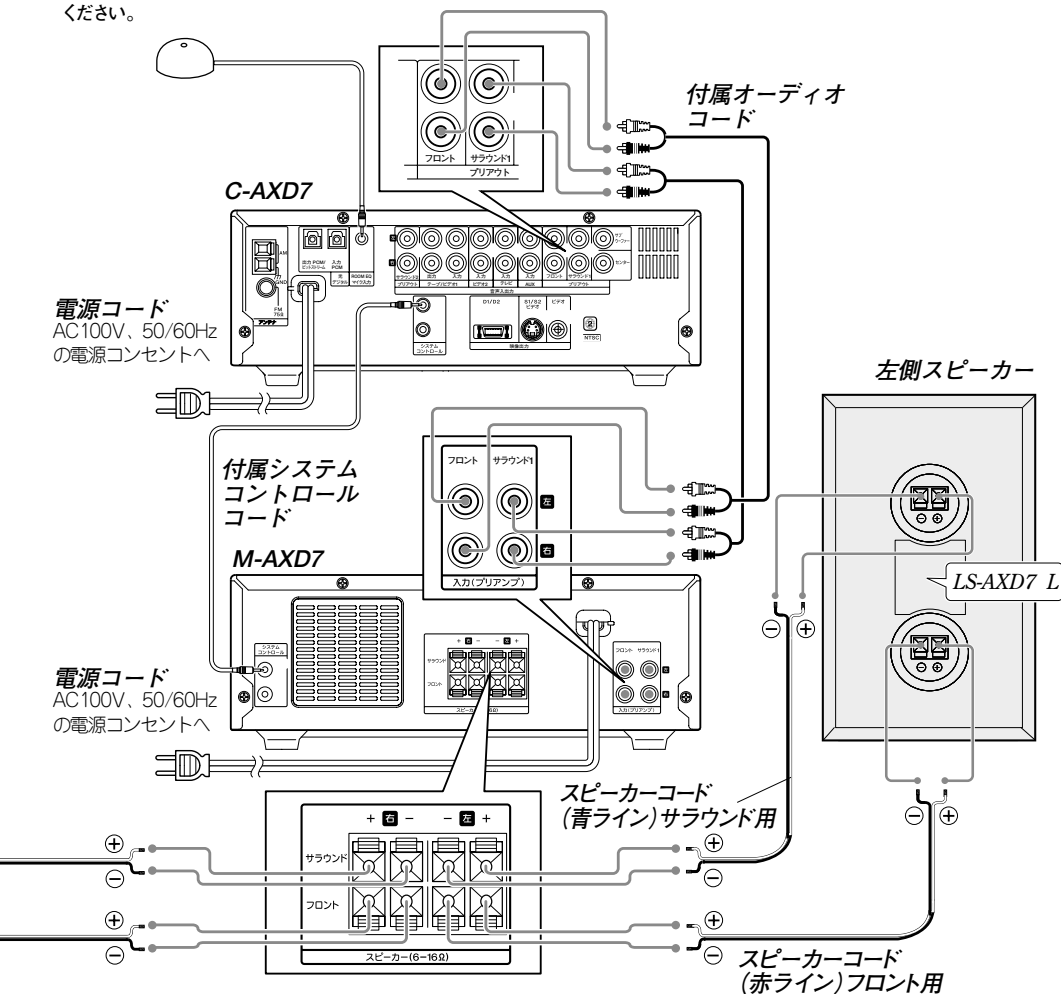
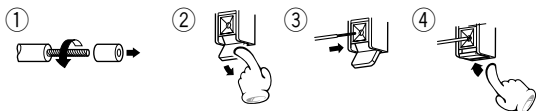
⚠注意

スピーカーの磁気でテレビやパソコンのモニターの色が乱れることがあります。スピーカーはテレビやモニターの近くには置かないでください。

スピーカーの接続

右側スピーカー

スピーカーコードの取り付けかた（スピーカー部）

①
②
③
④

- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。故障の原因になります。
- 左右のスピーカーは、フロントサラウンドスピーカーが内側を向くように、L、Rに注意して設置してください。
- 極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。
- 電源コードを電源コンセントから抜くときは、電源をオフにしてから抜いてください。

● サブウーファー、センターおよびサラウンド2端子を今後発売予定の3.1チャンネルスピーカーシステムに接続すると、5.1チャンネルサラウンドシステムに発展させることができます。詳しくはお求めの機器の取扱説明書をご覧ください。

準備編

アンテナの接続

アンテナを接続しないと AM、FM 放送を受信できません。下記にしたがって正しく接続してください。

FM屋外アンテナ（市販品）

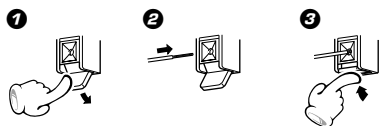
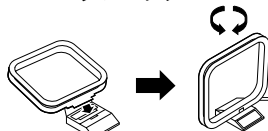
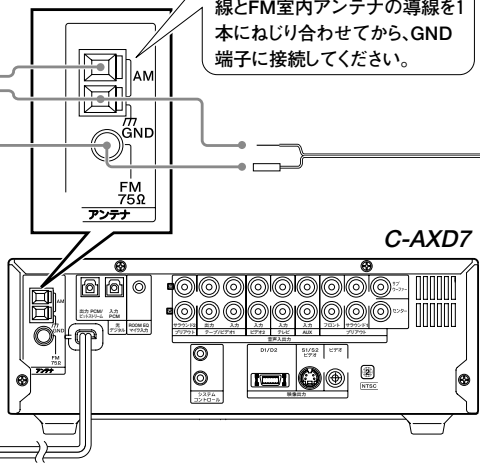
FM放送をよりクリアーに受信するためには、FM屋外アンテナを接続します。
75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

FM 室内アンテナ

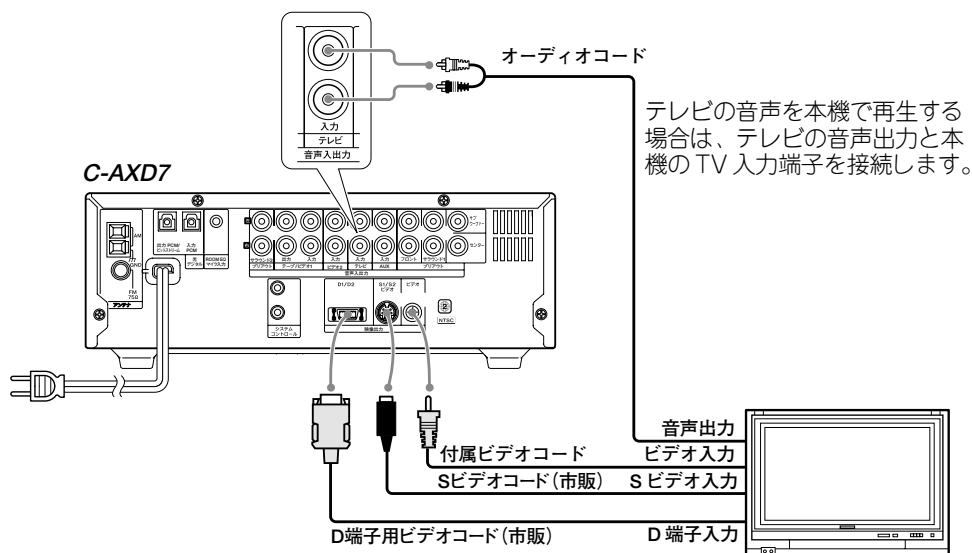
付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

AM ループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

テレビとの接続

テレビと接続するときのご注意

本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して接続した場合やビデオ内蔵型テレビでは、コピー防止機能が働き、再生のときに画像が乱れることがあります。

ビデオ入力端子が付いているテレビとの接続

付属のビデオコードを使って、本機の**"映像出力"**部**"ビデオ"**端子と接続します。

- 接続するテレビ（4：3または16：9）に応じて、DVD/CD設定の**"TVアスペクト"**を設定してください。（→115）

Sビデオ入力端子が付いているテレビとの接続

市販のSビデオコードを使って、本機の**"映像出力"**部**"S1/S2 ビデオ"**端子と接続します。

ビデオ入力端子よりもさらに鮮明な映像でお楽しみいただけます。

- 接続するテレビ（4：3または16：9）に応じて、DVD/CD設定の**"TVアスペクト"**を設定してください。（→115）
- 接続するテレビに応じて、Sビデオ信号を切り換えてください。（→122）

D端子が付いているテレビとの接続

市販のD端子用ビデオコードを使って、本機の**"映像出力"**部**"D1/D2"**端子とテレビのD端子を接続します。

プログレッシブスキャン対応テレビのD2～D4端子に接続すると、チラツキの少ない高密度の映像でお楽しみいただけます。

- 本機の他の映像出力は同時に接続しないでください。
- 接続するテレビ（4：3または16：9）に応じて、DVD/CD設定の**"TVアスペクト"**を設定してください。（→115）

本機の "D1/D2 出力 " 端子について

S 映像よりも画質のよいコンポーネント映像信号（色同士の干渉を避けるため 3 本の輝度・色差信号に分けたもの）は、従来 3 本のコードで接続していました。D 端子はこのコンポーネント映像信号を 1 本のコードで接続できるようにしています。また、D 端子では、映像信号と同時にテレビの制御信号（走査線数やアスペクト比の切り替え）も付加されています。
D 端子には、走査線数と走査のしかたで D1 ～ D5 までの規格があります。
本機の "D1/D2 出力 " 端子は、D2 規格の走査線数 525 本、インターレース（525i）／プログレッシブ（525p）に対応しています。

インターレースとプログレッシブ

テレビの画面走査方式です。テレビに映像を映し出すとき、画面走査を画面上から一つ飛びに走査線を映し出す方式をインターレースといい、画面上から順番に走査線を映し出す方式をプログレッシブと言います。
プログレッシブの方が、インターレースよりもチラつきの少ない映像になります。
本機は、プログレッシブスキャンの映像出力に対応しています。本機の D 端子とプログレッシブスキャン対応テレビの D2 ～ D4 端子を接続し、本機のスキャンモードを "PROGRESSIVE" に設定すると、より高密度の映像でお楽しみいただけます。

インターレースとプログレッシブを切り換える

本機の "映像出力" 部 "D1/D2" 端子とプログレッシブ対応テレビの D2 ～ D4 端子に接続したときは、本機からプログレッシブ方式の映像信号が送られます（"PROGRESSIVE" 表示が点灯）。
ただし、再生する DVD ビデオソフトなどによっては、不自然な映像になることがあります。このようなときは、インターレースに切り換えてください。

切り換えかた

リモコンの PROGRESSIVE ボタンを押して "PROGRESSIVE" または "INTERLACE" を選ぶ

- ボタンを押すたびに文字情報表示部に **"PROGRESSIVE"** または **"INTERLACE"** と表示されます。

"PROGRESSIVE" 表示について

本機からプログレッシブ方式の映像信号が出力されているとき点灯し、インターレース方式の信号が出力されているとき消灯します。

- DVDディスクによっては、強制的にインターレース方式の映像信号出力を要求するシーンが収録されているものがあります。このようなシーンでは、本機の映像信号出力がプログレッシブに設定されていても、ディスクの要求にしたがってインターレース方式の映像信号が出力され、**"PROGRESSIVE"** 表示が消灯します。

他の機器（市販品）との接続

注意　*接続のご注意*

機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

“外部入力ソースを聞く” → 54

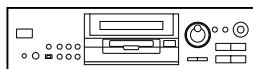
セレクター名	背面端子名
TAPE/VIDEO1	テープ / ビデオ 1 入力
VIDEO2	ビデオ 2 入力
TV	テレビ 入力
AUX	AUX 入力
DIGITAL-IN	光デジタル 入力

カセットデッキ、
ビデオデッキなど

音声入力
音声出力

DVD プレーヤーなど

音声出力

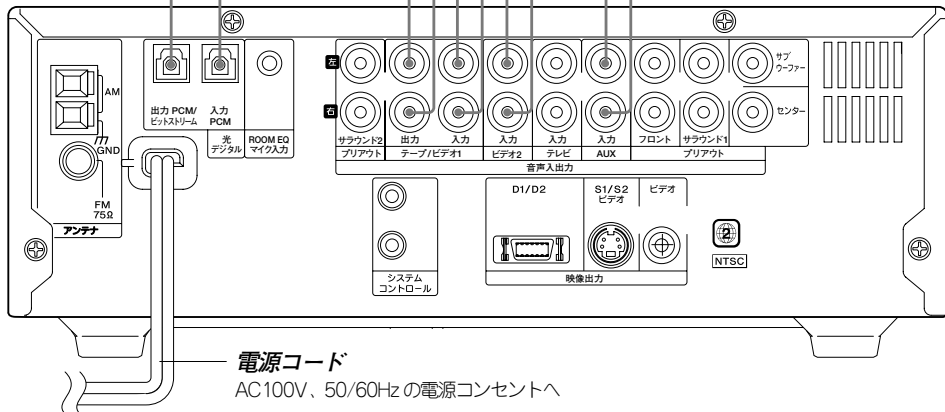
MD などのデジタル機器

光デジタル入力
光デジタル出力
（PCM 信号のみ）

音声出力

テレビゲームなど

C-AXD7 ※

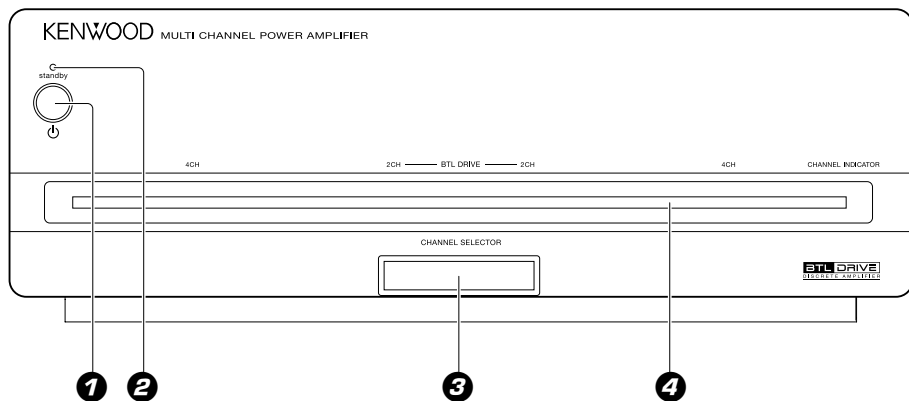
AM
GND
FM 75Ω
アンテナ
出力 PCM/ビットストリーム
入力 PCM
光デジタル
ROOM EQ マイク入力
左
右
サラウンド2 プリアウト
出力 入力 テープ/ビデオ1
入力 ビデオ2
入力 テレビ
入力 AUX
フロント
サラウンド1 プリアウト
サブウーファー
センター
音声入出力
システムコントロール
D1/D2
S1/S2 ビデオ
ビデオ
映像出力
NTSC

電源コード
AC100V、50/60Hz の電源コンセントへ

※本機の「出力 PCM/ ビットストリーム」端子は DVD/CD ソースのデジタル音声のみ出力されます。

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。

各部のなまえと働き

本体メインアンプ部

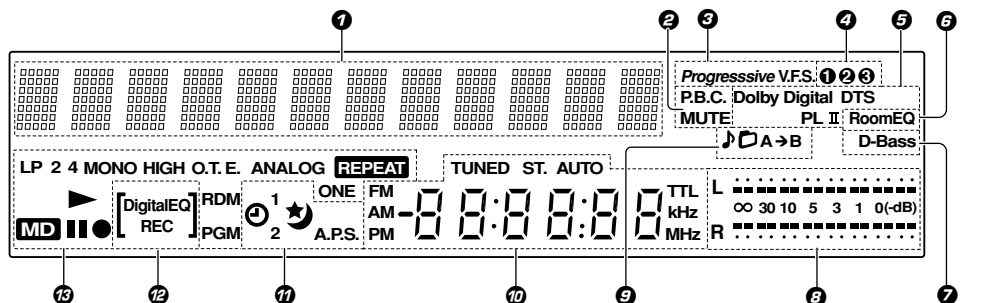
M-AXD7

❶ ⏻（電源） ボタン →30
電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❷ Standby（スタンバイ）表示ランプ →20
スタンバイ時に点灯します。

❸ CHANNEL（チャンネル） SELECTOR（セレクター） ボタン
アンプを4チャンネル（25W×4）と2チャンネル（50W×2）に切り換えます。

❹ 表示部
動作チャンネルをランプで表示します。

表示部（プリアンプ部）

本文中のディスプレイ表示は概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。

❶ 数字および文字情報表示

❷ MUTE（ミュート）表示、P.B.C.表示 →31 →79

❸ Progressive（プログレッシブ）表示 →16
V.F.S.表示 →37

❹ SOUND（サウンド） PRESET（プリセット）メモリー表示 →36

❺ リッスンモード関連表示 →38

❻ Room（ルーム） EQ表示 →32

❼ D-Bass（バス）表示 →34

❽ レベルメーター →127

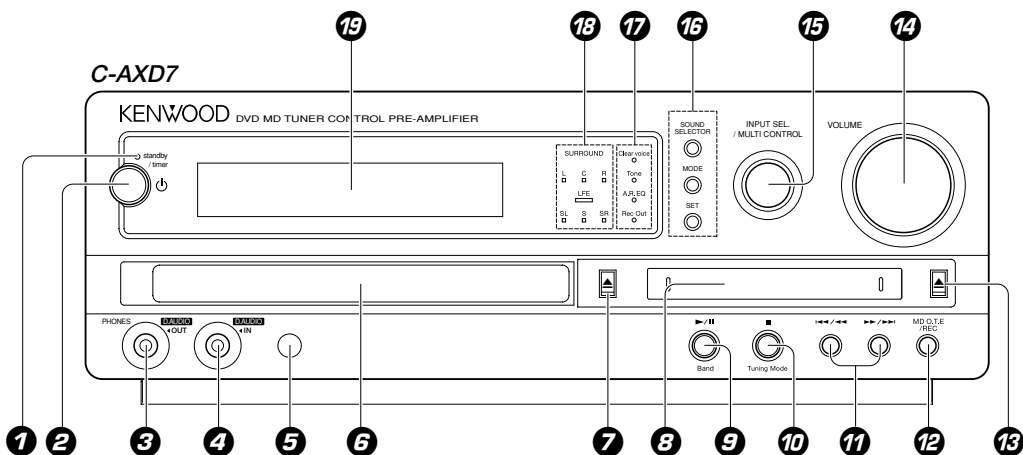
❾ ファイル、フォルダ、A-Bリピート表示

❿ 時計、時間、周波数表示

⓫ タイマー関連表示 →110

⓬ デジタルイコライザー録音表示 →61

⓭ CD、MD、DVD関連表示

本体プリアンプ部

❶ Standby(スタンバイ)/Timer(タイマー) 表示

赤色の点灯：通常のスタンバイ状態

緑色の点灯：タイマースタンバイ状態

消灯　：電源オンの状態

点滅の場合は"***故障かな？と思ったら…***"をご覧ください。 →131

❷ ⏻(電源) ボタン →30

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❸ PHONES(ホーンズ)/D.AUDIO(デジタルオーディオ) OUT(アウト)

ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を接続します。 →31

または、別売のデジタルオーディオに出力する端子です。この場合は D.AUDIO(デジタルオーディオ) OUT(アウト) の設定を REC(レコーディング) OUT(アウト) ON(オン) にします。 →65

❹ D.AUDIO(デジタルオーディオ) IN(イン) →55

別売のデジタルオーディオの音声を入力する端子です。

❺ リモコン受光部 →23

リモコンからの信号を受信します。

❻ DVD/CD ディスクトレイ

❼ ⏏(DVD/CD取り出し)ボタン →40

❽ MD 挿入口 →46

❾ ►/❚❚ (再生/一時停止)/Band(バンド)ボタン →30

ディスクや、MDの再生を開始します。再生中に押すと一時停止をします。

放送受信時、放送バンドを切り換えます。 →49

❿ ■(停止)/TUNING(チューニング) MODE(モード) ボタン

DVD/CD、MDのとき： →41 →47

ディスクを停止するときに使います。

チューナーのとき： →52

AUTO(オート)（オート選局、ステレオ受信）と MONO(モノラル)（マニュアル選局、モノラル受信）の切り換えを行います。

スタンバイ状態のとき： →20

表示部に時計を表示します。

⓫ ⏮/⏭(スキップ)/◄◄/►►(サーチ)ボタン

通常は以下のときに使います。

– DVD/CDやMDの曲やチャプターの飛び越し(スキップ) →42 →47

– プリセット放送局を選ぶ →49

– 押し続けるとDVD/CDやMDの曲やチャプターの早送り、早戻し(サーチ) →41 →47

⓬ MD O.T.E./REC(レコーディング) ボタン →59

CDからMDへのワンタッチエディット録音、または他のソースをMDへ録音するときに使います。

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

⑬ ▲(MD取り出し)ボタン →47

MDを取り出すときに使います。

⑭ VOLUME ツマミ →31

右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

⑮ INPUT SEL./MULTI CONTROL ツマミ →30

入力ソース(TUNER、DVD/CD、MD、TAPE/VIDEO1、VIDEO 2、TV、AUX、DIGITAL IN、D.AUDIO)を選択します。

MODEボタンを押してメニューモードにし、好みの項目を選ぶときに使います。**SETボタン**を使って確定します。

機能メニューは以下のとおりです。

REC MODE	→60
O.T.E. SPEED	→80
REC INPUT	→60
D.EQ Rec Mode	→61
TRACK MARK	→61
REC LEVEL	→62
TEXT COPY	→62
GROUP MAKE	→62 →107
AUTO MARK	→61
D.AUDIO OUT	→65
INPUT LEVEL	→54
ケンメイセッテイ	→50
DIMMER SET	→126
LEVEL METER	→127
A.P.S. SET	→127
TIME ADJUST	→29
TIMER SET	→111
SOUND PRESET	→36
AUTO ROOM EQ	→32

- 選ばれているソースによって表示されないメニューがあります。

また、**SOUND SELECTORボタン**を押してサウンド設定モードにし、好みの項目を選ぶときに使います。**SETボタン**を使って確定します。

機能メニューは以下のとおりです。

"SURROUND"	→37
"D-BASS"	→34
"TONE"	→34

⑯ SOUND SELECTOR ボタン

INPUT SEL./MULTI CONTROL つまみの機能をサウンド設定モードへ切り換えます。

MODE ボタン

INPUT SEL./MULTI CONTROL つまみの機能をメニュー選択モードへ切り換えます。

SET ボタン

MODE操作中のとき:選択項目の確定に使います。

SOUND操作中のとき:選択項目の確定に使います。

DVD/CD、**MD**のときプログラムNo.の確定に使います。

MD入力のとき:MD編集中の確定などに使います。

⑰ Clear voiceインジケーター

Toneインジケーター

A.R. EQインジケーター

Rec Outインジケーター

⑱ サラウンドインジケーター

L : レフト信号インジケーター

C : センター信号インジケーター

R : ライト信号インジケーター

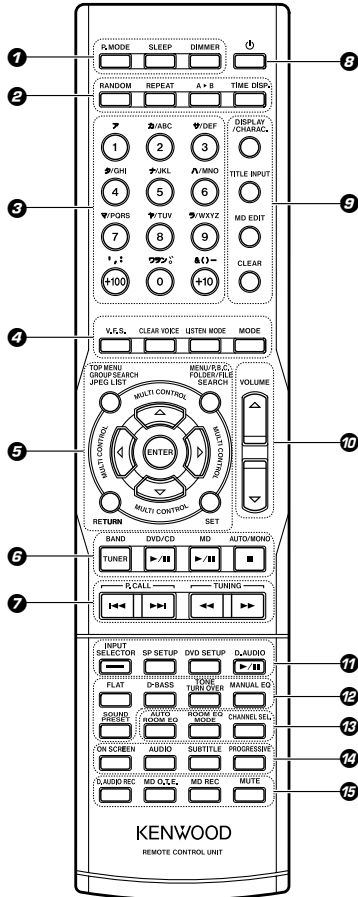
LFE : LEF インジケーター

SL/SR/S : サラウンド信号インジケーター

選ばれているソースの音声信号チャンネル数によって点灯します。

⑲ 表示部(プリアンプ部)

リモコンの使いかた

本体部と同じ名前のボタンは、本体部と同じ働きをします。

❶ P.MODE ボタン（DVD/CD、MD） →66 →104

トラックモードやグループモードまたはプログラムモードに切り換えるときに使います。

SLEEPボタン →110

おやすみタイマーを設定するときに使います。

DIMMERボタン →126

表示部の輝度調整やボタンイルミネーションのON／OFFを切り換えます。

❷ RANDOMボタン（DVD/CD、MD） →68

曲順を順不同に再生します。

REPEATボタン（DVD/CD、MD） →69

繰り返し再生するときに使います。

A►Bボタン（DVD/CD） →70

任意の区間を繰り返し再生するときに使います。

TIME DISP.ボタン（DVD/CD、MD） →45 →48

時間表示を切り換えるときに使います。

❸ 文字／数字ボタン

DVD／CDまたはMDの曲を選ぶときや、TUNERのプリセットコールボタンとして使います。 →42 →47 →66

MDのタイトル入力のとき、アルファベット、カタカナ、数字、記号の入力に使います。 →94

❹ V.F.S.（バーチャル・フロント・サラウンド）ボタン

前面に設置したスピーカーのみでサラウンド効果を出す時に選びます。 →37

CLEAR VOICEボタン

クリアボイス効果の切り換えに使います。 →38

LISTEN MODEボタン

リッスンモードの選択をします。 →38

MODE ボタン

各種機能設定の選択モードに切り換えます。

❺ カーソル（MULTI CONTROL）（◁/▷/△/▽）ボタン

調整したいイコライザーの周波数バンドを選んだり、また様々なモードを調整します。 →34

ENTER ボタン

MDの編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使います。

チューナーのプリセットメモリーの確定に使います。

TOP MENU/GROUP SEARCH/JPEG LIST ボタン → 43 → 71 → 104

DVDのトップメニュー表示、MDのグループサーチ、DVD/CDのMP3、WMA、JPEGのリスト表示などに使います。

MENU/P.B.C./FOLDER/FILE SEARCH ボタン → 42 → 44 → 71 → 79

DVDのメニュー表示、VCDのP.B.C.の切り換え、ファイルやフォルダの階層（ディレクトリ）表示などに使います。

SET ボタン

モードの選択項目の確定や、プログラム入力、MDのエディットモードの確定などに使います。

RETURN ボタン

DVDの操作に使います。

❻ 基本操作ボタン

（DVD/CD、MD 共用のボタンは、入力切り換えに応じて動作します）

TUNER/ BANDボタン → 49

MD ▶/❚❚ ボタン → 46 / **DVD/CD ▶/❚❚ ボタン** → 40

AUTO/MONO ■ (STOP)ボタン → 41 → 47 → 52

❼ P.CALL (⏮ / ⏭) ボタン

DVD/CD、MDのとき： → 42 → 47

スキップ（チャプター、トラックの飛び越し）に使います。

MDの編集にも使用します。

チューナーのとき： → 49

記憶させた放送局を受信するときに使います。

TUNING (◀◀ / ▶▶) ボタン

DVD/CD、MDのとき： → 41 → 47

早送り、巻戻しに使います。

MDのタイトル入力のときカーソルの移動に使います。

チューナーのとき： → 52

放送局の選択に使います。

❽ ⏻ (電源)ボタン → 30

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❾ DISPLAY ／ CHARAC. ボタン → 45 → 48 → 94

CD-TEXT 対応のCDディスクやMDを操作中に押すと、ディスクのタイトルや曲のタイトルをスクロールします。

MDのタイトル入力操作中に押して、目的の文字グループを選ぶときに使います。

曜日、時計を表示します。

TITLE INPUTボタン/MD EDITボタン

MDにタイトル入力をするとき（**TITLE INPUT**）、MDの曲を編集するとき、曲の移動や消去など（**MD EDIT**）、およびDVD/CD時のページアップダウンに使います。

CLEARボタン

プログラムした曲を取り消します。 → 67

MDのタイトル入力のとき、1文字を削除します。 → 94

プリセットした放送局を消去するときに使います。 → 53

❿ VOLUME (△/▽) ボタン → 31

音量を調節するときに使います。

⓫ INPUT SELECTORボタン → 30

入力ソースの切り換えに使います。

SP SETUPボタン → 124

スピーカーの設定に使います。

DVD SETUPボタン → 115

DVDの初期設定値の変更に使います。

D.AUDIO ▶/❚❚ ボタン → 56

別売のデジタルオーディオプレーヤーを接続しているとき、再生、一時停止をします。

⓬ サウンド設定モードボタン

3種類のデジタルサウンドイコライザーモードまたはフラットを選ぶことができます。

FLAT ボタン → 36

D-BASS ボタン → 34

TONE TURN OVER ボタン → 34

MANUAL EQ ボタン → 35

SOUND PRESET ボタン → 36

⓭ ルームイコライザー設定ボタン

AUTO ROOM EQ ボタン → 32

ROOM EQ MODE ボタン → 33

ルームイコライザーの設定モードを3種類選ぶことができます。

CHANNEL SEL. ボタン

パワーアンプ部のスピーカー出力を2チャンネル（50W×2）/4チャンネル（25W×4）の切り換えを行います。

⓮ ON SCREEN ボタン → 72

画面に表示する情報の表示、非表示を切り換えます。

AUDIO ボタン → 71

DVD再生時の音声を選択します。

SUBTITLE ボタン → 71

DVD再生時の字幕を選択します。

PROGRESSIVE ボタン → 16

テレビモニター画面のプログレッシブ/インターレースの選択をします。

⑮ D.AUDIO REC ボタン (デジタルオーディオレコーディング) → 65

別売のダイレクトエンコード機能付きデジタルオーディオプレーヤーを接続しているとき、録音を開始します。

MD O.T.E.ボタン → 59 → 81

CDをワンタッチでMDに録音できます。

CDの再生中に押すとそのとき再生している曲だけを、また停止中に押すとCDの全曲をMDに録音します。

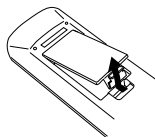
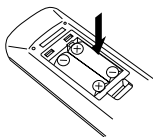
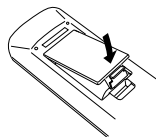
MD RECボタン (レコーディング) → 58

MDに録音します。

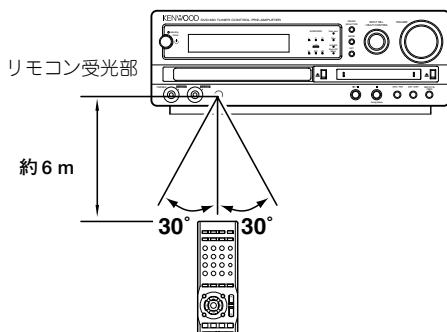
MUTEボタン (ミュート) → 31

一時的に音を消したいときに使います。

電池の入れかた

❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

● 単４乾電池２本を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの⏻(電源)ボタンを押すと電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいボタンを押します。

● リモコンの各操作ボタンを押してから次のボタンを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

● 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
● 操作できる距離が短くなったら、２本とも新しい電池と交換してください。
● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

使用できるディスクについて

再生できるディスクの方式と種類

本システムでは、CDで音楽を楽しむだけでなく、以下のディスクを再生することにより、映画やライブなどの映像を高画質で楽しむことができます。

<table>
<tr><td colspan="2">再生できるディスク</td><td colspan="2">DVD VIDEO
（DVD-R/RW, DVD+R/RW）</td><td colspan="2">CD (CD-R, CD-RW)</td><td colspan="2">VCD</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスクに表示されているロゴマーク</td><td colspan="2">DVD VIDEO　DVD VIDEO</td><td colspan="2">COMPACT disc DIGITAL AUDIO</td><td colspan="2">COMPACT disc DIGITAL VIDEO</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスクの大きさ</td><td>8cm</td><td>12cm</td><td>8cm</td><td>12cm</td><td>8cm</td><td>12cm</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生面</td><td>片面または両面</td><td>片面または両面</td><td>片面のみ</td><td>片面のみ</td><td>片面のみ</td><td>片面のみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">内容</td><td>映像+音声</td><td>約41分（片面1層）
約75分（片面2層）
約82分（両面1層）
約150分（両面2層）</td><td>約133分（片面1層）
約242分（片面2層）
約266分（両面1層）
約484分（両面2層）</td><td></td><td></td><td>最大20分</td><td>最大74分</td></tr>
<tr><td>音声</td><td></td><td></td><td>最大20分
デジタル</td><td>最大80分
デジタル</td><td></td><td></td></tr>
</table>

本機で再生できるCD-R、CD-RW、DVD-RおよびDVD-RWの規格に関しては26ページをご参照ください。

- Dual Disc*再生対応

* Dual Discとは、DVD規格に準拠したDVD面と、音楽専用面とを組み合わせた両面ディスクです。
DVD面に記録されたDVDビデオコンテンツについては再生可能です。音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本機での再生は保証致しません。

- 本機はDVDビデオモードで記録したDVD-R, DVD-RWディスク、およびDVD+R, DVD+RWディスク の再生が可能ですが、記録した機器、DISC の製造元などにより、再生できない場合もあります。
- CD-R/RW再生の場合制作者の意図や、録音状態その他によって再生できない場合があります。
- 本機はCPRMモードで記録されたDVD-R/RWディスクは再生できません。
CPRMとは、Content Protection for Recordable Mediaの略で、記録媒体用著作権保護技術の一つです。

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。

- DVD-オーディオディスク
- DVD-RAMディスク
- SACDディスク
- VSDディスク
- SVCDディスク
- CDVディスク（音声部分のみ再生可能）
- CD-G、CD-EG、CD-EXTRAディスク（音声部分のみ再生可能）
- フォトCDディスク

- 本機のリージョンコード（“2”）と適合しないリージョンコードのDVDディスクは再生できません。 →25
- ご使用のテレビとフォーマットの異なるビデオフォーマットのディスクは正常に再生できません。→25

DVDディスクに表示されている各種のアイコン（絵表示）について

アイコン	意　　味
ALL	再生可能な地域番号（リージョンコード）を示します。
8	オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大8ヶ国語）
32	サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大32ヶ国語）
9	アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。（最大9アングル）
16:9 LB	選ぶことのできる画面の縦横比を示します。（→117）左の例では16:9の映像からレターボックスに変換できることを表しています。

DVDビデオのリージョンコードとテレビ方式について DVD

本機では、NTSCのテレビ方式で収録され、リージョンコードに ALL または 2 が含まれているDVDビデオの再生ができます。ジャケットに"NTSC日本国内向け"と記載されていないDVDビデオは、リージョンコード以外に、記録されている映像信号のテレビ方式にも注意ください。接続するテレビのテレビ方式と、DVDビデオに記録されている映像信号（本機から出力される映像信号）のテレビ方式が異なると、乱れた映像になります。日本国内のテレビは、NTSCテレビ方式です。NTSCテレビ方式で収録されたDVDビデオを使用ください。

テレビ方式について

テレビ方式には、日本やアメリカなどで採用されているNTSC方式とヨーロッパなどで採用されているPAL方式、フランス、ロシア、東欧などで採用されているSECAM方式があります。

リージョンコードについて

DVDビデオには、国ごとに割り当てられたリージョンコード（地域番号）があります。本機のリージョンコードは 2 です。ディスクのジャケットに ALL または 2 を含みリージョンコードが表示されているDVDビデオが再生できます。

ビデオCDのテレビ方式について ビデオCD

NTSC方式で収録されているビデオCDを再生します。PAL方式などNTSC方式以外で収録されているビデオCDを、日本国内向け一般家庭用テレビ（NTSC方式）で見ると、乱れた映像になります。

ディスクや本機の状態による操作制限

DVDビデオ や ビデオCD は、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがあります。また本機の状態により操作が制限される場合もあります。
本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作した通りに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。
操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコンが表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。

禁止アイコン

本機で再生できるMP3/WMA、JPEG収録ディスクについて MP3/WMA JPEG

MP3、WMA、またはJPEG形式の圧縮フォーマットで記録されたファイルの再生ができます。ディスクの特性、記録状態等により、本機では再生できない場合があります。

- 本機で再生できるファイルは下記の通りです。

MP3： ビットレート --- 32kbps～320kbps
サンプリング周波数 --- 32/44.1/48kHz
推奨 --- 128kbps/44.1kHz

WMA： ビットレート --- 48kbps～192kbps
サンプリング周波数 --- 32/44.1/48kHz
推奨 --- 64kbps/44.1kHz

JPEG： Exif Ver. 2.1 JPEGベースライン方式準拠
画像解像度 --- 7680 x 7680以内（サブサンプリング --- 4：2：2、4：2：0）
※プログレッシブJPEG、JPEG2000には対応していません。

- 本機はISO9660レベル1またはレベル2（拡張フォーマットを除く）で書き込まれたディスクに対応しています。（パケットライト方式で記録されたディスクには対応していません。）
- 本機はクローズ処理されたマルチセッションディスクに対応しています。
- 本機で再生できる最大フォルダ数は255、最大ファイル数は1743に制限されています。
- ファイル名には、必ず".MP3"（MP3ファイル）、".WMA"（WMAファイル）、".JPG"（JPEGファイル）の拡張子を付けてください。
- MP3やWMA以外のファイルに".MP3"または".WMA"の拡張子を付けないでください。本機で再生できるファイルと誤認識され、大きな雑音が出てスピーカーが破損したり耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
- JPEGファイルの特性や記録状態により、画像が乱れることがあります。

メディアとファイルの確認をする

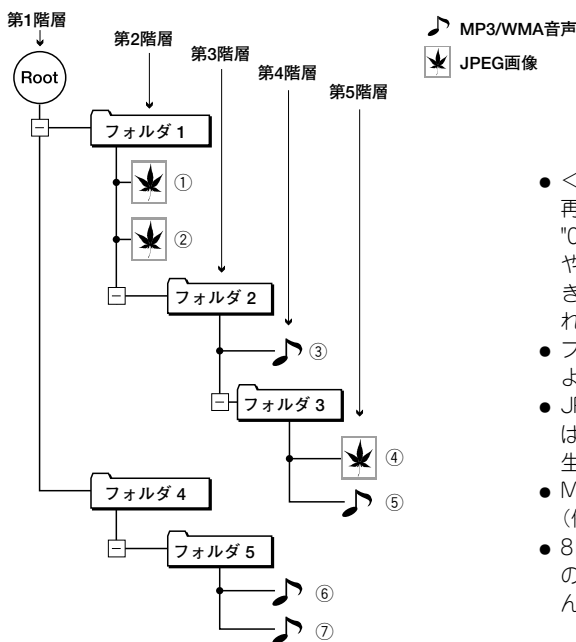
MP3/WMAファイルをメディアに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、そのファイルが正しく再生されることを確認してください。
また、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。

メディアに書き込むとき

書き込んだメディアは必ずセッションクローズまたはファイナライズをしてください。セッションクローズまたはファイナライズされていないメディアを本機で再生すると、正しく再生できない場合があります。

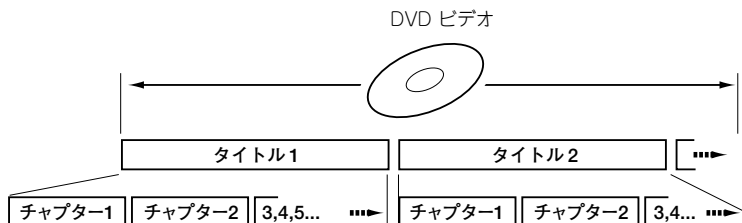
- **書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。**
- **本機で再生するファイル以外のファイルや、フォルダなどを書き込まないようにしてください。**
- **MP3、WMA、JPEGファイルをメディアに書き込むときは、10セッション以内で書き込むことをおすすめします。**
- **マルチセッションディスクの場合、再生が始まるまで時間がかかることがあります。**
- **MP3、WMA、JPEG のファイル（CD-ROM）と音楽CD（CD-DA）を1枚のメディアに書き込むと再生できない場合があります。**

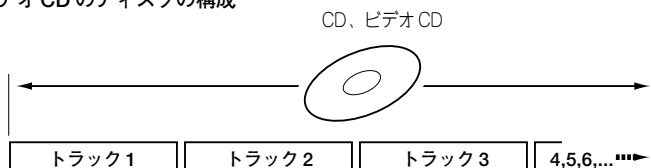
MP3/WMA 音声、JPEG 画像の再生順序について

MP3/WMA、JPEG ファイルが収録されたディスクを ①→②→③→④→⑤→⑥→⑦ の順番で再生します。

- <ディスク作成時のヒント>
  再生順を設定したい場合は、再生したい順番に"01"～"99"などの桁数を揃えた数字をフォルダ名やファイル名の先頭に付けてください。ただし書き込みソフトによっては意図した順番に書き込まれないことがあります。
- フォルダ3はフォルダ2に含まれているので、⑥より④が優先されます。
- JPEG画像からMP3/WMA音声に再生が移るときは（例：④から⑤）、画像を表示したまま音声を再生します。
- MP3/WMA音声からJPEG画像にスキップすると（例：③から④）音声を停止し、画像を表示します。
- 8階層より深い階層にあるフォルダは、8階層目内のフォルダのうち、再生順が最後のフォルダと並んで表示されます。

ディスクの構成

DVD　ビデオCD　CD　MP3/WMA　JPEG

DVD ビデオのディスクの構成

タイトルは映像や曲の一番大きい単位をいいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。

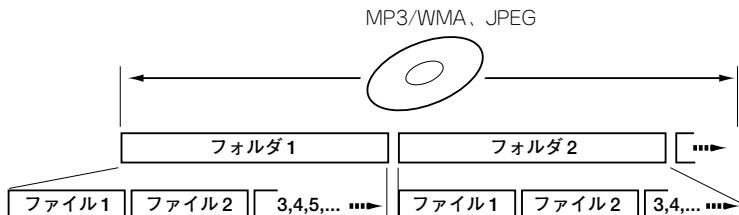
CD、ビデオ CD のディスクの構成

CD、ビデオ CD

CD、ビデオ CD の場合は、トラックという呼び方で区切られています。音楽 CD などの場合、1 曲目はトラック 1 になります。

MP3/WMA、JPEG が収録されているディスクの構成

MP3/WMA、JPEG

フォルダ 1　フォルダ 2

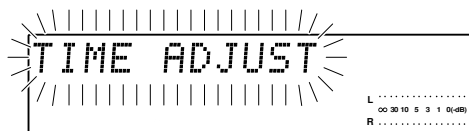
ファイル 1　ファイル 2　3,4,5,...　ファイル 1　ファイル 2　3,4,...

フォルダはディスクに記録されている一番大きい単位をいいます。
１つのフォルダが１つ以上のファイルで構成されている場合もありますが､ファイルがフォルダに入っておらず、直接ディスクに記録されているものもあります。
また、フォルダの中にフォルダがあるといった階層構造になっているディスクもあります。

時刻合わせ

タイマーを使うときに必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませておいてください。

電源をオンにする。

1 時刻合わせモードにする

MODE（モード）ボタンを押し、表示されたメニューから INPUT SEL.（インプットセレクター）/MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）ツマミ（リモコンの MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）（△/▽）ボタン）で"TIME（タイム） ADJUST（アジャスト）"を選び、SET（セット）ボタンを押す

- 曜日表示部が点滅を始めます。

2 "曜日"を合わせる

❶ "曜日"を合わせる

❷ 確定する

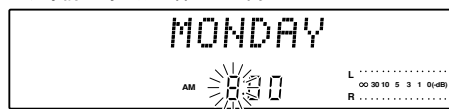
月曜日、午前8時7分に合わせる例

- SET（セット） ボタンを押すと"曜日"が設定されて、"時"表示が点滅します。

3 "時"を合わせる

❶ "時"を合わせる

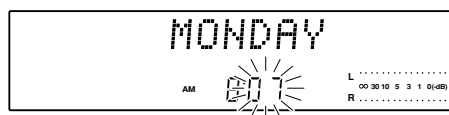
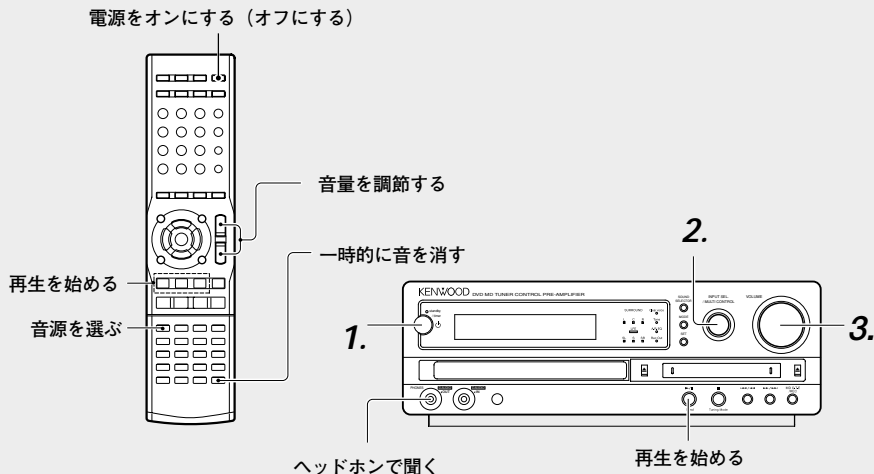
❷ 確定する

月曜日、午前8時7分に合わせる例

- SET（セット） ボタンを押すと"時"が設定されて、"分"表示が点滅します。

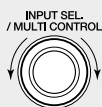
4 "分"を合わせる

❶ "分"を合わせる

❷ 確定する

月曜日、午前8時7分に合わせる例

- 間違えたときは、はじめからやり直してください。
- SET（セット）ボタンを押して、設定が終了すると"COMPLETE（コンプリート）"と表示します。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 電源がスタンバイ状態のとき、■（停止）ボタンを押すと5秒間時刻を表示します。

1. 電源をオンにする（オフにする）

電源がオンのときに ⏻（電源）ボタンを押すとオフ（スタンバイ）になります。

- リモコンの**DVD/CD ►/II**、**MD ►/II**または**TUNER/BAND**（チューナー/バンド）ボタンを操作しても、電源がオンになり、再生（受信）します。
- CD、MDを選んだとき、すでにディスクが入っている場合は、再生が始まります。

2. 聴きたいソース（音源）を選ぶ

本　体

INPUT SEL. / MULTI CONTROL

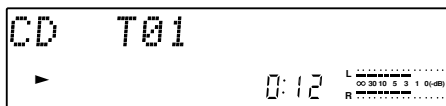
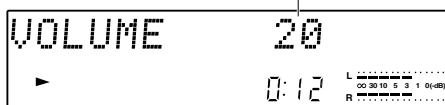
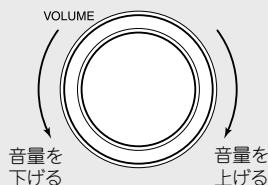
リモコン

INPUT SEL./MULTI CONTROL（インプット セレクター/マルチコントロール）ツマミを回すか、またはリモコンの**INPUT SELECTOR**（インプット セレクター）ボタンを押して、切り換えます。

- **TUNER**（チューナー）（ラジオ）→49
- **DVD/CD** →40
- **MD** →46
- **TAPE/VIDEO1**（テープ/ビデオ）（**外部入力**）［インプットレベルを調整する］→54
- **VIDEO2**（ビデオ）（**外部入力**）［インプットレベルを調整する］→54
- **TV**［インプットレベルを調整する］→54
- **AUX**（**外部入力**）［インプットレベルを調整する］→54
- **DIGITAL-IN**（デジタル イン）（**デジタル入力**）→54
- **D.AUDIO**（デジタルオーディオ）［インプットレベルを調整する］→55

- **リモコンの DVD/CD ►/II、MD ►/II、TUNER/BAND**（チューナー/バンド）ボタンを押すとその入力に切り換わり再生が始まります。

再生を始める時

CD を再生したとき

3. 音量を調節する

- 表示部に目安の数字が表示されます。

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン 端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- 端子にプラグを差し込むとスピーカーから音が出なくなります。

D.AUDIO OUT(デジタルオーディオ アウト)の設定がREC OUT ON(レコーディングアウト オン)に設定されていると、スピーカーから音が出て、ヘッドホン端子からの音は、VOLUME(ボリューム)の位置に関わらず、一定となります。
ヘッドホンで聞くときはD.AUDIO OUT(デジタルオーディオ アウト)の設定をHEADPHONE(ヘッドホン)にしてください。(初期設定はHEADPHONE(ヘッドホン))

→ 65

一時的に音を消す（MUTE(ミュート)）

リモコンのみ

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

録音時のご注意

録音中にサラウンドモードを切り換えたり、CHANNEL(チャンネル) SEL.(セレクター)ボタンでの操作などをすると音が途切れることがあります。

オートルームイコライザー機能を使う

測定中はスピーカーより大きなテスト信号が出力されます。特に夜間には近隣やお子さまに十分配慮してください。

オートルームイコライザー機能は、スピーカーより出力されるテスト信号を付属のマイクで測定し、リスニングポジションで最適な音場になるように、以下の調整を自動で設定します。

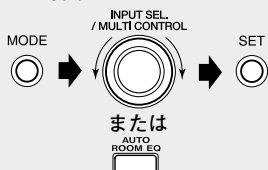
1. **スピーカーからの音の遅延（SP DISTANCE）**
2. **スピーカーからの音量レベルの差（SP LEVEL）**
3. **スピーカーの周波数特性および室内の音響特性**

自動で最適な音場設定をする(Auto Room EQ)

❶ **付属のルームイコライザー用マイクを本機背面の ROOM EQ MIC 入力端子に接続する**

接続のしかた →13

❷ **マイクの本体部をリスニングポジション（耳の高さ）に置く**

❸ **MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"AUTO ROOM EQ" を選び、SETボタンを押す。またはリモコンのAUTO ROOM EQ ボタンを押す**

❹ **INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"R. EQ START" を選び、SET ボタンを押す**

INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回すことにより以下の項目を選ぶことができます。

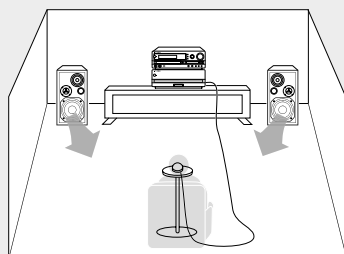
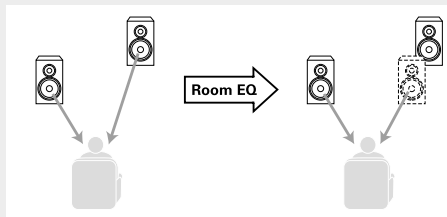
"R.EQ START"：測定を開始します
"R.EQ OFF"　：設定されている特性を一時的に解除します
"R.EQ CALL"　：設定されている特性を呼び出します

- 初めて測定する場合は **"R.EQ START"** のみ選ぶことができます。

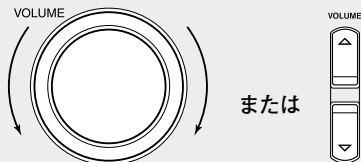
- 測定が完了するまでに数分間かかります。
- **ROOM EQ** 用マイクが接続されていないとき、あるいはヘッドホンが接続されていると **"CAN'T SETUP"** と表示され、測定できません。
- 測定が終了すると自動的にもとの表示に戻ります。
- 測定終了後、必ずマイクを本体から外してください。
- 使用環境により効果がはっきりと表れない場合があります。

- 測定中と測定完了時の表示
  測定中は本体の **A.R.EQ** インジケーターが点滅し、測定が完了すると本体の **A.R.EQ** インジケーターが点灯します。

R.EQ SETUP

- 測定のイメージ
  マイクは耳の位置に置いてください。
  スピーカーとマイクの間には障害物を置かないでください。

- ルームイコライザー機能の効果のイメージ

- エラーの表示が出たときは135ページ、および136ページを参照してください。
- 使用環境などによっては正しく測定できない場合があります。通常は自動設定のままで問題ありませんが、より正確に設定したい場合は、マニュアルで設定を行ってください。
  また、サブウーハーは自動設定されませんのでマニュアルで設定してください。（「スピーカーの設定をする」→124）

設定を中断するには

本体のVOLUMEつまみを回すか、リモコンのVOLUME（△/▽）ボタンを押す

- または32ページの手順❸、❹の操作をし、"R.EQ CANCEL?"と表示されてから、SETボタンを押しても測定を中断し、開始前の状態に戻ります。

設定を記憶させるには

SOUND PRESET機能を使い、3つの音場設定や、音質調整を記憶させることができます。 →36

以下の手順で記憶させることをおすすめします。

① 「自動で最適な音場設定をする」 →32
- 必要に応じて、音量バランスや、スピーカー距離を設定します。 →125

② 「ROOM EQの特性を状況にあわせて変える」 →33

③ 「重低音を楽しむ」(D-BASSの設定) →34

④ 「低音と高音の出かたを変える」 →34
または「好みの音質を作る」 →35

⑤ 「作り出した音を記憶させる」 →36
- 各設定を行わないときは、それぞれ初期設定値が記憶されています。

SOUND PRESETに記憶される内容

- SP LEVEL
- SP DISTANCE
- スピーカーの周波数特性および室内の音響特性
- ROOM EQ MODE
- D-BASSの設定
- TONE/TURN OVERの設定
- MANUAL EQ設定

ROOM EQの特性を状況にあわせて変える (ROOM EQ MODE)

❶ リモコンのROOM EQ MODEボタンを押す

❷ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して、またはリモコンのMULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、モードを選ぶ

以下のモードを選ぶことができます

"NORMAL"： ROOM EQで測定された結果を忠実に再現するモードです。通常はこのモードを使用してください。

"WIDE"： 測定したポジションを中心に、比較的広い範囲で違和感なく音楽をお楽しみいただけるモードです。ホームパーティー等、お部屋の中を動き回りながらお聞きいただく際に便利です。

"NIGHT"： 深夜など、小音量で音楽をお楽しみいただく際に便利なモードです。ボーカル等のメロディー帯域を中心とした調整となるので、小音量でも比較的お聞きになりやすい音場設定ができます。

- 操作を終了するときはリモコンのENTERボタンを押します。

メモ オートルームイコライザーの測定をしていないとROOM EQ MODEの設定はできません。

基本編

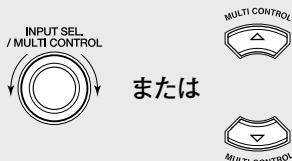
デジタルサウンドイコライザー機能を使う

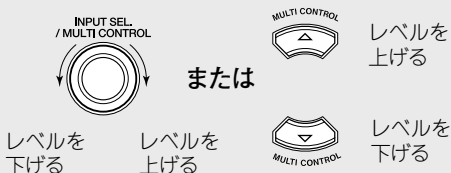
重低音を楽しむ（D-BASSの設定）

ソース（音源）に合わせて、重低音効果を変えてお楽しみいただけます。

❶ SOUND SELECTORボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してD-BASSを選ぶ。または、リモコンのD-BASSボタンを押す

- 本体のD-BASS表示が点滅します。

❷ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して、またはリモコンのMULTI CONTROL（△/▽）ボタンを押して、"Music"（音楽）または"Movie"（映画）を選ぶ

❸ SETボタンを押して、確定する

❹ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して、またはリモコンのMULTI CONTROL（△/▽）ボタンを押して、レベルを調整する

- 0から10までの範囲でレベルを調整できます。

❺ SETボタンを押して、確定する

SET

- 操作を終了するとき、または途中で操作をやめるときはSOUND SELECTORボタンを押します。
- 設定完了後、本体のD-BASS表示が点灯します。（レベル1以上のとき）

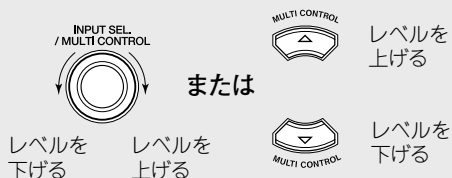
低音と高音の出かたを変える（TONE / TURN OVERの設定）

本機では低音部と高音部をお好みに応じて設定できます。(TONE)　さらに低音部と高音部の特性を3段階にきめ細かく調整できます。(TURN OVER)

❶ SOUND SELECTORボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してTONEを選ぶ。または、リモコンのTONE TURN OVERボタンを押す

- D.EQ RecModeがオンに設定されている場合はTONE/TURN OVERの設定はできません。

❷ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、低音部（BASS）の周波数（100Hz、150Hz、200Hz）を選ぶ

❸ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミ、またはリモコンの MULTI CONTROL（△/▽）ボタンを押して、低音部（BASS）のレベルを調整する

❹ SETボタンを押して、低音を確定する

メモ　今後発売予定の3.1チャンネルシステムを接続しているときは、V.F.S.、CLEAR VOICEまたはStereo (EQ)を選択している場合のみD-BASS、TONEの項目が選択できます。

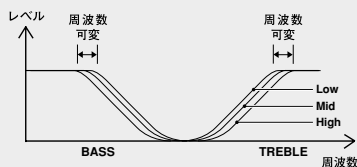
❺ 高音部(TREBLE)設定の表示になる

❻ MULTI CONTROL(◁/▷)ボタンを押して、高音部(TREBLE)の周波数(5kHz、7kHz、10kHz)を選ぶ

❼ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミ、またはリモコンの MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、高音部(TREBLE)のレベルを調整する

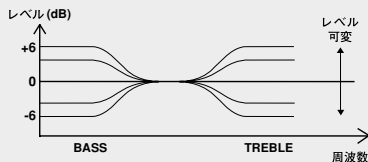
❽ SETボタンを押して、高音を確定する

- -6(dB)から+6(dB)まで1(dB)ステップでレベルを調整できます。
- 設定完了後、本体のTONEインジケーターが点灯します。(レベル0以外のとき)

- 周波数可変のイメージ(TURN OVER設定)

- レベル調整のイメージ

- 操作を終了するとき、または途中で操作をやめるときはSOUND SELECTORボタンを押します。

好みの音質を作る(MANUAL EQ 設定)

本格的な7バンドのイコライザーを搭載していますので、重低音域から超高音域まで(→36)ある周波数を中心とした音域のカーブが、自由に作れます

❶ リモコンのMANUAL EQ ボタンを押す

- イコライザーカーブ、レベルおよび周波数が表示され、"EQ"が点滅します。

❷ 設定したいイコライザーのバンド(周波数)を選ぶ

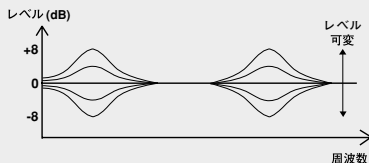
MULTI CONTROL (◁/▷)ボタンを押して、設定したいバンドを選ぶ

- 選ばれたバンドのイコライザーが点滅します。
- 7種類のバンドから選ぶことができます。

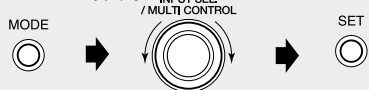
❸ 設定したいイコライザーのレベルを設定する

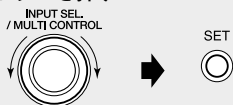
MULTI CONTROL (△/▽)ボタンを押して、設定したいイコライザーのレベルを調節する

- -8(dB)から+8(dB)まで1(dB)ステップで調整できます。
- もう一度MANUAL EQボタンを押すと、マニュアル設定モードを解除します。
- レベル調整のイメージ

基本編

TONE/TURN OVERの設定と、MANUAL EQ設定は、同時に適用することはできません。

作り出した音を記憶させる

❶ MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"SOUND PERSET" を選び、SETボタンを押す。

- サウンドプリセット表示部の " ❶ "、" ❷ "、" ❸" が点滅します。
- 数字および文字情報表示部には "PRESET" と "1"、"2"、"3" と表示されます。
- 音のパターンはサウンドの種類によらず全部で１から３までの３個がプリセットできます。
- ルームイコライザーの設定も記憶されます。

❷ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して記憶させたいメモリーを１から３のうちから選び、SET ボタンを押す

- プリセット表示部に選択されたメモリーの番号が点灯します。

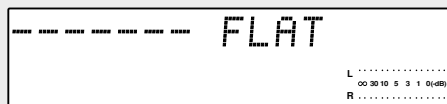
記憶させた音のパターンを呼び出す

リモコンのみ

SOUND PRESET ボタンを押す

- "SOUND PRESET"と " ❶ "または" ❷ "、" ❸ "が表示されます。
- 出荷時はフラットに設定されています。
- 3秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。

音質をフラットに戻す

フラットに戻す場合は、リモコンの FLAT ボタンを押します。

- 記憶させていない設定は全て元に戻ります。

音質調整について

重低音域の調整 (バンド1:63Hz)
これらのレベルコントロールを上昇させると、ベースのように低音域の楽器がどっしりした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられるときには、適当と思われるところまで下降させます。

低音域の調整(バンド2:160Hz)
日本の建築様式では欧米の家屋に比べ密閉度が低いため、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、低音が出過ぎる感じになりやすいものです。したがって、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。

中低音域の調整 (バンド3:400Hz)
音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられるところです。もの足りない音だと思われるときには、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。

中音域の調整 (バンド4:1kHz)
この中音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり、奥にひっこむような感じになり、臨場感に大きな影響を与えます。音の奥行と深みに関係する帯域です。

中高音域の調整 (バンド5:2.5kHz)
この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられるところです。うまく調整すれば、爽快さや明るさがでてきますが、反面うるさい感じになることもあります。

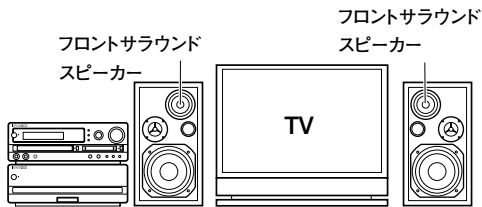
高音域の調整 (バンド6:6.3kHz)
この周波数帯域は、硬い感じとか、柔らかい感じといわれるところです。上昇させると弦楽器(バイオリンなど)や、管楽器(フルート、ピッコロなど)が強調され、艶のある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。

超高音域の調整 (バンド7:16kHz)
この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところです。上昇させると超高音域の楽器(トライアングル、シンバルなど)が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。

サラウンドを楽しむ

V.F.S.（バーチャル・フロント・サラウンド）機能により、サラウンドスピーカーを後方に設置しなくても臨場感あふれる自然なサラウンド効果をお楽しみいただけます。
また、CLEAR VOICE機能を搭載、音声をよりクリアーに再生することができます。

サラウンドを楽しむ場合は、フロントサラウンドスピーカーの接続をしてください。 →12 →13

- ヘッドホン接続時およびデジタルイコライザー録音モードON時（→61）は、サラウンドの設定は解除され2チャンネル（ステレオ）に固定されます。

V.F.S.のモード

Movie

DVDの5.1ch信号をそのままV.F.S.に変換。DVD本来の臨場感を最も自然な形で再生します。

Music

DVDはもちろん、CDでもライブの臨場感を楽しむことができます。音楽ディスクを再生するときはこのモードをお選びください。

WIDE

V.F.S.の広がりを調整します。

CLEAR VOICEのモード

Movie

映画再生時によりクリアーな音声で聞くことができます。

MUSIC

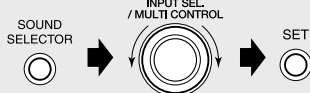
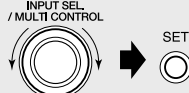
音楽再生時にボーカルを際だたせる効果があります。

CENTER

CLEAR VOICEの効果を調整します。

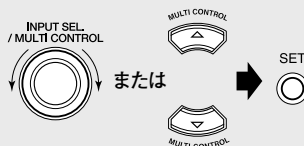
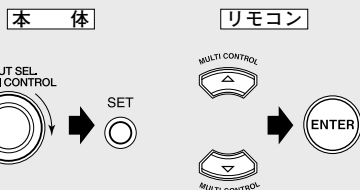
- 選ばれたサラウンドモードは保持されます。ただし、DVD再生中に設定されたサラウンドモードは保持されない場合があります。

V.F.S.を設定する

❶ SOUND SELECTORボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してSURROUNDを選びSETボタンを押す。

❷ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してV.F.S.を選びSETボタンを押す。

2チャンネル（ステレオ）を選択している場合は自動的に4チャンネルに切り換わります。

リモコンで操作する場合は❶、❷の操作の代わりにV.F.S.ボタンを押します。

- D.EQ RecModeがオンに設定されている場合はV.F.S.の設定はできません。

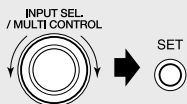
❸ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して、またはリモコンのMULTI CONTROL（△/▽）ボタンを押して、MovieまたはMusicを選びSETボタンを押す。

❹ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して、またはリモコンのMULTI CONTROL（△/▽）ボタンを押して、WIDEのレベルを調整し、確定する。

本　体　　リモコン

- 1から10までの範囲でレベルを調整できます。
- 操作を終了するとき、または途中で操作をやめるときはSOUND SELECTORボタンを押します。

基本編

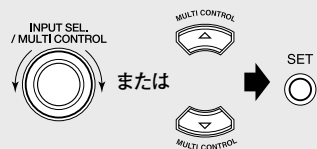
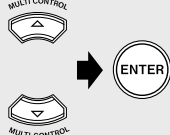
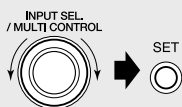
CLEAR VOICE を設定する

❶ SOUND SELECTORボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してSURROUNDを選び、SETボタンを押す。

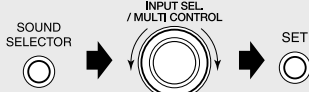
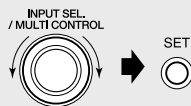
❷ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してCLEAR VOICEを選び、SETボタンを押す。

2チャンネル（ステレオ）を選択している場合は自動的に4チャンネルに切り換わります。

リモコンで操作する場合は❶、❷の操作の代わりにCLEAR VOICE ボタンを押します。

- D.EQ RecModeがオンに設定されている場合はCLEAR VOICEの設定はできません。

❸ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して、またはリモコンのMULTI CONTROL（△/▽）ボタンを押して、Movie、MusicまたはCENTERを選びSETボタンを押す。

❹ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して、またはリモコンのMULTI CONTROL（△/▽）ボタンを押して、CENTERのレベルを調整し、確定する。

- 1 から 10 までの範囲でレベルを調整できます。
- 操作を終了するとき、または途中で操作をやめるときはSOUND SELECTORボタンを押します。

2チャンネル（ステレオ）に戻すとき（LISTEN MODE の設定）

❶ SOUND SELECTORボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してSURROUNDを選び、SETボタンを押す。

❷ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してLISTEN MODEを選び、SETボタンを押す。

リモコンで操作する場合は❶、❷の操作の代わりにLISTEN MODEボタンを押します。

❸ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してStereo（EQ）を選び、SETボタンを押す。

スピーカーの設定（→124）でFRONT SYSTEMを選んでいるときはStereo（EQ）のみ表示されます。

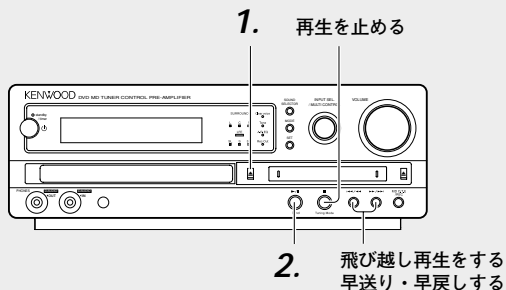
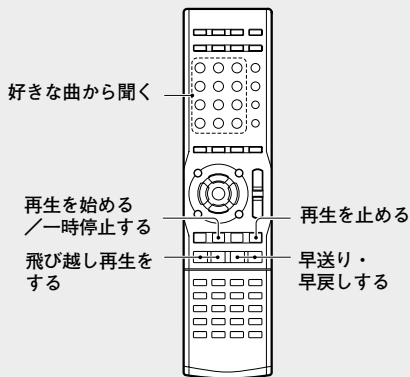
今後発売予定の3.1チャンネルスピーカーシステムに接続して、5.1チャンネルシステムに拡張することができます。

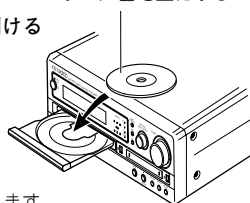
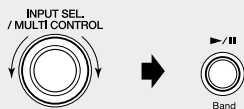
スピーカーの設定で5.1CH SYSTEMを選んだ場合はLISTEN MODEは入力ソースにより次のように切り換えられます。（→124）

Stereo (EQ)
Stereo
PL II Movie
PL II Music
PL II Game
Pro Logic
Dolby D
DTS

詳しくはお求めの機器の取扱説明書をご覧ください。

DVD/CD を再生する

DVD/CDトレイにあらかじめディスクを入れておくと リモコンのDVD/CD ►/II ボタンを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

1. ディスクを入れる

❶ ▲ ボタンを押して DVD/CD トレイを開ける
❷ ディスクをトレイにのせる
❸ ▲ ボタンを押してトレイを閉める

- 再生面に触れないようにします。
- ディスクをずらして置くと故障の原因となります。
- ディスクを取り出すときはもう一度 ▲ ボタンを押します。

2. 再生を始める

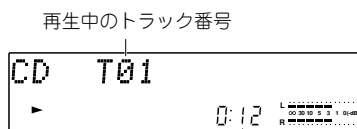
❶ 本体で操作する場合はINPUT SEL./MULTI CONTROL（インプット セレクター／マルチ コントロール）ツマミを回して"DVD/CD" を選び、►/IIボタンを押す。
❷ リモコンで操作する場合は DVD/CD ►/IIボタンを押す。

- 数秒後に１曲目から再生します。
- CD-TEXT（テキスト）対応のディスクでは、タイトルが表示されます。

CD の場合の表示例

再生中のトラック番号

CD T01
► 0:12

再生中の曲の経過時間

一時停止またはスチル(静止画像)にする

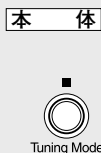
再生中に本体の ▶/❚❚ ボタンまたはリモコンの DVD/CD▶/❚❚ ボタンを押す

本　体　　リモコン

▶/❚❚　Band　　DVD/CD ▶/❚❚

- テレビに "Pause" または "Still" と表示されます。
- DVD の設定の "IPB 表示 " がオンのときは、DVD ビデオを再生中スチルするたびにテレビに "Still (I) "、"Still (P) "、"Still (B) " のいずれか 1 つを表示します。→118
- DVD/CD ▶/❚❚ を押すと通常の再生にもどります。

再生を止める

■ ボタンを押す

CD を再生しているとき

- ■ ボタンを 1 回押します。

DVD ビデオ、ビデオ CD、MP3/WMA、JPEG ファイルを再生しているとき

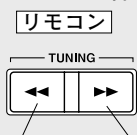
- ■ ボタンを 2 回押します。
  ■ボタンを1回押すと、再生位置を記憶し、一時停止（リジューム）になります。再度■ボタンを押すと記憶した内容がクリアされ停止になります。リジューム状態で▶/❚❚ボタン（DVD/CD▶/❚❚ボタン）を押すと、再生が始まります。

  DVD ビデオ / ビデオ CD のとき
  記憶した再生位置から再生します。
  MP3/WMA ファイルのとき
  再生していたファイルの最初から再生します。
  JPEG ファイルのとき
  表示していた画像から再生します。

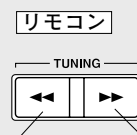
次のときは、リジューム機能は働きません。

- ランダム再生中、リピートランダム再生中
- ビデオ CD の P.B.C. 再生中 →79
- DVD ビデオのメニュー再生中 →71
- 入力ソースを切り換えたとき →30

スロー再生・逆スロー再生をする(DVDビデオ/ビデオCD/JPEG)

❶再生中に▶/❚❚ボタンを押す(スチルにする)
❷本体の⏮/◀◀、▶▶/⏭ボタンを押し続けるまたはリモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押す

- 本体のボタンをもう一度押すか、またはリモコンのボタンを押すたびに速度が 5 段階変わります。
- スロー再生・逆スロー再生のときは音声は出ません。
- ビデオ CD の逆スロー再生はできません。
- オンスクリーンディスプレイを表示（→72）しているとき、ON SCREEN ボタンを押すとオンスクリーンディスプレイが消え速度表示が表示されます。
- ▶/❚❚ ボタン（DVD/CD ▶/❚❚ ボタン）を押すと通常の再生に戻ります。

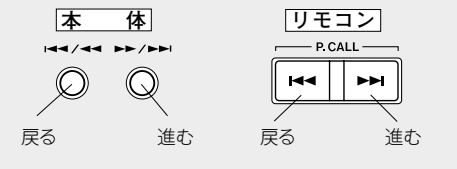
早送り・早戻しする

再生中に本体の⏮/◀◀、▶▶/⏭ボタンを押し続ける、またはリモコンの ◀◀、▶▶ ボタンを押す

- 本体のボタンをもう一度押すか、またはリモコンのボタンを押すたびに速度が5段階変わります。
- 早送り・早戻しをすると、画面が乱れることがあります。
- オンスクリーンディスプレイを表示（→72）しているとき、ON SCREENボタンを押すとオンスクリーンディスプレイが消え速度表示が表示されます。
- ▶/❚❚ ボタン（DVD/CD ▶/❚❚ ボタン）を押すと通常の再生に戻ります。

トラック／チャプター／ファイルの飛び越しをする

本体の|◀◀/◀◀、▶▶/▶▶|ボタンまたはリモコンの|◀◀、▶▶| ボタンを押す

本　体　|◀◀/◀◀　▶▶/▶▶|　戻る　進む

リモコン　P.CALL　|◀◀　▶▶|　戻る　進む

- 戻るときは|◀◀/◀◀ボタン（|◀◀ボタン）を押し、進むときは▶▶/▶▶|ボタン（▶▶|ボタン）を押します。
- 停止中に操作すると、飛び越して選んだトラック／ファイルの再生が始まります。DVDビデオおよびビデオCDがP.B.C.オン（→79）のときは、停止中に操作することはできません。
- 再生中に|◀◀/◀◀ボタン（|◀◀ボタン）を1回押すと、再生しているトラック、チャプターまたはファイルの最初に戻ります。

タイトル／チャプター／トラックやファイルを選び再生する

リモコンのみ

数字ボタンを使って再生したいタイトル／チャプター／トラック／ファイルの番号を押す

ア 1　カ/ABC 2　サ/DEF 3
タ/GHI 4　ナ/JKL 5　ハ/MNO 6
マ/PQRS 7　ヤ/TUV 8　ラ/WXYZ 9
' , : +100　ワヲン゛゜ 0　& ( ) ー +10

数字ボタンを押す順序は

23 曲目なら .... +10、+10、3
40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
311 曲目なら（MP3/WMA、JPEG）
.... +100、+100、+100、+10、1

DVDビデオのとき

- 停止中に操作すると、タイトルが選べます。選んだタイトルの再生が始まります。
- 再生中に操作すると、チャプターが選べます。選んだチャプターの再生が始まります。

CDまたはビデオCD（P.B.C.オフ時→79）のとき

- 選んだトラックの再生が始まります。

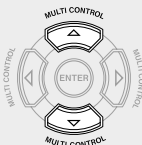
MP3/WMA、JPEGファイルのとき

- 選んだファイルの再生が始まります。

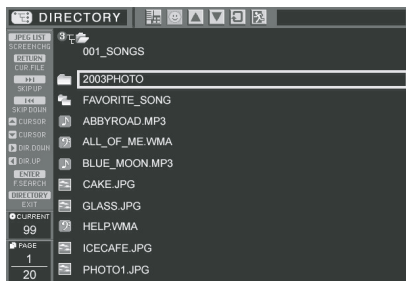
MP3/WMA、JPEGのフォルダまたはファイルを選び再生する（フォルダサーチ/ファイルサーチ）

リモコンのみ

❶ FOLDER/FILE SEARCH（フォルダー ファイル サーチ）ボタンを押す

❷ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）（△/▽）ボタンを押してフォルダまたはファイルを選ぶ

❸ ENTER（エンター）ボタンを押す

- １つ上の階層に戻るときは**MULTI CONTROL**（マルチ コントロール）（◁）ボタンを押します。
- １つ下の階層に戻るときは**MULTI CONTROL**（マルチ コントロール）（▷）ボタンを押します。

表示例（→44）

JPEG 画像を見る MP3/WMA JPEG

CD-R/CD-RWディスクに記録されたJPEG画像を再生することができます。MP3/WMAデータが混在している場合、JPEG画像を表示しながら音楽を楽しむことができます。

- **DVD/CD ▶/❚❚** ボタンを押すと、1枚目のJPEG画像から指定のスライド時間（初期値は10秒）ずつ順番に再生します。
- 画面に入りきらないJPEG画像は、縮小して表示します。縦、横の比率は変わりません。
- JPEG画像を90° ずつ回転させることができます。

<JPEGデータとMP3/WMAデータが混在している場合の動作について>

JPEGデータの次のファイルがMP3/WMAデータの場合：

JPEG画像を表示したまま、MP3/WMAデータを再生します。

MP3/WMAデータの次のファイルがJPEGデータの場合：

MP3/WMAデータの再生が終わると、次のJPEG画像を表示します。音楽を再生したまま、次のJPEG画像にスキップすることはできません。

JPEG リストから選んで再生する

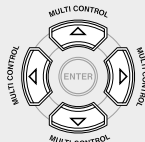
リモコンのみ

❶ JPEG画像が記録されているディスクを入れる

❷ JPEG LIST（リスト）ボタンを押す

TOP MENU
GROUP SEARCH
JPEG LIST

❸ カーソル（△/▽/◁/▷）ボタンを押して見たい画像を選ぶ

❹ ENTER（エンター）ボタンを押す

- 選んだ画像から順番に表示されます。

JPEG リスト表示例

その画面で働かないボタンは、選択できないようになっています。

基本編

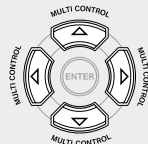
ディレクトリーから選んで再生する

リモコンのみ

❶ JPEG画像が記録されているディスクを入れる

❷ FOLDER/FILE SEARCH（フォルダー ファイル サーチ）ボタンを押す

❸ カーソル（△/▽/◁/▷）ボタンを押して見たい画像を選ぶ

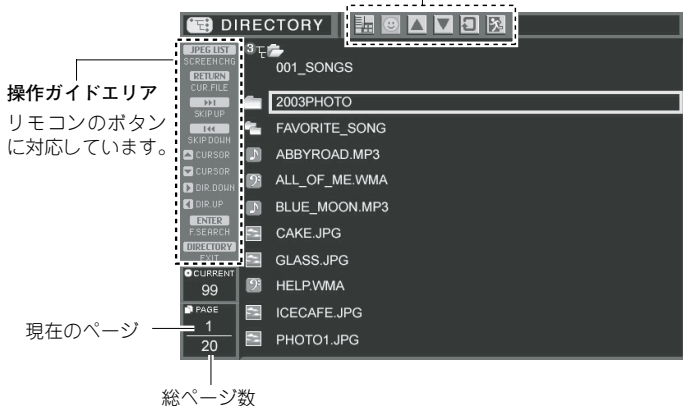
❹ ENTER（エンター）ボタンを押す

- 選んだ画像から順番に表示されます。

ディレクトリー表示例

その画面で働かないボタンは、選択できないようになっています。

操作ガイドエリア
リモコンのボタンに対応しています。

現在のページ

総ページ数

アイコンエリア

JPEGリスト表示とディレクトリー表示を切り換えます。

前のページへ

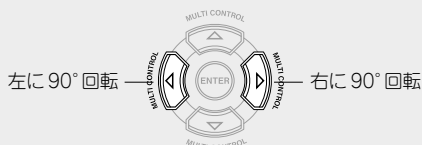
次のページへ

カーソルが、現在再生中のファイルに戻ります。

ディレクトリー表示を終了します。

JPEG 画像を回転させる

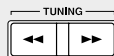
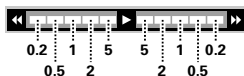
リモコンのみ

JPEG画像表示中にSOUND PRESET（サウンド プリセット）◁/▷ボタンを押す

- JPEGリスト表示中、ディレクトリー表示中、オンスクリーンディスプレイ表示中（➔72）は操作できません。
- MP3/WMA データが混在しているディスクでは、JPEG画像が表示されていても実際はMP3/WMAデータを再生している場合があります。このときJPEG画像を回転させることはできません。

スライド時間の設定

リモコンのみ

JPEG 画像表示中に ◀◀ ▶▶ ボタンを押す

TUNING

スライド時間のめやす（単位：秒）

- 初期値は 10 秒です。
- MP3/WMA データが混在しているディスクでは、次にMP3/WMA データが再生されると、設定したスライド時間はクリアされ初期値に戻ります。

基本編

表示部の表示内容を変える DVD ビデオCD CD MP3/WMA JPEG

押すたびに、本体表示部の表示内容を切り換えます。

リモコンのみ

再生中に DISPLAY（ディスプレイ） ボタンを押す

DISPLAY /CHARAC.

● 設定された表示内容がない場合は、次の表示内容に移ります。

基本編

	CD のとき	DVD、ビデオ CD のとき	MP3/WMA、JPEG が記録されたディスクのとき
再生中	① *1 曲タイトル ② トラック番号 ③ 時計	① DVD: タイトル、チャプター ビデオCD: トラック番号 ② 時計	<*2 MP3/WMA> ① ファイル名 ② フォルダ名 ❸ TAG（タグ）タイトル名 ❹ TAG（タグ）アーティスト名 ❺ TAG（タグ）アルバム名 ⑥ ファイル番号 ⑦ 時計 <JPEG> ① ファイル名 ② フォルダ名 ③ ファイル番号 ④ 時計
停止中	① *1 ディスクタイトル ② トラック番号 ③ 時計		

*1 CD-TEXT（テキスト） 対応ディスクの場合

CD-TEXT（テキスト） 機能について

本機は、CD-TEXT（テキスト） 対応のディスクを再生すると、CD に収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。

● CD-TEXT（テキスト）対応のディスクでも表示できないものもあります。ディスクに収録された文字情報が約1500文字を超えると **"TEXT（テキスト） FULL（フル）"** と表示されます。

*2 <MP3/WMA の TAG（タグ） 情報について >

● ❸❹❺ は、停止中は "・・・・" と表示されます。
● 英数字のみ表示されます。
● 本機は TAG（タグ） 情報 Ver. 1.X に対応しています。

表示部の時間表示を変える DVD ビデオCD CD

リモコンのみ

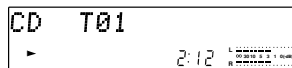
再生中に TIME（タイム） DISP.（ディスプレイ） ボタンを押す

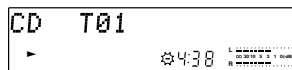
TIME DISP.

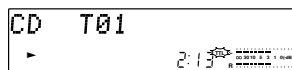
● MP3/WMA、JPEGファイルのときは、①のみ表示されます。
● プログラム再生（→66）、ランダム再生（→68）では、①と②のみ表示されます。
● ビデオCDで**P.B.C.**をオン（→79）にしているときは、時間は表示されません。
● DVDビデオのディスクによっては正しく表示されない場合があります。

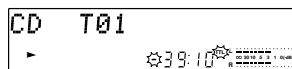
押すたびに切り換わります。

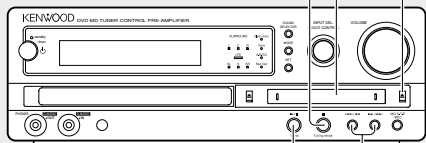
① トラック、ファイルやチャプターの経過時間

CD T01 2:12

②トラックやチャプターの残り時間（"－"が表示されます）

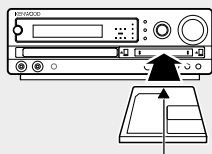
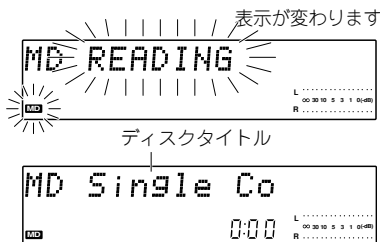
CD T01 4:38

③ ディスクまたはタイトルの経過時間（"TTL"が点灯します）

CD T01 2:13

④ ディスクまたはタイトルの残り時間（" － " 表示と "TTL"が点灯します）

CD T01 39:10

MDを聞く

MDレコーダーにあらかじめMDを入れておくとリモコンのMD ►/❚❚ キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。
MDの曲は録音したときの録音モード(例:MDLP/ステレオ2倍長時間録音(LP2)など)にしたがって再生されます。

1. MDを入れる

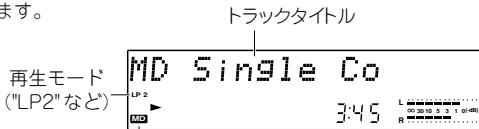
MDを本機の挿入口へ確実に入れてください

- MDにディスクタイトルが記録されているときは、ディスクタイトルが表示されます。

スタンバイ状態時はMDの出し入れはできません。
スタンバイ状態時に無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生を始める

❶ 本体で操作する場合はINPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"MD"を選び、►/❚❚ボタンを押す。

❷ リモコンで操作する場合はMD►/❚❚ボタンを押す。

- 数秒後に1曲目から再生します。
- トラックタイトルが記録されているときは、再生中の曲のタイトルが表示されます。

再生を始める／一時停止する

再生中に本体の ►/❚❚ ボタンまたはリモコンの MD►/❚❚ ボタンを押す

本　体

リモコン

- 押すたびに一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

■ ボタンを押す

本　体

リモコン

好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ

数字キーを押す順序は
12 曲目なら .... +10、2
40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
102 曲目なら ..... +100、2

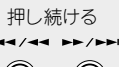
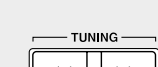
- "MD READING（リーディング）" の点滅中にディスクにないトラックナンバーを選ぶと、そのディスクに収録されている最後の曲を再生します。

MDLP について

MDLP は MD 規格に適合した新しい音声圧縮方式 ATRAC3 を採用して、ステレオ2倍（または4倍）の長時間録音、再生モードの機能を持った MD レコーダーや MDプレーヤーまたは、ATRAC3 により音声録音されているMD メディア（再生専用 MD）に表示されています。

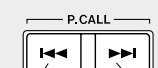
早送り・早戻しする

再生中に本体の⏮◄◄/◄◄、►►⏭/►► ボタン、またはリモコンの ◄◄、►► ボタンを押し続ける

本　体　　リモコン

- 再生中に押しつづけます。手を放したところから再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

曲を飛び越す

本体の⏮◄◄/◄◄、►►⏭/►► ボタンまたはリモコンの ⏮◄◄、►►⏭ ボタンを押す

本　体　　リモコン

- 戻るときは⏮◄◄/◄◄ボタン（⏮◄◄ボタン）を押し、進むときは►►⏭/►►ボタン（►►⏭ボタン）を押します。
- 停止中に操作すると、飛び越して選んだ曲の再生が始まります。
- 再生中に⏮◄◄/◄◄ボタン（⏮◄◄ボタン）を1回押すと、再生している曲の最初に戻ります。

MD を取り出す

MD の ▲ ボタンを押す

本体のみ

- MD を取り出したまま挿入口に放置しないでください。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

基本編

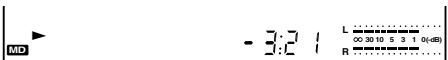
MDレコーダーの時間表示について

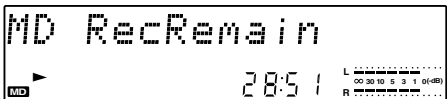
TIME DISP.（タイム ディスプレイ）キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

- 1曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①、②のみ表示します。
- 時間表示の合計が1000分以上になると "－－－：－－" と表示されます。

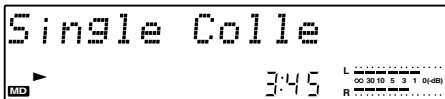
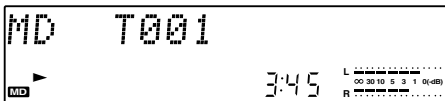
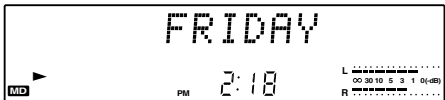
① 再生中の曲の経過時間

② 再生中の曲の残り時間　("-" 点灯)

③ 録音された曲全体の経過時間 ("TTL（トータル）" 点灯)

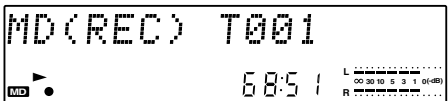
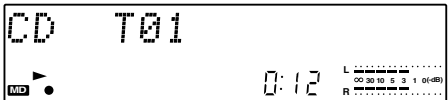
④ 録音された曲全体の残り時間 ("TTL（トータル）"、" ‐ " 点灯)

⑤ MD の録音可能残り時間

MDレコーダーのタイトル表示について

リモコンの DISPLAY/CHARAC.（ディスプレイ/キャラクター）キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

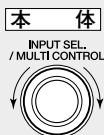
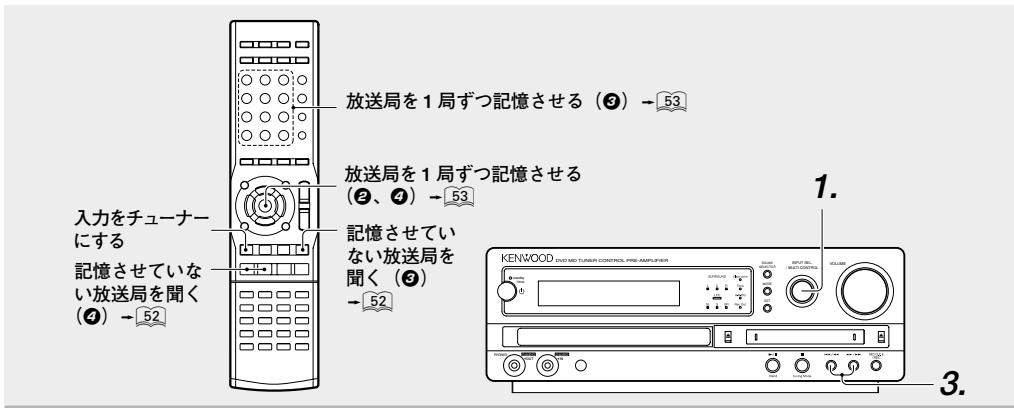
① タイトルを表示

② トラックナンバーを表示

③ 曜日および時計を表示

リモコンのみ

CD から MD へ録音中に操作すると、

① MD の録音可能残り時間を表示

② 再生中の曲のトラックナンバー表示

- 曲名（トラックタイトル）ならびにMD名（ディスクタイトル）が登録されていない場合は、"••••••••"が表示されます。
- 1曲も録音されていないときは、"BLANK DISC（ブランク ディスク）" と表示されます。（ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます。）

ラジオ放送を聞く

リモコンの TUNER/BAND ボタンを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。

本体　リモコン

1. 入力をチューナーにする

放送バンドは本体の ▶/II (Band)ボタン、またはリモコンのTUNER/BANDボタンを押すたび、以下のように切り換わります

FM
AM

2. 放送局を記憶させる

自動的に記憶させる →50

1局ずつ記憶させる →53

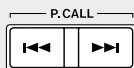
放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット) →50

お住まいの都道府県名を設定するとお住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの放送局を受信すると放送局名を(FM 放送のみ)表示します。

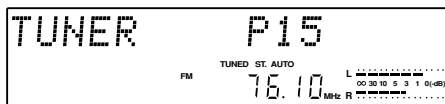
- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット) →53

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは "**記憶させていない放送局を聞く(オート選局、マニュアル選局)**" をお読みください。

本体　リモコン

3. 放送局を呼び出す(プリセットコール)

オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、⏮/◀◀ または ▶▶/⏭ ボタン(⏮ または ⏭ ボタン)を押して選局します。
押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。
押したままにすると約0.5秒間隔で放送局をスキップします。

受信すると **"TUNED"** が点灯
ステレオ受信時に **"ST."** が点灯

周波数の表示

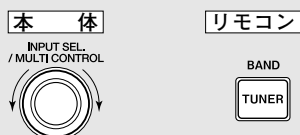
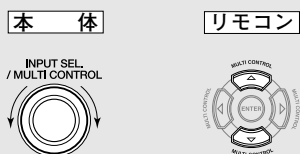
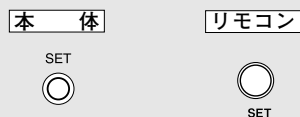
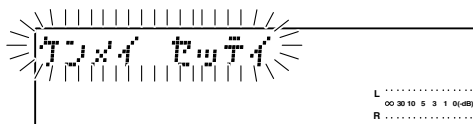
⏭ を押すと : 01 → 02 → 03 ..... 38 → 39 → 40 → 01 .....
⏮ を押すと : 40 → 39 → 38 ..... 03 → 02 → 01 → 40 .....

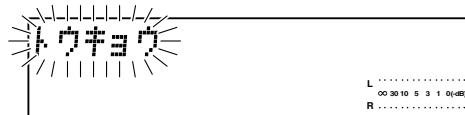
- リモコンでの数字ボタンを押しても直接選局できます。

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）（エリア別FM放送局名自動表示）

❶ 入力を TUNER（チューナー）にする

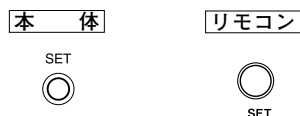
❷ " ケンメイ　セッテイ " を選ぶ

（都道府県名が点滅中に SET（セット）ボタンを押す）

❸ お住まいの都道府県名を選ぶ

❹ オートプリセットを始める

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"に載っているFM放送局のみに対応しています。 →51

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"**ミセッテイ**" と表示されます。

" トウキョウ " を選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"**エリア別FM放送局名自動表示リスト**" に従ってオートプリセットされます。

- **"AUTO PRESET"**（オート プリセット） 表示が点滅し、順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。 →53
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および **"TUNED"**（チューンド） が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。
- オートプリセットが終わると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SET（セット）ボタンを押してリストにある別の放送局名に変えることができます。押すたびに切り換わります。

ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局名が正しく表示されない場合があります。

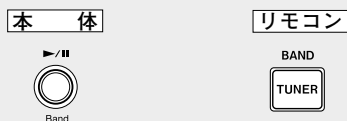
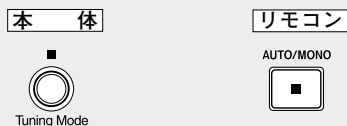
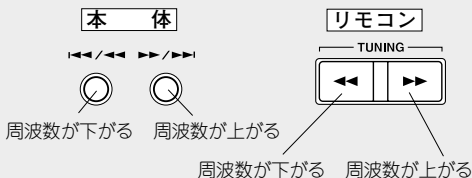
エリア別FM放送局名自動表示リスト

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G’
	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	エフエムアキタ
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FM GUNMA
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	BayFM
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM-NIIGATA
	長野エフエム放送	FM NAGANO
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
	岐阜FM放送	ギフFM
	新潟県民エフエム	FmPort.com

地方	放送局	表示名
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	e - radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム岡山	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ 1
	AFN オキナワ	AFN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

- 放送局名は予告なく変更される場合があります。

記憶させていない放送局を聞く（オート選局、マニュアル選局）

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。
電波の状態が良いとき：オート選局モード
電波が弱く雑音が多いとき：マニュアル選局モード

● FM放送はマニュアル選局モード時、モノラル受信となります。

基本編

❶ 入力を TUNER にする

❷ 必要に応じて放送バンドを切り換える

● ボタンを押すたびにAM放送、FM放送が切り換わります。

❸ オート選局とマニュアル選局を切り換える

■ **Tuning Mode ボタン（AUTO/MONOボタン）を押すたびに切り換わります。**

"AUTO TUNE": ステレオ受信（"AUTO" 点灯）
"MANUAL TUNE":モノラル受信（"AUTO" 消灯）

● 通常は **AUTO TUNE**（オート選局、ステレオ受信）を選んでください。

❹ 選局する

オート選局のとき：
ボタンを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

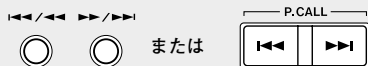
マニュアル選局のとき：
受信するまで繰り返し　ボタンを押します。あるいはボタンを押し続け、受信したい放送局の周波数になったら放します。

● 本体ボタンで選局する場合は、❸の操作をして**"AUTO TUNE"**または**"MANUAL TUNE"**の表示が出ている間に選局操作をしてください。

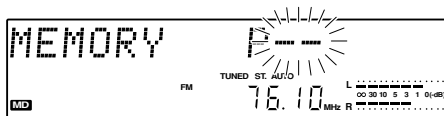
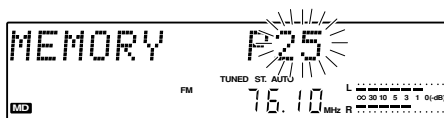
放送局を1局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット）

❶ "記憶させていない放送局を聞く（オート選局、マニュアル選局）" の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する →52

❷ 受信中に ENTER ボタンを押す

❸ 1 〜 40 までのプリセット番号を選ぶ

リモコンの数字ボタンを使うとプリセット番号を直接入力することができます。

❹ もう一度 ENTER ボタンを押す

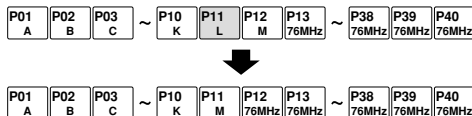
（続けてプリセットする場合は、手順 ❶〜❹ を繰り返す）

- 入力が完了すると"COMPLETE"と表示されます。
- 最大40局まで放送局を記憶できます。

- 同じ番号に重ねて記憶させると新しい設定内容に変更されます。

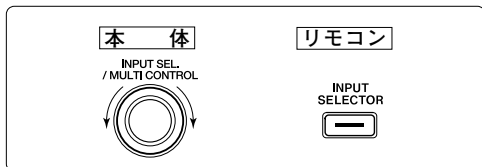
プリセットした放送局を消すには：

❶ ⏮ または ⏭ ボタンあるいはリモコンの数字ボタンを押して、消去したい放送局を選ぶ。

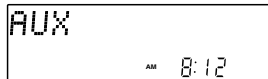
❷ CLEARボタンを押す。
"CLEAR?"が約5秒間表示されます。

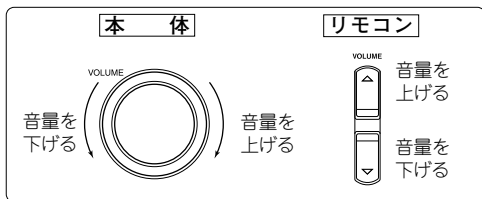
❸ "CLEAR?"が表示されている間にENTERボタンを押す。
放送局がプリセットから消去されます。

- 消去されたプリセット番号以降のプリセット番号は、前に繰り上がります。
ただし、プリセットNo.40に記録された放送局は消去できません。
- 繰り上がって空いたスペース(P40)には、"FM76.00MHz"が入ります。

外部入力ソースを聞く

1 本体の INPUT SEL./MULTI CONTROL ツマミを回す、またはリモコンのINPUT SELECTORボタンを繰り返し押す

以下を選択します。

セレクター名	背面端子名
TAPE/VIDEO1	テープ / ビデオ 1 入力
VIDEO2	ビデオ 2 入力
TV	テレビ 入力
AUX	AUX 入力
DIGITAL-IN	光デジタル 入力

AUX
AM 8:12

2 接続した機器を再生する

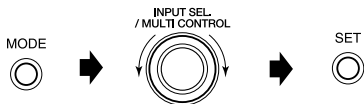
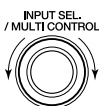
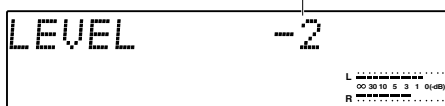
3 音量を調節する

外部入力レベルを調整する（TAPE/VIDEO1、VIDEO2、TV、AUX）

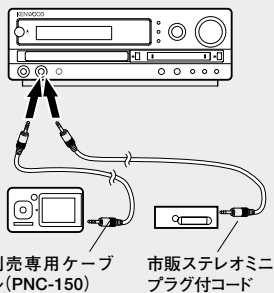
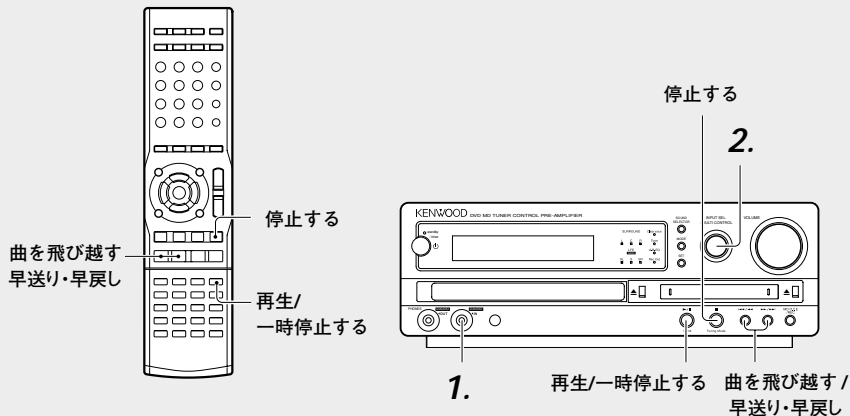
外部入力端子に接続された外部機器（ビデオデッキ等）からの外部入力レベルを調整します。CD、MD等と同じくらいの大きさで聞こえるよう必要に応じて調整してください。

❶ MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"INPUT LEVEL" を選び、SET ボタンを押す。

❷ 外部入力レベルを調整する

● -2 ～ +14 の範囲で調整できます。

❸ 確定する

● リモコンでも操作できます。その場合、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回す代わりにリモコンのMULTI CONTROL（△/▽）ボタンを押します。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーからの音を聞く

別売の専用ケーブル(PNC-150)で本機とデジタルオーディオリンク対応のケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続すると、デジタルオーディオプレーヤーを本機や、リモコンで操作することができます。

別売専用ケーブル(PNC-150)

市販ステレオミニプラグ付コード

【デジタルオーディオリンク対応機種】	【デジタルオーディオリンク非対応機種】
HD20GA7	M1GA3
M1GB5	M512A3
M512B5など	M256A3など

1. デジタルオーディオプレーヤーを接続する

【デジタルオーディオリンク対応機種を接続する場合】

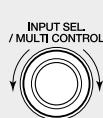
別売の専用ケーブル(PNC-150)で本機のD.AUDIO IN(デジタルオーディオイン)端子とケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーのヘッドホン端子と接続します。

【その他のデジタルオーディオプレーヤーを接続する場合】

市販のステレオミニプラグ付コードで本機のD.AUDIO IN(デジタルオーディオイン)端子とデジタルオーディオプレーヤーのヘッドホン端子と接続します。

デジタルオーディオプレーヤーを接続するときは、本機とデジタルオーディオプレーヤーの両方をオフの状態にして接続してください。
その後、両方の電源をオンにしてください。

- **D.AUDIO IN(デジタルオーディオイン)端子**はデジタルオーディオプレーヤー専用端子です。対応ポータブル機器以外は接続しないでください。

本　体　　リモコン

2. 入力をD.AUDIO(デジタルオーディオ)にする

INPUT(インプット) SEL.(セレクター)/MULTI(マルチ) CONTROL(コントロール)ツマミを回すか、またはリモコンの**INPUT(インプット) SELECTOR(セレクター)**ボタンを押して、切り換えます。

【デジタルオーディオリンク対応機種の場合】

- リモコンの**D.AUDIO(デジタルオーディオ) ▶/II** ボタンを押すとデジタルオーディオに切り換わり再生が始まります。

【デジタルオーディオリンクに対応していない機種を接続する場合】：

デジタルオーディオプレーヤーで再生、音量調節などの操作を行ってください。

【デジタルオーディオリンク対応機種を接続する場合】：下記の操作が、本機でできます。

再生を始める／一時停止する

再生中に本体の ►/❚❚ ボタンまたはリモコンの D.AUDIO（デジタルオーディオ） ►/❚❚ ボタンを押す

● 押すたびに一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

■ ボタンを押す

外部入力レベルを調整する

D.AUDIO（デジタルオーディオ）端子に接続されたデジタルオーディオプレーヤーの入力レベルを調整します。CD、MD等と同じくらいの大きさで聞こえるよう必要に応じて調整してください。

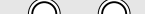
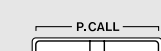
❶ MODE（モード）ボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROL（インプット セレクター マルチ）ツマミを回して"INPUT LEVEL"（インプット レベル）を選び、SET（セット）ボタンを押す。

❷ 入力レベルを選び、SET（セット）ボタンを押して確定する。

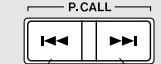
● リモコンでも操作できます。その場合、INPUT SEL./MULTI CONTROL（インプット セレクター マルチ コントロール）ツマミを回す代わりにリモコンのMULTI CONTROL（マルチ コントロール）（△/▽）ボタンを押します。
● -7～+7の範囲で調整できます。

● デジタルオーディオプレーヤーでサウンドモードが設定されていても、本機に接続している間はオフになります。
● デジタルオーディオプレーヤーのボリュームボタンで音量調節はできません。
● デジタルオーディオプレーヤーとの接続コードは、使い終わったら両方の電源をオフにした後、本機の端子より抜いてください。

早送り・早戻しする

再生中に|◄◄/◄◄、►►/►►|ボタンまたはリモコンの|◄◄、►►| ボタンを押し続ける

● 再生中に押しつづけます。手を放したところから再生します。

曲を飛び越す

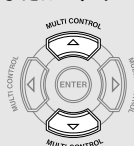
本体の|◄◄/◄◄、►►/►►|ボタンまたはリモコンの|◄◄、►►| ボタンを押す

● 戻るときは|◄◄/◄◄ボタン（|◄◄ボタン）を押し、進むときは►►/►►|ボタン（►►|ボタン）を押します。
● 再生中に|◄◄/◄◄ボタン（|◄◄ボタン）を1回押すと、再生している曲の最初に戻ります。

フォルダまたはファイルを選んで再生する（フォルダサーチ/ファイルサーチ）

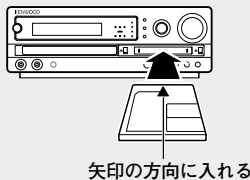
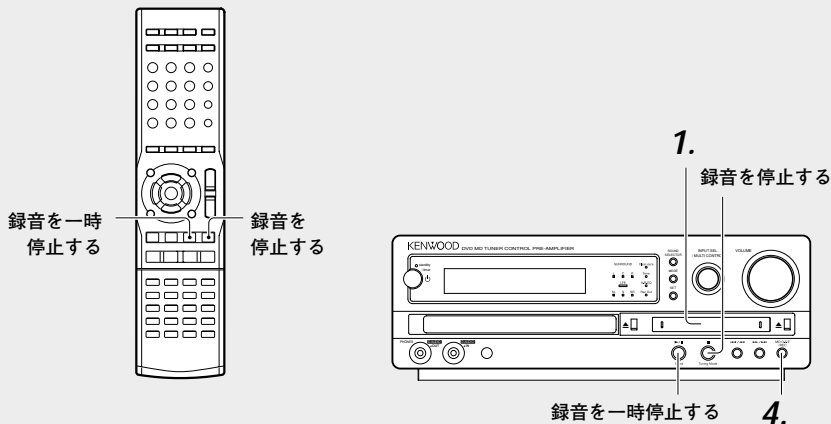
→ 42

リモコンのみ

❶ FOLDER/FILE SEARCH（フォルダー ファイル サーチ） ボタンを押す

❷ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）（△/▽）ボタンを押してフォルダまたはファイルを選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

MD に録音する

MDへの録音は、ATRAC3（MDLP）での長時間録音ができます。CDを録音するには "便利な録音あれこれ" をご覧ください。➡80

矢印の方向に入れる

1. 録音の準備をする

❶ MD の誤消去防止つまみを録音可能な状態にする ➡130
❷ MD を入れる

スタンバイ状態時は、MD の出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理に MD を入れないでください。故障の原因となります。

"MD"以外の入力ソースを選ぶ

例：TUNERを選ぶ時

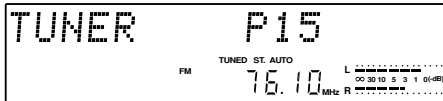
BAND

TUNER

2. 録音ソース（音源）を選ぶ

TUNER（ラジオ）：アナログ録音のみ
DVD/CD：デジタルまたはアナログ録音
TAPE/VIDEO1、VIDEO2、TV、AUX（外部入力）、D.AUDIO
：アナログ録音のみ [外部入力レベルを調整する ➡54 ➡56]
DIGITAL-IN（外部入力）
：デジタル録音のみ

表示部に録音する入力ソースが表示されます。

TUNER P15
TUNED ST. AUTO
FM 76.10 MHz
L ∞ 30 10 5 3 1 0(-dB) R

- すでに DVD/CD が入っているときは再生が始まります。
  ■ (停止) ボタンを押して止めます。

3. 録音ソースの準備をする

DVD/CD：録音したいトラック、チャプターの初めで再生一時停止にする
TUNER (ラジオ)：選局する
TAPE/VIDEO1、VIDEO2、TV、AUX（外部入力）、DIGITAL-IN、D.AUDIO
：受信や再生などの準備をする ➡54 ➡55

次ページに続く

基本編

本　　体

- 本体のMD O.T.E.（ワンタッチエディット） RECボタンを押してCDの録音操作をするとO.T.E.（ワンタッチエディット）録音（→59）動作になります。

リモコン

4. 録音を始める

❶ MD O.T.E. REC（レコーディング）ボタン（MD REC（レコーディング）ボタン）を押す（録音一時停止状態になります）

❷ すべての準備が完了後、再度MD O.T.E. REC（レコーディング）ボタン（MD REC（レコーディング）ボタン）を押す（録音が始まります）

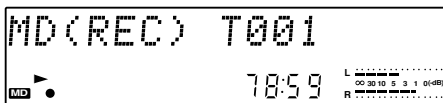
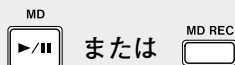
❸ ソース（音源）の再生を始める（チューナーの場合、この手順は不要です）

- CDをリモコン操作で録音するとき、❶のあとにCD ►/II ボタンを押すと、CDの再生と同時に録音が始まります。（CD シンクロ録音）
- 大音量で録音を行うと MD 再生時、音飛びが発生することがあります。録音時は音量を少し下げてください。
- 録音時は録音残量時間、トラックナンバーを表示します。

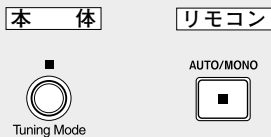
録音を一時停止する

MD

►/II

または

- 再び録音を始めるときはもう一度押します。このとき、トラック番号は "1" 繰り上がります。
- CD の O.T.E. 録音をしているときは、MD ►/II ボタンでは一時停止できません。

録音を停止する

本　　体　　　リモコン

- "MD WRITING（ライティング）" 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING（ライティング）" が完了する前に電源コードを抜くと録音や編集した情報が消滅します。
- CD を録音しているときは CD も停止します。

ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL"（ディスク フル）：MD が一杯になっている。➡ 不要な曲を消す。または MD を交換する。→88

"PROTECTED"（プロテクテッド）：誤消去防止つまみが開いている。 ➡ 閉める。 →130

"PLAY ONLY"（プレイ オンリー）：再生専用 MD である。 ➡ 録音用ディスクを入れる。

"SCMS"：SCMS によりデジタルコピー禁止のソースを録音しようとしている。➡ アナログ録音を選ぶ。→60

"MD NO DISC"（ノー ディスク）：MD ディスクが入っていない。➡ 録音用ディスクを入れる。

CDをMDに簡単に録音する(ワンタッチエディット録音)

CD の全曲をワンタッチで録音できます。(全曲録音)
CD を聞いているとき、今聞いている曲だけをワンタッチで最初から録音できます。(1 曲録音)

MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる
❷ 入力切換を "DVD/CD" にする
❸ DVD/CD プレーヤー部にディスクを入れる

録音モードの設定をしないときは手順 3 へ

- "RDM(ランダム)" 表示が点灯しているときはRANDOM(ランダム) ボタンを押し、ランダム再生モードを解除します。
- "HIGH(ハイ)" 表示が点灯しているときは、4倍速録音になります。

2 録音モードを選ぶ

" 録音モードを設定する " を行う →60

- 録音モードの設定を省くこともできます。その場合の録音モードは初期設定値で録音されます。(→60)

3 CD の再生状態を確認する

全曲録音	1 曲録音
再生中のときは停止させる ■ Tuning Mode	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順 4 を行うと、再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。 (他の曲を録音するときは、手順 3 と 4 を繰り返します)

4 録音を始める

本体の MD O.T.E. REC(ワンタッチエディットレコーディング)ボタンまたはリモコンの MD O.T.E.(ワンタッチエディット) を押す。

本　体
MD O.T.E
/REC

リモコン
MD O.T.E.

- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

■
録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると.....

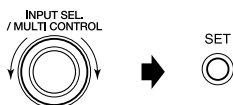
MD レコーダー　：停止し、"MD WRITING(ライティング)" が表示されます。

"MD WRITING(ライティング)" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING(ライティング)" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音モードを設定する

長時間録音モード（LP2、LP4）で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器で再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。
デジタルイコライザー録音するときはあらかじめ録音したいサウンドを選び、周波数のカーブを調整してください。→35

1 REC MODE の設定

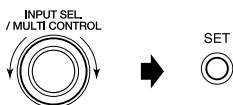
❶ **MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して "REC MODE" を選び、SETボタンを押す**

ツマミを回すと、以下のように切り換わります。
"STEREO"（ステレオ録音）：MDカートリッジに表示されている時間分録音できます（初期設定）
"LP2"（ステレオ2倍長時間録音）：MDカートリッジに表示されている約2倍の時間で録音できます（**"LP 2"**点灯）
"LP4"（ステレオ4倍長時間録音）：MDカートリッジに表示されている約4倍の時間で録音できます（**"LP 4"**点灯）
"MONO"（モノラル録音）：MDカートリッジに表示されている2倍の時間でモノラル録音ができます（**"MONO"**点灯）

❷ **INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してモードを選び、SETボタンを押す**

LP2 または LP4 を選んだ場合

REC MODE の設定で LP2、LP4 を選択すると LP STAMP選択モード（曲タイトルの頭の部分に"LP："の文字を入れる）になります。

❸ **INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回してモードを選び、SETボタンを押す**

ツマミを回すと、以下のように切り換わります。
"LP：STAMP ON"：曲タイトルの頭の部分に**"LP："**の文字が入ります（初期設定）（スタンプ(STAMP)の機能 →63）
"LP：STAMP OFF"：曲タイトルの頭の部分に**"LP："**の文字が入りません

2 REC INPUT の設定

❶ **MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"REC INPUT" を選び、SETボタンを押す**

INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回すたび、以下のように切り換わります。
"DIGITAL"： CD からのデジタル録音入力（初期設定）
"ANALOG"： CD からのアナログ録音入力

❷ **INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して録音入力を選び、SETボタンを押す**

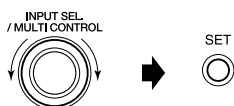
D-Bass、TONE および ROOM EQ の設定は録音されません。

- **CD** が入っていないと設定できません。

次ページに続く

3 D.EQ RecMode（デジタルイコライザー録音モード）を設定する

❶ **MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して "D.EQ RecMode"を選び、SETボタンを押す**

❷ **INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して "D.EQ ON" または "D.EQ OFF" を選び、SET ボタンを押す**

"DIGITAL EQ REC" : MANUAL EQ 設定したサウンドで録音できます。(→35)

ツマミを回すと、以下のように切り換わります。

"D.EQ ON" ：録音する音にデジタルイコライザーの効果が反映します。
"D.EQ OFF" ：録音する音にデジタルイコライザーの効果は反映しません。（初期設定）

- **D-Bass、TONE および ROOM EQの設定は録音されません。**
- **INPUT SELECTORがDIGITAL-INの場合は"DIGITAL EQ REC"はできません。**

- デジタル信号のクリップを防ぐため、多少音量が小さく録音されます。レベルメーターを見ながらクリップしない範囲で録音レベルを調整することができます。（8.録音レベルを設定する →62）

4 TRACK MARK の設定

❶ **MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して "TRACK MARK"を選び、SETボタンを押す**

❷ **INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して AUTO または MANUAL を選び、SET ボタンを押す**

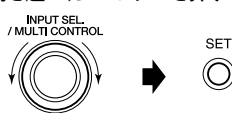
録音時にトラック番号（TRACK MARK）を自動で付けるか、手動で付けるかを選びます。（→63）

ツマミを回すと、以下のように切り換わります。

"AUTO" : 3秒間無音が続くとマーク挿入（初期設定）
"MANUAL" : 手動でマークを挿入（→63）

5 AUTO MARK の設定（TUNER録音時のみ）

❶ **MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"AUTO MARK"を選び、SETボタンを押す**

❷ **INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して AUTO MARK 時間を選び、SET ボタンを押す**

ツマミを回すと、以下のように切り換わります。

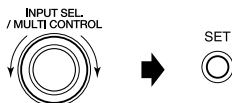
"A.MARK 5min" : 5分毎にマーク挿入（初期設定）
"A.MARK 10min" : 10分毎にマーク挿入
"A.MARK OFF" : オートマーク機能をオフにする。

- **"A.MARK OFF"**を選んだときは、**TRACK MARK**の設定が有効になります。

基本編

6 録音レベルを設定する

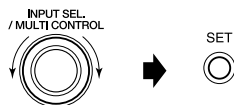
❶ REC ボタンを押して録音一時停止状態にする
❷ MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"REC LEVEL"を選び、SETボタンを押す

❸ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して録音レベルを調整し、SET ボタンを押す

- レベルは-8〜+6の範囲で調整できます。実際の録音レベルはメーター部で確認することができます。
- 録音一時停止中または録音中に録音レベルを調整してください。

INPUT SELECTOR が DIGITAL-IN の場合は、入力されたデジタル音声がそのまま録音されます。

7 テキストデータコピーを設定する

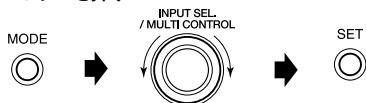
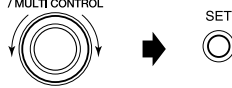
❶ MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"TEXT COPY"を選び、SETボタンを押す

❷ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"COPY ON"または"COPY OFF"を選び、SET ボタンを押す

ツマミを回すと、以下のように切り換わります。

"COPY ON"　:CDのテキストデータ(CD TEXT DISC)をMDにコピーします
"COPY OFF"　:CDのテキストデータ(CD TEXT DISC)をMDにコピーしません(初期設定)

- ワンタッチエディット録音のときのみテキストデータがコピーされます。 →59
- 短い曲(約10秒以下)が録音する曲に含まれているとき、正しくテキストデータがコピーされない場合があります。

8 GROUP MAKE の設定

❶ MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して "GROUP MAKE"を選び、SETボタンを押す

❷ INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して "GROUP ON" または "GROUP OFF" を選び、SETボタンを押す

ツマミを回すと、以下のように切り換わります。

"GROUP ON" : CDの全曲をグループ録音に登録する設定
"GROUP OFF" : グループに登録しない設定(初期設定)

録音時のトラック番号について

外部入力からの録音のとき、音のない部分が 3 秒以上続いた後に次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に "1" 繰り上げます。("TRACK MARK"、"AUTO"時)(ただし、録音する音楽ソースのノイズなどによりトラック番号がくり上がらない場合があります。)また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が繰り上がる場合があります。TUNER録音中はトラック番号は自動的に5分毎または10分毎(AUTO MARK機能)に繰り上がります。付いてしまったトラック番号は後で編集することができます。
もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中に MD EDIT ボタンを押すとその位置にトラック番号を付けることができます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

リモコンのみ

録音中に押す
(O.T.E. 機能使用時は除く)

MD EDIT

- CD からの録音では、曲の切り換わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。

MD のステレオ長時間録音と再生について

本機は、MD のステレオ長時間録音に対応しています。(MDLP 対応機器)
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があります。
また、同じ MD に異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

ステレオ長時間録音について (LP2、LP4)

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4 モードは LP2 モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音 (LP2) またはステレオ4倍長時間録音 (LP4) で録音された曲は、MDLP に対応した機器で再生することができます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音 (STEREO) で録音してください。

録音モードの種類

ステレオ録音 (STEREO):
録音可能時間は MD カートリッジに表示されている時間になります。

ステレオ 2 倍長時間録音 (LP2):
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

ステレオ 4 倍長時間録音 (LP4):
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約4倍の時間になります。

モノラル長時間録音 (MONO):
録音される音声はモノラルになります。録音可能時間はMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

スタンプ (STAMP) 機能

本機でステレオ2倍長時間録音 (**LP2**) またはステレオ4倍長時間録音 (**LP4**) で録音された曲のタイトルの始めの部分に "**LP:**" を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に "**LP:**" が表示されます。"**LP:**" は、MDLP に対応していない機器でステレオ2倍長時間録音 (**LP2**) またはステレオ4倍長時間録音 (**LP4**) された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。本機では、スタンプ (**STAMP**) 機能のオン ("**LP:**" をつける) またはオフ ("**LP:**" をつけない) の設定をすることができます。

- スタンプ(**STAMP**)機能で自動的に付く"**LP:**"も文字数に含まれます。
- MD に入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。

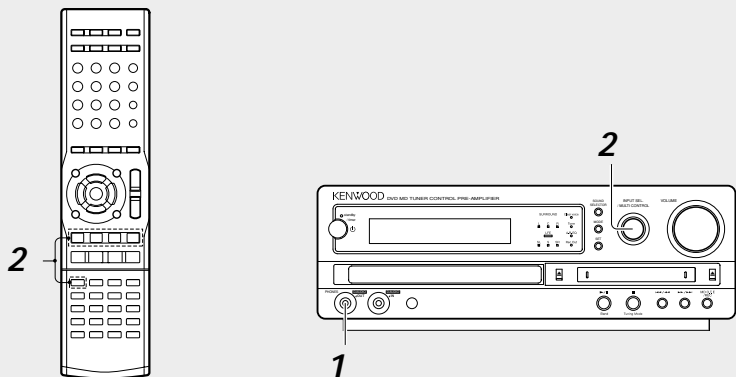
LP2、LP4モードで録音したMDをLP2、LP4モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません。ステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在しているMDを再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

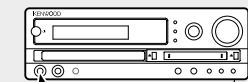
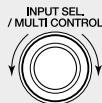
異なる録音モードで録音した曲は MD の編集機能で制限があります。"**曲をつなぐ (COMBINE)**" → 90

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーに録音する

ダイレクトエンコード機能付きのデジタルオーディオプレーヤーを接続すると、本機で再生した音をデジタルオーディオプレーヤーに録音することができます。ケンウッドのダイレクトエンコード機能付きのデジタルオーディオプレーヤーに本機に付属のデジタルオーディオプレーヤー録音コードを使って接続すると、本機でシンクロ録音（CDや、MDの再生開始で録音も開始）をすることができます。

M1GB5
M512B5 など

1 デジタルオーディオプレーヤーを接続する

本機に付属のデジタルオーディオプレーヤー録音コードを使って接続します。
録音専用コードを接続すると、D.AUDIO OUT（デジタルオーディオ アウト）（→65）のモードが、自動的に"REC OUT ON"（レコーディングアウト オン）に切り換わります。

デジタルオーディオプレーヤーを接続するときは、本機とデジタルオーディオプレーヤーの両方をオフの状態にして接続してください。
その後、両方の電源をオンにしてください。

本　体　　リモコン

2 録音ソース（音源）を選ぶ

TUNER（チューナー）（ラジオ）
DVD/CD
MD
TAPE（テープ）/VIDEO1（ビデオ）、VIDEO2（ビデオ）、TV、AUX（外部入力）

3. 録音ソースの準備をする

TUNER（チューナー） (ラジオ)　：選局する
DVD/CD、MD　：録音したいトラック、チャプターの初めで再生一時停止にする
TAPE（テープ）/VIDEO1（ビデオ）、VIDEO2（ビデオ）、TV、AUX（外部入力）：
受信や再生などの準備をする　→54

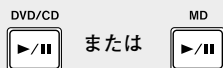
- 録音した音がひずんでいたり、小さい場合は、録音レベルを調整してください。　→62

以下の設定が目安です。

DVD/CD、MD、TUNER（チューナー）　：REC LEVEL（レコーディングレベル） 0
その他の外部入力ソース　：外部入力レベル調整で設定した値　→54

4. 録音をはじめる

❶本機のリモコンのD.AUDIO REC（デジタルオーディオレコーディング）ボタンを押す。

❷DVD/CDまたはMDの再生を始める。

- DVD/CDまたはMDの再生が始まり、デジタルオーディオプレーヤーの録音がスタートします。
- CD、MDのリピート設定、プログラム設定をしておくと設定した内容で録音をすることができます。
- 録音された曲が分割されない場合は本体のプログラム再生を利用し、4項の操作をして1曲ずつ録音してください。
  複数の曲を録音したい場合は、この操作を繰り返してください。

マニュアルで録音を始めるとき

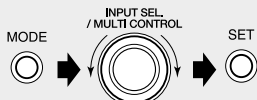
ライブ盤などの曲間が短いソースでは、曲がつながる場合があります。また、クラシックなどで小さい音が続いたときは、意図しないところで、曲が分割される場合があります。その場合はマニュアルで1曲ずつ録音することをお勧めします。

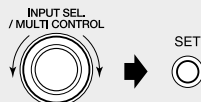
1. （64ページの）手順1.〜3.を行う

デジタルオーディオプレーヤーの録音入力端子に合うステレオミニプラグ付コードで接続します。

2. D.AUDIO OUT（デジタルオーディオ アウト）の設定をする

本機のD.AUDIO OUT（デジタルオーディオ アウト）（PHONES（ホーンズ））端子の出力を、ヘッドホン出力用からデジタルオーディオ録音出力用に切り換えます。

❶ MODE（モード）ボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROL（インプット セレクター マルチ コントロール）ツマミを回して"D.AUDIO OUT"（デジタルオーディオ アウト）を選び、SET（セット）ボタンを押す。

- Rec Outインジケーターが点灯します。

❷ "REC OUT ON"（レコーディングアウトオン）を確認し、SET（セット）ボタンを押して確定する。

- "REC OUT ON"（レコーディングアウトオン）時は入力ソース（音源）は固定になります。入力ソースを変更したいときは手順❶、❷の操作をして、"HEADPHONE"に切り換えてから64ページの手順 **2.**からやり直してください。
- "REC OUT ON"（レコーディングアウトオン）時に操作をすると"HEADPHONE"に戻ります。

> - ヘッドホンをしたまま"D.AUDIO OUT"（デジタルオーディオ アウト）を変更すると、音が大きくなることがありますのでご注意ください。
> - "REC OUT ON"（レコーディングアウトオン）に切り換わったときはスピーカーから音が出ますので音量にご注意ください。

3. 録音の準備をする

- 詳しくはデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

4. 録音をはじめる

❶デジタルオーディオプレーヤーで録音をはじめる。

- 詳しくはデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

❷本機で、ソース（音源）の再生をはじめる。

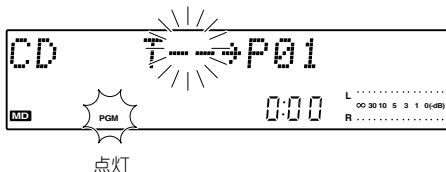
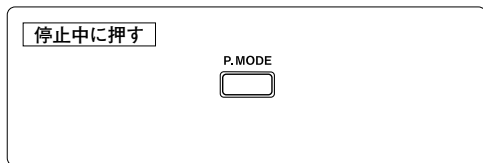
- 録音が終了したときは手順**2.**の操作をして、"HEADPHONE"（ヘッドホン）に戻しておいてください。
- 電源をオフにしたときも"HEADPHONE"（ヘッドホン）に戻ります。
- CD、MDのリピート設定、プログラム設定をしておくと設定した内容で録音をすることができます。

メモ：デジタルオーディオプレーヤーとの接続コードは、使い終わったら電源をオフにした後、本機の端子より抜いてください。

曲順を並べ替えて聞く(プログラム再生) ビデオCD CD MD

好きな曲を好きな順番にプログラムして聞くことができます。(最大 32 曲)

入力切換を "CD" または "MD" にする。

1 "PGM" モードを選ぶ

2 聞きたい順に曲を選ぶ

❶ 曲(トラック番号)を選ぶ

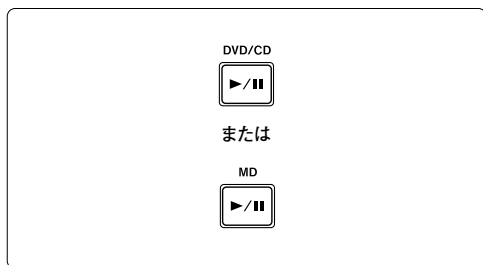
(20秒以内に手順❷へ)

❷ 確定する

(2曲以上選ぶときは手順 ❶、❷ を繰り返す)

数字ボタンを押す順序は
12 曲目なら .... +10、2
40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
102 曲目なら .... +100 、2

- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
- 32曲までプログラムできます。"PGM FULL"と表示されると、それ以上プログラムできません。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- MDのプログラム時間の合計が1000分以上になると時間表示が " ー ー:ー ー" になります。

3 再生する

- プログラムで選んだ順(P- 番号順)に再生します。
- 再生中に |◄◄ ボタンを 1 回押すと、再生中の曲を最初から再生します。
  前の曲へ飛び越すときは、|◄◄ ボタンを2回押します。
- 再生中に ►►| ボタンを 1 回押すと次の曲へ飛び越して再生します。

曲を追加するには

❶ 数字ボタンで追加したい曲番号を選ぶ

停止中に押す

❷ 確定する

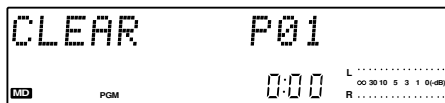
数字ボタンを押す順序は

12 曲目なら .... +10、2
40 曲目なら .... +10、+10、+10、+10、0
102 曲目なら .... +100、2

- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
- 最大32曲までプログラムできます。"PGM FULL"（プログラム フル）と表示されると、それ以上プログラムできません。
- 選んだ曲番号はプログラムの最後に追加されます。

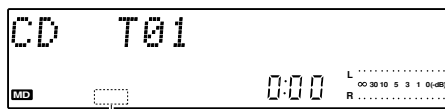
応用編

プログラムした曲を取り消すには

停止中に押す

P-01が取り消されたとき

- 押すたびに最後の曲から 1 曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

停止中に押す

- 本機での CD と MD を組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフにしたり、プログラムしたディスクを取り出すとプログラムモードを解除します。このとき、設定したプログラム内容は解除されます。

ディスクの曲順を順不同に楽しむ（ランダム再生）

ビデオCD　CD　MD　MP3/WMA　JPEG

毎回曲がランダム（無作為）に選曲されるので、飽きることなく楽しめます。

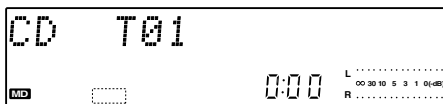
- ビデオCDでP.B.C.がオンのときは、オフにしてください。→79
- プログラム再生モードのときは、ランダム再生はできません。プログラム再生を解除してから操作してください。→67
- リモコンを使って操作します。

DVD/CD ▶/❚❚ ボタンまたは MD ▶/❚❚ ボタンを押して入力切換を "DVD/CD" または "MD" にする

❶ "PGM"（プログラム）表示の消灯を確認する

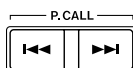
- "PGM"（プログラム）表示が点灯しているときは、停止中にP.MODE（プレイモード）ボタンを押して消灯させせます。

消灯を確かめる

❷ RANDOM（ランダム）ボタンを押す

RANDOM

- "RANDOM"（ランダム）表示が点灯し、ランダム再生が始まります。
- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- 停止すると、ランダム再生は解除されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶❙ ボタンを押す

- ❙◀◀ボタンを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

RANDOM（ランダム）ボタンを押す

- "RANDOM"（ランダム）表示が消灯します。

応用編

繰り返し再生する（リピート再生） DVD ビデオCD CD MD MP3/WMA JPEG

お気に入りの映像や曲を繰り返し再生することができます。
- DVD ビデオやビデオ CD では、リピート再生できないものがあります。
- ビデオ CD をリピート再生するときは、P.B.C. 機能をオフにしてから操作してください。→79
- リモコンを使って操作します。
- オンスクリーンディスプレイを使ってリピート再生の操作をすることもできます。→73 →75 →76

DVD/CD ▶/❚❚ ボタンまたは MD ▶/❚❚ ボタンを押して入力切換を "DVD/CD" または "MD" にする

再生中にREPEAT（リピート）ボタンを押してリピートモードを選ぶ

REPEAT

REPEAT（リピート）ボタンを押すたびに次のように変わります。

"REPEAT ONE"（1曲リピート）：CD、ビデオCD、MD、DVDビデオでは再生中の曲（トラック、チャプター）だけを繰り返します。

REPEAT ONE

- CD、MDやビデオCDをプログラム再生、ランダム再生しているときは、**"REPEAT ONE"**は選べません。

"REPEAT"（全曲リピート）：1枚のディスクを繰り返します。
DVDビデオのときは、再生中のタイトルを繰り返します。
プログラム再生のときは、プログラムした全ての曲を繰り返します。

REPEAT

解除（消灯）：リピート再生を解除します。

- MDのグループモードの時（→97）、「全曲リピート」はグループ内の全曲リピートになります。

MP3/WMA、JPEGファイルをリピートするとき

MP3/WMA、JPEG ファイルをリピートするときは、全曲リピート（ディスクの全曲を繰り返す）、1曲リピート（再生中の曲を繰り返す）以外に、フォルダリピート（再生中の曲のフォルダの全曲を繰り返す）があります。

REPEAT（リピート）ボタンを押すたびに次のように変わります。

"REPEAT ONE"（1 曲リピート）
"REPEAT 📁"（フォルダリピート）
"REPEAT"（全曲リピート）
解除（消灯）

1曲または1つのチャプターだけ繰り返し再生するとき、あらかじめ数字ボタンまたは⏮、⏭ボタンを使って曲またはチャプターを選んで再生しておくと、簡単にその曲またはチャプターだけの繰り返し再生ができます。

ランダムリピート再生する ビデオCD CD MD MP3/WMA JPEG

ランダム再生中に REPEAT（リピート）ボタンを押す

REPEAT

- 全曲のランダム再生が繰り返されます。
- ビデオCDをランダムリピート再生するときは、**P.B.C.**機能をオフにしてから操作してください。→79
- ■（停止）ボタンを押して停止すると、ランダム再生とリピート再生が解除されます。

プログラム再生モードのときは、ランダム再生はできません。プログラム再生を解除してから操作してください。→67

応用編

指定した区間を繰り返し再生する（A-Bリピート再生）

DVD ビデオCD CD

再生中に、繰り返しを始めるところと終わるところを指定して、指定した区間を繰り返し再生します。

- DVDビデオやビデオCDでは、A-Bリピート再生ができないものがあります。
- プログラム再生モードまたはランダム再生中は、A-Bリピート再生はできません。プログラム再生またはランダム再生を解除してから操作してください。→67 →68
- リモコンを使って操作します。
- オンスクリーンディスプレイを使ってA-Bリピート再生の操作をすることもできます。→73 →75

DVD/CD ►/❚❚ ボタンを押して入力切換を "DVD/CD" にする

❶ "PGM"（プログラム）表示の消灯を確認する

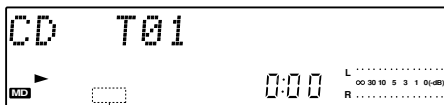
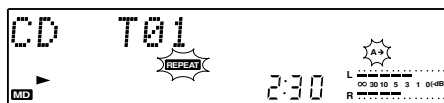
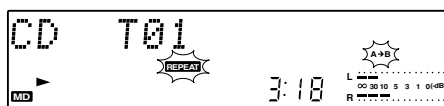
- "PGM"（プログラム）表示が点灯しているときは、停止中にP. MODE（プレイモード）ボタンを押して消灯させます。

消灯を確かめる

❷ DVD/CD►/❚❚ボタンを押して、再生する

❸ 繰り返しを始めるところでA ► Bボタンを押す

- 開始場所Aが指定されます。

❹ 繰り返しを終わらせるところでA ► Bボタンを押す

- 終了場所Bが指定され、AB間の繰り返すA-Bリピート再生が始まります。

A-Bリピート再生をやめるには

A-Bリピート再生中にA ► Bボタンを押します。

DVDビデオのメニュー再生をする DVD

DVDビデオのトップメニュー画面またはメニュー画面を呼び出して、メニュー画面で再生したい項目を選んで再生します。

- **DVDビデオを再生して、すでにメニュー画面が表示されているときは、手順❷から操作してください。**
- **リモコンを使って操作します。**
- **ディスクによっては、メニュー再生ができないものもあります。**

DVD/CD ▶/❚❚ ボタンを押して入力切換を "DVD/CD" にする

❶ TOP MENU ボタンまたは MENU ボタンを押して、メニュー画面を呼び出す

TOP MENU
GROUP SEARCH
JPEG LIST

または

MENU/P.B.C.
FOLDER/FILE
SEARCH

- 再生中にトップメニュー画面を表示させたとき、TOP MENU ボタンをもう一度押すと、最初にボタンを押した場面まで戻り、そこから再生します。
  （ディスクによっては、このような動作にならない場合があります。）

❷ カーソルボタン（◁/▷/△/▽）を使って再生したい場面を選ぶ

- 数字ボタンを使って場面を選ぶこともできます。数字ボタンで選んだときは、選んだ場面から再生が始まります。手順 ❸ は必要ありません。
- ディスクによって別の操作が指定されている場合があります。

❸ ENTER ボタンを押す

- 選んだ場面から再生が始まります。
- メニューが階層構造のときは、1つ下の階層のメニューに移ります。手順 ❷ と ❸ の操作をしてください。

応用編

DVD のその他の再生機能

音声言語を変更する

DVD に複数の言語が記録されている場合は切り換えて聞くことができます。

AUDIO

押すたびに切り換わります。

字幕を変更する

DVD に複数の字幕が記録されている場合は切り換えて聞くことができます。

SUBTITLE

押すたびに切り換わります。

オンスクリーンディスプレイを使って操作する DVD CD ビデオCD MP3/WMA JPEG

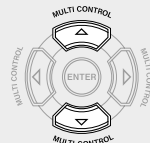
テレビにオンスクリーンディスプレイを表示させて、各種の操作や時間表示を見ることができます。
- DVDビデオでメニュー画面を表示しているとき（➡71）は、オンスクリーンディスプレイは表示されません。
- リモコンを使って操作します。

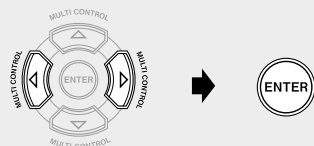
DVD/CD ▶/❚❚ ボタンを押して入力切換を "DVD/CD" にする

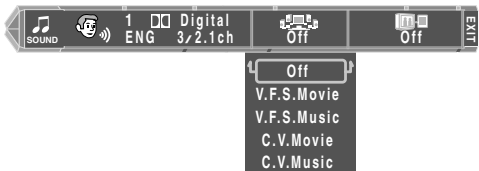
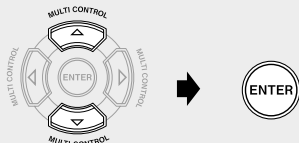
オンスクリーンディスプレイの基本操作

❶ ON SCREEN（オン スクリーン）ボタンを押して、オンスクリーンディスプレイを表示させる

ON SCREEN

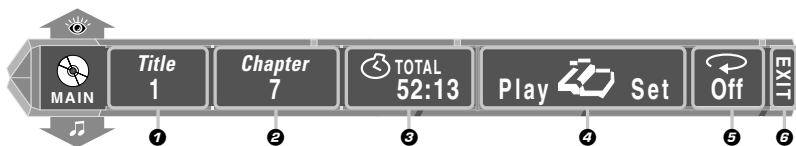
❷ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）（△/▽）ボタンを押して、操作するオンスクリーンディスプレイを選ぶ

- オンスクリーンディスプレイには "MAIN"（メイン）、"SOUND"（サウンド）、"VISUAL"（ビジュアル）があります。

❸ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）（◁/▷）ボタンを押して、アイコンを選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

- サブメニューが表示されます。
- 操作できないアイコンは、飛び越されます。

❹ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）（△/▽）ボタンを押して、内容を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

オンスクリーンディスプレイの表示をやめるとき

EXIT（イグジット）アイコンを選んでENTER（エンター）ボタンを押す、またはON SCREEN（オン スクリーン）ボタンを押します。

または
ON SCREEN

オンスクリーンディスプレイでDVDビデオを操作する
"MAIN"オンスクリーンディスプレイ

❶ **タイトルアイコン**
タイトル番号が表示されます。

タイトル番号を選ぶ
タイトルアイコンを選び、サブメニューからタイトル番号を選びます。

❷ **チャプターアイコン**
チャプター番号が表示されます。

チャプター番号を選ぶ
チャプターアイコンを選び、サブメニューからチャプター番号を選びます。

❸ **時間表示アイコン**
時間表示が表示されます。

時間表示を変える
時間表示アイコンを選び、サブメニューから表示させる時間を選びます。
本体表示部の時間表示も変わります。

Time Search --:--:--：タイムサーチをするときに選びます（同一タイトル内）。
Single Time：再生中のチャプターの経過時間を表示します。
Single Remain Time：再生中のチャプターの残り時間を表示します。
Total Time：再生中のタイトルの経過時間を表示します。
Total Remain Time：再生中のタイトルの残り時間を表示します。

タイムサーチをする
① 再生中に時間表示アイコンを選ぶ
② サブメニューから**"Time Search --：--：--"**を選ぶ
③ 数字ボタンを使って、再生中のタイトル内の時間を入力し、**ENTER**ボタンを押す
例：12分34秒 --- 1、2、3、4と押す
- 入力した時間の場面から再生が始まります。

❹ **メモリープレイアイコン**
再生したい地点を登録し、簡単に呼び出すメモリー再生をするときに使います。

メモリー登録する
① メモリー登録したいチャプターを再生中に、メモリープレイアイコンの**"SET"**を選ぶ
② サブメニューから登録するリスト番号を選ぶ
③ メモリー再生を開始する場所で、**ENTER**ボタンを押す
- 選んだ番号のリストにメモリー再生開始地点情報が入力されます。

メモリー再生する
① メモリープレイアイコンの**"PLAY"**を選ぶ
② サブメニューのリストからメモリー再生する番号を選び、**ENTER**ボタンを押す
- 選んだリストの再生場所からメモリー再生が始まります。

❺ **リピートアイコン**
リピート再生モードが表示されます。

リピート再生モードを変える
リピートアイコンを選び、サブメニューからリピート再生モードを選びます。

Off：リピート再生を解除します。
Chapter：チャプターを繰り返し再生します。
Title：タイトルを繰り返し再生します。
A B：指定した区間を繰り返し再生します（A-Bリピート再生）。

❻ **EXITアイコン**
オンスクリーンディスプレイ表示を消すときに選びます。

"SOUND"（サウンド）オンスクリーンディスプレイ

❼ **音声アイコン**
ストリーム番号、音声信号、音声言語、チャンネル数が表示されます。

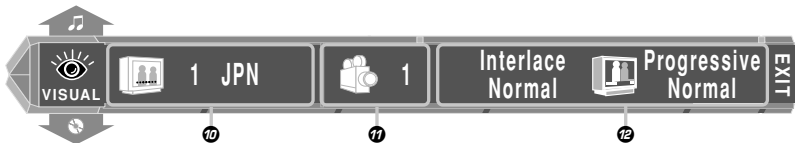
音声言語を切り換える
音声アイコンを選び、サブメニューから音声言語を選びます。

❽ **V.F.S.アイコン**
V.F.S.のモードが表示されます。

V.F.S.を切り換える
V.F.S.アイコンを選び、サブメニュー（**Off**（オフ）、**V.F.S. Movie**（ムービー）、**V.F.S. Music**（ミュージック）、**C.V. Movie**（ムービー）、**C.V. Music**（ミュージック）、）からモードを選びます。

❾ **シネマボイスアイコン**
シネマボイスモードのオン／オフが表示されます。ドルビーデジタルマルチチャンネル音声で収録されているDVDビデオで、台詞（セリフ）が聞き取りにくいときに使います。

シネマボイスモードを切り換える
シネマボイスアイコンを選び、サブメニューから**"On"**（オン）または**"Off"**（オフ）を選びます。

"VISUAL"（ビジュアル）オンスクリーンディスプレイ

❿ **字幕アイコン**
字幕言語が表示されます。

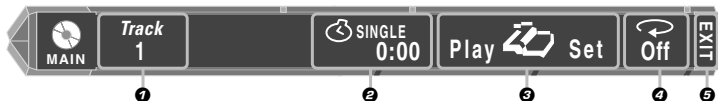
字幕を切り換える
字幕アイコンを選び､サブメニューから字幕言語を選びます。

⓫ **アングルアイコン**
アングル番号が表示されます。

アングルを切り換える
アングルアイコンを選び､サブメニューからアングルを選びます。

⓬ **画質調整アイコン**
画質を調整するときに使います。
画質調整アイコンを選び､サブメニューから画質を選びます。
調整のしかたは**"画質を調整する"**（→77 →78）をご覧ください。

オンスクリーンディスプレイでCD／ビデオCDを操作する

"MAIN(メイン)"オンスクリーンディスプレイ

❶ **トラックアイコン**
トラック番号が表示されます。

トラック番号を選ぶ（CD/P.B.C. オフ時のビデオ CD）
トラックアイコンを選び、サブメニューからトラック番号を選びます。

❷ **時間表示アイコン**
時間表示が表示されます。

時間表示を変える（CD/P.B.C. オフ時のビデオ CD）
時間表示アイコンを選び、サブメニューから表示させる時間を選びます。
本体表示部の時間表示も変わります。

Time(タイム) Search(サーチ) --:--	：タイムサーチをするときに選びます（同一トラック内）。
Single(シングル) Time(タイム)	：再生中のトラックの経過時間を表示します。
Single(シングル) Remain(リメイン) Time(タイム)	：再生中のトラックの残り時間を表示します。
Total(トータル) Time(タイム)	：再生中のディスクの経過時間を表示します。
Total(トータル) Remain(リメイン) Time(タイム)	：再生中のディスクの残り時間を表示します。

タイムサーチをする（CD/P.B.C.オフ時のビデオCD）
"オンスクリーンディスプレイでDVDビデオを操作する"の**"タイムサーチをする"**と同じ操作をします。（手順③は、再生中のトラック内の時間を入力します。）→73

❸ **メモリープレイアイコン**（CD/P.B.C. オフ時のビデオ CD）
再生したい地点を登録し、簡単に呼び出すメモリー再生をするときに使います。**"メモリー登録""メモリー再生"**の操作については、**"オンスクリーンディスプレイでDVDビデオを操作する"**の❹（→73）を参照してください。

❹ **リピートアイコン**
リピート再生モードが表示されます。

リピート再生モードを変える
リピートアイコンを選び、サブメニューからリピート再生モードを選びます。

Off(オフ)	：リピート再生を解除します。
Track(トラック)	：トラックを繰り返し再生します。（CD/P.B.C. オフ時のビデオ CD）
Disc(ディスク)	：ディスクを繰り返し再生します。（CD/P.B.C. オフ時のビデオ CD）
A B	：指定した区間を繰り返し再生します（A-B リピート再生）。

❺ **EXIT(イグジット) アイコン**
オンスクリーンディスプレイ表示を消すときに選びます。

"SOUND(サウンド)"オンスクリーンディスプレイ

❻ **音声アイコン**
音声の属性、再生周波数、ビット数、再生チャンネルが表示されます。

ビデオ CD の再生チャンネルを切り換える
音声アイコンを選び、サブメニューから再生チャンネルを選びます。

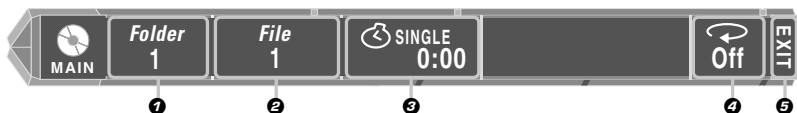
❼ **V.F.S. アイコン**
V.F.S. のモードが表示されます。

V.F.S.を切り換える
V.F.S.アイコンを選び、サブメニュー（**Off(オフ)**、**V.F.S. Movie(ムービー)**、**V.F.S. Music(ミュージック)**、**C.V. Movie(ムービー)**、**C.V. Music(ミュージック)**）からモードを選びます。

"VISUAL(ビジュアル)"オンスクリーンディスプレイ

❽ **画質調整アイコン**
画質を調整するときに使います。画質調整アイコンを選び、サブメニューから画質を選びます。調整のしかたは**"画質を調整する"**（→77→78）をご覧ください。

オンスクリーンディスプレイでMP3/WMA、JPEGを操作する

"MAIN"オンスクリーンディスプレイ

❶ **フォルダアイコン**
フォルダ番号が表示されます。

フォルダを選ぶ
カーソルボタン（△/▽）を押してフォルダ番号を選び、**ENTER**ボタンを押します。

❷ **ファイルアイコン**
ファイル番号が表示されます。

ファイルを選ぶ
カーソルボタン（△/▽）を押してファイル番号を選び、**ENTER**ボタンを押します。

❸ **時間表示アイコン**
時間表示が表示されます。

❹ **リピートアイコン**
リピート再生モードが表示されます。

リピート再生モードを変える
リピートアイコンを選び、サブメニューからリピート再生モードを選びます。

Off　：リピート再生を解除します。
File　：ファイルを繰り返し再生します。
Folder　：フォルダを繰り返し再生します。
Disc　：ディスクを繰り返し再生します。

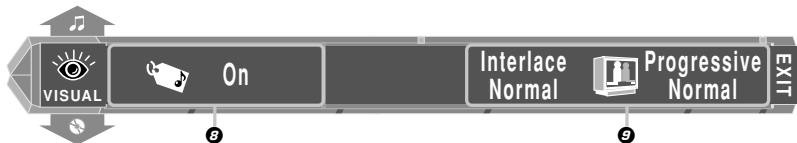
❺ **EXITアイコン**
オンスクリーンディスプレイ表示を消すときに選びます。

"SOUND"オンスクリーンディスプレイ

❻ **音声アイコン**
データ形式（MP3またはWMA）が表示されます。
JPEGファイルの場合は"- - -"と表示されます。

❼ **V.F.S.アイコン**
V.F.S.のモードが表示されます。

V.F.S.を切り換える
V.F.S.アイコンを選び、サブメニュー（**Off**、**V.F.S. Movie**、**V.F.S. Music**、**C.V. Movie**、**C.V. Music**）からモードを選びます。

"VISUAL"オンスクリーンディスプレイ

❽ **タグ表示アイコン**
テレビ画面にアルバム名、曲名、アーティスト名を表示させるタグ表示機能のオン／オフの設定をするときに使います。

タグ表示機能を使う
タグ表示アイコンを選び、サブメニューから**"On"**を選びます。

❾ **画質調整アイコン**
画質を調整するときに使います。画質調整アイコンを選び、サブメニューから画質を選びます。
調整のしかたは**"画質を調整する"**（→77→78）をご覧ください。

画質を調整する

本機でも画質の調整ができます。

- テレビに画質調整機能があるときは、テレビで画質を調整してください。
- 映像ソフトを再生中に操作します。
- 本機の映像信号出力の設定(プログレッシブまたはインターレース)に関わらず、インターレースとプログレッシブの画質の調整ができます。
- "Noise Reduction" と "GAMMA" の設定は、インターレースとプログレッシブの共通設定項目です。
  画質調整アイコンの "Interlace" または "Progressive" のどちらを選んでも同じ設定ができます。

インターレースの画質調整 →16

❶ **"VISUAL"オンスクリーンディスプレイ内の画質調整アイコン"Interlace"を選び、ENTERボタンを押す**

❷ **MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、画質を選び、ENTERボタンを押す**

"Normal": 通常の画質で再生します。

"Fine": 輪郭を強調してクッキリとした画質になります。

"Soft": ノイズの少ない柔らかな画質になります。

"Cinema": 映画館のスクリーンのイメージに近い画質になります。

"User Mode 1": **User Mode**メニューが表示され、詳細な設定ができます。**"User Mode 1"または"User Mode 2 "を選んだとき"**をご覧ください。

"User Mode 2": **User Mode**メニューが表示され、詳細な設定ができます。**"User Mode 1"または"User Mode 2 "を選んだとき"**をご覧ください。

"Noise Reduction": **Noise Reduction**メニューが表示され、詳細な設定ができます。**"Noise Reduction"を選んだとき"**をご覧ください。

"GAMMA": 接続するTV画面の色調(明るさ)を補正します。**"GAMMA"**メニューが表示されます。**MULTI CONTROL (△/▽)ボタンを押して**、数値を選び、**ENTER**ボタンを押して調整します。

- **"Normal""Fine""Soft""Cinema"**を選んだときは、画質の調整は終了です。

"User Mode 1" または "User Mode 2 " を選んだとき

❶ **MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、画質を選び、ENTERボタンを押す**

"Contrast": −7〜+7の範囲で映像の明暗の差を調整します。

"Color": −7〜+7の範囲で色の濃さの調整をします。

"Sharpness": −7〜+7の範囲で映像の輪郭を強調する度合いの調整をします。

"Brightness": 0〜+15の範囲で映像の明るさを調整します。

❷ **MULTI CONTROL (△/▽)ボタンを押して、数値を選び、ENTERボタンを押す**

- 手順 ❶ と ❷ を繰り返して画質を調整します。
- **RETURN** ボタンを押すと **"VISUAL"** オンスクリーンディスプレイに戻ります。

"Noise Reduction" を選んだとき

❶ **MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、設定項目を選び、ENTERボタンを押す**

"Mosquito NR": モスキートノイズが低減します。**"On 2""On 1""Off"**から選びます。

"Block NR": **"On"**を選ぶとブロックノイズが低減します。

"3D NR": **"On"**を選ぶと映像のノイズが低減します。

"Dot NR": **"On"**を選ぶとドットノイズが低減します。

❷ **MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、設定項目を選び、ENTERボタンを押す**

- 手順 ❶ と ❷ を繰り返して画質を調整します。
- **RETURN** ボタンを押すと **"VISUAL"** オンスクリーンディスプレイに戻ります。
- **"3D NR"** と **"Dot NR"** は、同時にオンを選べません。

プログレッシブの画質調整 ➡ 16

❶ **"VISUAL"オンスクリーンディスプレイ内の画質調整アイコン"Progressive"を選び、ENTERボタンを押す**

❷ **MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、画質を選び、ENTERボタンを押す**

"Normal"：通常の画質で再生します。
"Fine"：輪郭を強調してクッキリとした画質になります。
"Soft"：ノイズの少ない柔らかな画質になります。
"Cinema"：映画館のスクリーンのイメージに近い画質になります。
"User Mode 1"：**User Mode**メニューが表示され、詳細な設定ができます。**"User Mode 1"または"User Mode 2 "を選んだとき"**をご覧ください。
"User Mode 2"：**User Mode**メニューが表示され、詳細な設定ができます。**"User Mode 1"または"User Mode 2 "を選んだとき"**をご覧ください。
"Noise Reduction"：**Noise Reduction**メニューが表示され、詳細な設定ができます。**"Noise Reduction"を選んだとき"**をご覧ください。
"GAMMA"：接続するTV画面の色調(明るさ)を補正します。**"GAMMA"**メニューが表示されます。**MULTI CONTROL △/▽**を押して数値を選び、**ENTER**ボタンを押して調整します。

● **"Normal""Fine""Soft""Cinema"**を選んだときは、画質の調整は終了です。

"User Mode 1" または "User Mode 2 " を選んだとき

❶ **MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して設定項目を選び、ENTER ボタンを押す**

"Contrast"：－7～＋7の範囲で映像の明暗の差を調整します。
"Color"：－7～＋7の範囲で色の濃さの調整をします。
"Sharpness"：－7～＋7の範囲で映像の輪郭を強調する度合いの調整をします。
"Brightness"：0～＋ 15 の範囲で映像の明るさを調整します。
"I/P"：プログレッシブ接続を利用しているとき(D端子接続)、プログレッシブ変換動作を選びます。

"I/P" を選んだとき

"AUTO"：自動切換え（Video または Film）ポジション（初期設定値）
"Film"：フィルム映像（毎秒24コマ）を、プログレッシブ出力（525p）テレビ映像信号に変換します。
"Video"：通常のビデオ映像信号(インターレース)で記録されたソフトをプログレッシブ出力(525 p)テレビ映像信号に変換します。

❷ **MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、数値または項目を選び、ENTER ボタンを押す**

● 手順 ❶ と ❷ を繰り返して画質を調整します。
● **RETURN** ボタンを押すと **"VISUAL"** オンスクリーンディスプレイに戻ります。

"Noise Reduction" を選んだとき

❶ **MULTI CONTROL (△/▽)ボタンを押して、設定項目を選び、ENTERボタンを押す**

"Mosquito NR"：モスキートノイズが低減します。**"On 2""On 1""Off"**から選びます。
"Block NR"：**"On"**を選ぶとブロックノイズが低減します。
"3D NR"：**"On"**を選ぶと映像のノイズが低減します。
"Dot NR"：**"On"**を選ぶとドットノイズが低減します。

❷ **MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、設定項目を選び、ENTERボタンを押す**

● 手順 ❶ と ❷ を繰り返して画質を調整します。
● **RETURN** ボタンを押すと **"VISUAL"** オンスクリーンディスプレイに戻ります。
● **"3D NR"** と **"Dot NR"** は、同時にオンを選べません。

P.B.C.付きのビデオCDのメニュー再生をする ビデオCD

P.B.C.(プレイバックコントロール)機能付きビデオCDは、自動的にメニュー再生を行います。メニュー画面の手順に従って操作をしてください。(詳しい操作方法、操作ボタンは再生するソフトに付属の説明書をご覧ください)

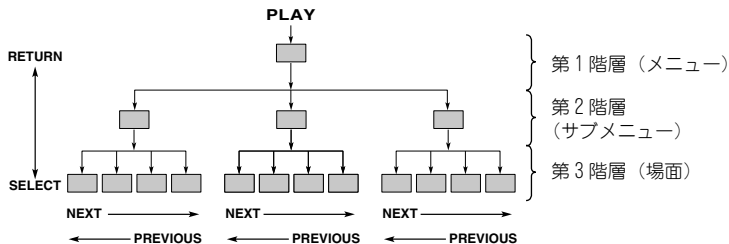
ビデオCD再生時に使われる主な操作ボタンと表示例

本機の操作ボタン	ENTER	RETURN	⏮	⏭
ソフトのジャケットの表示	▶ (SELECT)	↶● (RETURN)	⏮ (PREVIOUS)	⏭ (NEXT)

● ジャケットの表示は、ソフトによって上記と異なるものもあります。

ビデオCDメニューの階層構造について:

メニュー画面付きのP.B.C.付き ビデオCDを再生したとき、メニュー画面で項目を選ぶと、さらに詳細な項目のメニューが表示されることがあります。このように、いくつものメニューが階層的につながり、重なり合っている状態を階層構造といいます。繰り返しメニュー画面で項目を選んでいくことで、目的の場面に到達できます。

階層構造の一例:

進むとき:

ENTERボタン、または数字ボタンを使ってメニュー画面で項目を選ぶと、一つ下の階層のメニューへ進みます。進んだ先が、再生される「場面」のときは、その内容が再生されます。

戻るとき:

RETURNボタンを押すたびに、一つ上の階層へ戻っていきます。

● 各階層で選択可能なメニュー(場面)が複数ある場合は、⏮ボタンまたは⏭ボタンで画面の切り換えができます。

P.B.C.のオン/オフを切り換える

❶ P.B.C.機能付きビデオCDを入れる

❷ DVD/CD▶/II ボタンを押して入力切り換えを"DVD/CD"にする

❸ STOP■ボタンを押す

❹ P.B.C.ボタンを押す

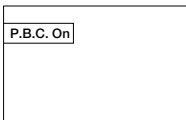
MENU/P.B.C.
FOLDER/FILE
SEARCH

押すたびに切り換わります。

P.B.C.オン: テレビに"P.B.C. On"と2秒間表示し、プレイバックコントロール付きのビデオCDをP.B.C.に従って再生します。

P.B.C.オフ: テレビに"P.B.C. Off"と2秒間表示し、プレイバックコントロール付きのビデオCDをP.B.C.をオフにして、通常の再生をします。

P.B.C.をオンにしたとき

P.B.C. On

便利な録音あれこれ

O.T.E.（ワンタッチエディット）機能を使ってCDの4倍速録音をする

CDの全曲をMDに4倍速録音できます。（4倍速全曲録音）
CDを聞いているとき、今聞いている曲だけをワンタッチで最初から録音できます。（4倍速1曲録音）

MDレコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
❷ 入力切換を "DVD/CD" にする
❸ DVD/CDプレーヤー部にディスクを入れる

録音モードの設定をしないときは手順3へ

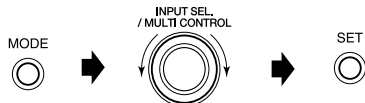
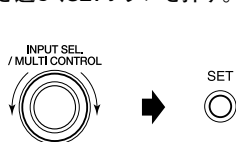
- "RDM（ランダム）" 表示が点灯しているときは、RANDOM（ランダム）ボタンを押すとランダム再生モードを解除します。

2 録音モードを選ぶ

"録音モードを設定する" を行う →60

- 録音モードの設定を省くこともできます。その場合は、標準的な設定（初期設定）で録音されます。（→60）

3 録音スピードを選ぶ

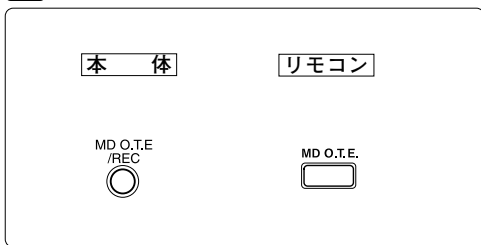
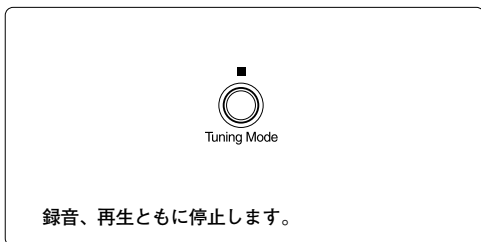
❶ MODE（モード）ボタンを押し、INPUT（インプット） SEL.（セレクター）/MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）ツマミを回して "O.T.E. SPEED（ワンタッチエディット スピード）" を選び、SET（セット）ボタンを押す。

❷ "HIGH（ハイ）" を選び、SET（セット）ボタンを押す。

ツマミを回すことにより以下のように切り換わります。

"NORMAL（ノーマル）"：MDを通常速度で録音するときに選びます（初期設定）
"HIGH（ハイ）"：MDを4倍速で録音するときに選びます

- "HIGH（ハイ）" を選ぶと、"HIGH（ハイ）" 表示が点灯します。
- "HIGH（ハイ）" を選ぶと "ANALOG（アナログ）" が選ばれていても "DIGITAL（デジタル）" に切り換わります。

4 CDの再生状態を確認する

全曲録音するとき	1曲録音するとき
再生中のときは停止させる ■ Tuning Mode	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順5を行うと、再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。 **（他の曲を録音するときは、手順4と5を繰り返します）**

5 録音を始める

CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。（異常なディスクは使用しない→129）この場合は、通常の速度で録音しなおしてください。

- **本体のMD O.T.E. /RECボタン、またはリモコンのMD O.T.E.（ワンタッチエディット）ボタンを押します。**

- 再生側か録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 4倍速録音中は音は出ません。

録音を途中でやめるには

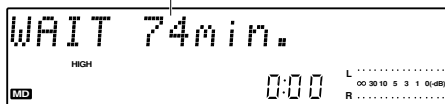
録音、再生ともに停止します。

"MD WRITING（ライティング）"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING（ライティング）"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音が終了すると.....

MDレコーダー　：停止し、"MD WRITING（ライティング）"が表示されます。

- いったん4倍速録音を始めると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じトラックを4倍速録音することはできません。

同じCDの4倍速録音ができるようになるまでの時間

- 74分以内に同じCDまたは同じトラックを録音する場合は録音スピードを"NORMAL（ノーマル）"に設定し、**"CDをMDに簡単に録音する（ワンタッチエディット録音）"**を行います。→59
- 74分以内に201曲以上を続けて4倍速録音することはできません。

CDのプログラム録音

CDの好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDに録音することができます。

MDレコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
❷ 入力切換を"DVD/CD"にする
❸ CDプレーヤーにディスクを入れる

録音モードの設定をしないときは手順3へ

- "RDM"（ランダム）表示が点灯しているときはRANDOM（ランダム）ボタンを押し、ランダム再生モードを解除します。

2 録音モードを選ぶ

"録音モードを設定する"を行う →60

- 録音モードの設定を省くこともできます。その場合の録音モードは初期設定値で録音されます。（→60）

3 CDの曲順をプログラムする

CDの"曲順を並べ替えて聞く(プログラム再生)"の手順1～2を行う →66

- プログラムした内容を取り消すには、P.MODE（モード）ボタンを押します。 →67
- MDの録音時間を超えてプログラムされた曲は途中で途切れますのでご注意ください。
- 4倍速録音中は、曲番号によっては繰り返しプログラムして録音できないことがあります。
  同じ曲番号がプログラムされたときは、"SAME TNO"（セイムトラックナンバー）が表示されます。

4 録音スピードを選ぶ

"O.T.E.機能を使ってCDの4倍速録音をする"の手順3を行う →80

5 録音を始める

本体のMD O.T.E. REC（ワンタッチエディットレコーディング）ボタンまたはリモコンのMD O.T.E.（ワンタッチエディット）を押す。

本　体

MD O.T.E
/REC

リモコン

MD O.T.E.

- 再生側や、録音側のどちらかが停止するともう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

"MD WRITING(ライティング)" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING(ライティング)" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音が終了すると.....

MD レコーダー　：停止し、"MD WRITING(ライティング)" が表示されます。

- いったん4倍速録音を始めると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じトラックを4倍速録音することはできません。

同じCDの4倍速録音ができるようになるまでの時間

- 74分以内に同じCDまたはトラックを録音する場合は録音スピードを **"NORMAL(ノーマル)"** に設定し、**"CDをMDに簡単に録音する(ワンタッチエディット録音)"**を行います。→59
- 74分以内に201曲以上を続けて4倍速録音することはできません。

応用編

MD の編集機能

市販の録音用 MD を使うと録音後に各種の編集を行うことができます。

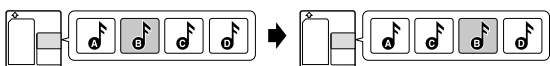
- 再生専用の一般市販ソフトのMDは編集できません。
- 編集をするときは、MDの誤消去防止つまみを録音可能側にしてください。→130

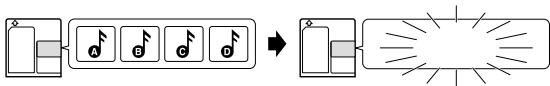
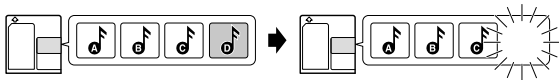
MD 規格上の機能制限について

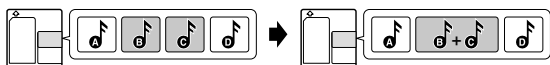
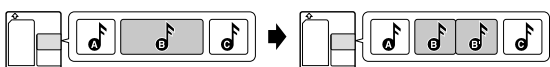
MDのいくつかの機能には規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。 →134

応用編

曲順の入れ替え

1 曲ずつ移動する（MOVE） →85

曲の消去

全曲消す（ALL ERASE） →88

1 曲消す（ERASE） →88

曲の分割と結合

曲をつなぐ（COMBINE） →90

曲を分ける（DIVIDE） →91

ディスクや曲のタイトルをつける →93
タイトルを変更、消去する →95

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。入力したタイトルは機種間の互換性があるので、他のMDレコーダー（プレーヤー）にその MD をセットしたときも表示されます。
（タイトルの互換性には表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります）

編集した内容を取り消す →96

"**MD WRITING**" が表示される前であれば、編集した内容を取り消すことができます。

1曲ずつ移動する（MOVE）

移動させたい曲を選んで目的のトラック番号の位置へ移動（挿入）します。前後の曲のトラック番号は自動的に調整されます。繰り返し行うことで目的の曲順に並べ変えることができます。

停止中にP.MODEボタンを押してプログラムモード、またはグループモードを解除してください。

停止中に曲を選んで移動する。

編集するMDを入れMD ▶/❚❚ ボタンを押して入力切換を"MD"にし、■ (停止)ボタンを押して停止させます。

1 EDIT TRACK モードを選ぶ

❶ MD EDITボタンを押し、EDIT モードにする。

MD EDIT

❷ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、"EDIT TRACK"を選ぶ

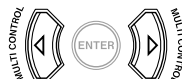
❸ 確定する

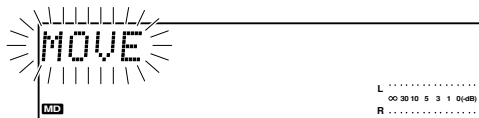
◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"EDIT TRACK"
"EDIT GROUP"
"EDIT CANCEL"

2 "MOVE" を選ぶ

❶ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、"MOVE"を選ぶ

❷ 確定する

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"MOVE"
"ERASE"

● 途中でやめるにはMD EDITボタンを押します。

次ページに続く

3 移動したい曲を選ぶ

❶ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して移動したい曲（トラック番号）を選ぶ

❷ 確定する

4 移動先を選ぶ

❶ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して曲（トラック番号）を選ぶ

❷ 確定する

"004"と"005"の間に移動する場合

曲順を1曲移動するイメージ

5 曲の移動を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能→135）

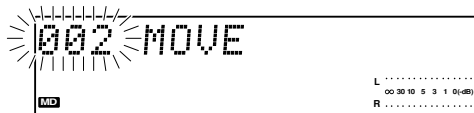
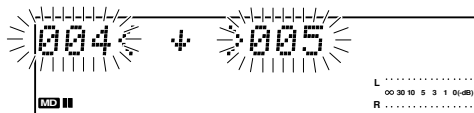
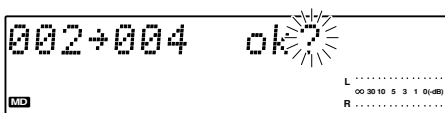
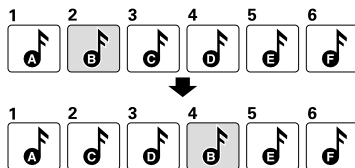
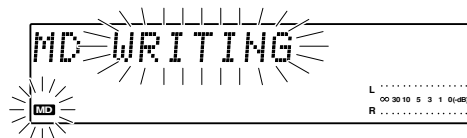
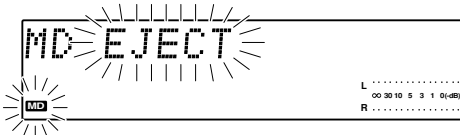
6 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →96

情報を書き込み中

MD排出中

"MD WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

応用編

再生中の曲を移動する。

編集するMDを入れMD ▶/❚❚ ボタンを押して入力切換を"MD"にします。

1 "MOVE（ムーブ）"を選ぶ

❶ MD EDIT（エディット）ボタンを押し EDIT（エディット）モードにする。

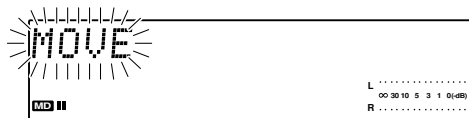
MD EDIT

❷ MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）（◁/▷）ボタンを押して、"MOVE（ムーブ）"を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

❸ 確定する

SET

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"DIVIDE（デバイド）"
"COMBINE（コンバイン）"
"ERASE（イレース）"
"MOVE（ムーブ）"

- 再生中に操作すると、一時停止状態になります。
- 途中でやめるには、手順 2 の前に MD EDIT（エディット） ボタンを押します。

2 移動先を選ぶ

❶ MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）（◁/▷）ボタンを押して、曲（トラック番号）を選ぶ

❷ 確定する

SET

"004"と"005"の間に移動する場合

曲順を1曲移動するイメージ

3 ENTER（エンター）ボタンを押して曲の移動を実行する

4 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。→96

"MD WRITING（ライティング）"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING（ライティング）"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

応用編

1曲ずつ消す(ERASE)または全曲消す(ALL ERASE)

下記の手順で 1 曲ずつまたは全ての曲を一度に消すことができます。消した曲の後の曲番号は自動的に調節されます。

停止中に P.MODE ボタンを押してプログラムモード、またはグループモードを解除してください。

停止中に曲を消す。

編集するMDを入れMD ▶/⏸ ボタンを押して入力切換を"MD"にし､■(停止)ボタンを押して停止させます。

応用編

1 EDIT TRACK モードを選ぶ

❶ MD EDIT ボタンを押す

MD EDIT

再生中、一時停止中の操作手順は " 再生中の曲を消す " をご覧ください。 →89

❷ MULTI CONTROL (◁/▷)ボタン押して､"EDIT TRACK" を選ぶ

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"EDIT TRACK"
"EDIT GROUP"
"EDIT CANCEL"

❸ 確定する

SET

2 "ERASE" を選ぶ

❶ MULTI CONTROL (◁/▷)ボタン押して、"ERASE"を選ぶ

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"MOVE"
"ERASE"

❷ 確定する

SET

- 途中でやめるには、次ページ手順 4 の前に MD EDIT ボタンを押します。

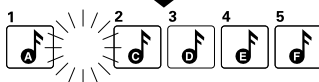
3 消したい曲を選ぶ

❶ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタン押して、"ALL ERASE" または消したい曲を選ぶ

❷ 確定する

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"ALL ERASE"：全曲が消えます

"001"、"002".....：消したい曲を選びます

ブランクディスク

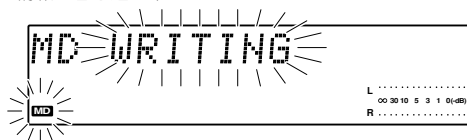
4 消去を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）

"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →135）

- 他の NET MD 対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を消すときは、"001ERASE ok"（001 は 3 で選んだ曲）と "PROTECTED ok" が交互に表示されます。よければ、もう一度 ENTER ボタンを押します。

情報を書き込み中

MD 排出中

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

5 MD を取り出す

ディスクを取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に " 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 →96

再生中の曲を消す

以下の手順で消去したい曲の再生中に操作することもできます。

❶ MD EDIT ボタンを押す。(再生中に操作すると一時停止状態になります。)

❷ ◁/▷ ボタンを押して "ERASE" を選び、SET ボタンで確定する。

以降の操作は上記 4 5 と同じです。

曲をつなぐ（COMBINE）

2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲はトラック番号が自動的に調節されます。

停止中に P.MODE ボタンを押してプログラムモード、またはグループモードを解除してください。	つなげる曲の録音モードが違うと、曲をつなぐことはできません。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 前になる曲を再生する

● 手順 1 で選んだ曲の後ろに手順 3 で選んだ曲をつなげることができます。

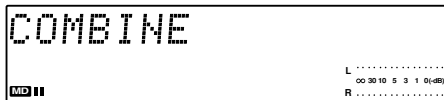
2 "COMBINE"を選ぶ

❶ MD EDITボタンを押し、MULTI CONTROL（◁/▷）ボタン押して、"COMBINE"を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

❷ 確定する

SET

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"DIVIDE"
"COMBINE"
"ERASE"
"MOVE"

● 途中でやめるには手順 4 の前に MD EDIT ボタンを押します。

3 後ろになる曲を選ぶ

❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

❷ 確定する

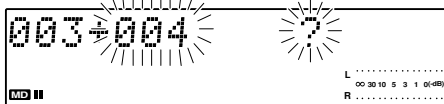
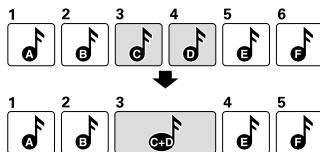
SET

現在の曲　次の曲

曲をつなぐイメージ

1 A　2 B　3 C　4 D　5 E　6 F

↓

1 A　2 B　3 C+D　4 E　5 F

前半部のトラック番号とタイトルが残る（後半部のトラック番号とタイトルは消える）

4 曲と曲の結合を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 → 135）

● 他のNET MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲をつなぐときは、"003+004 ok" と "PROTECTEDok" が交互に表示されます。よければ、もう一度 ENTER ボタンを押します。

5 編集後、▲ (MD取り出し)ボタンを押してMDを取り出す

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中に曲番号（トラック番号）を追加することにより曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。
分割した曲より後ろではトラック番号が自動的に調整されます。
プレビュー機能を使って分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

停止中にP.MODEボタンを押してプログラムモード、またはグループモードを解除してください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 分割したい曲を再生する

2 "DIVIDE"を選ぶ

❶ 曲を聴きながら分割したい位置でMD EDITボタンを押し、MULTI CONTROL（◁/▷）ボタン押して、"DIVIDE"を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
"DIVIDE"
"COMBINE"
"ERASE"
"MOVE"

❷ 確定する

一時停止中のトラック番号　分割でできる新しいトラック番号

- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。
- 途中でやめるには、手順 4 の前に MD EDIT ボタンを押します。

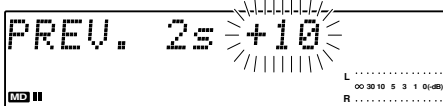
メモ　プレビューをしないときは、手順 4 に進み、ENTERボタンを押します。

3 プレビューをするとき

❶ プレビューの実行

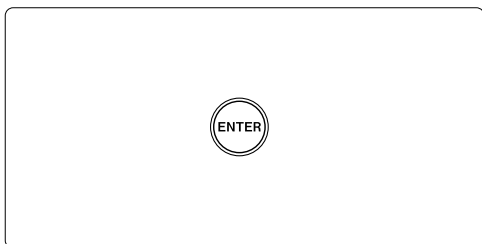
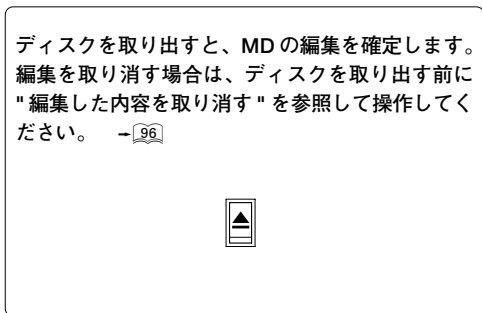
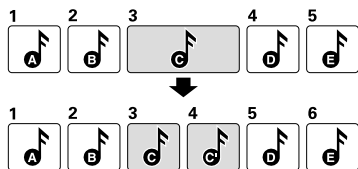
- 分割点から約２秒が繰り返し再生されます。

❷ 分割する位置の微調整をし、確定する

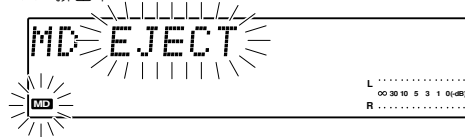
分割点からの再生経過時間（秒）　分割点が移動するステップ数

- 分割点は、MD EDIT ボタンを押したところを "0" として、約60ms（6/100秒）単位でー31〜＋31ステップ（約４秒の範囲）で調整可能です。

次ページに続く

応用編

4 曲の分割を実行する

手順 1 ～ 4 を繰り返して､最大254までトラック番号を追加できます。

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 → 135）

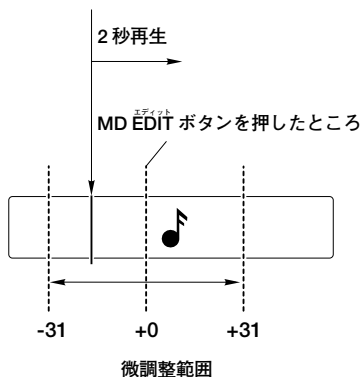
- 他のNET MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を分けるときは、"006← →007 ok"と"PROTECTEDok"が交互に表示されます。よければ、もう一度ENTERボタンを押します。
- 分割で生まれた曲間には無音部分がありません。
- MD規格の制限により、曲を分けられない場合があります。

5 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 → 96

"MD WRITING"表示中は､電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください｡"MD WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲を分けるイメージ

プレビュー再生のイメージ

分割ポイントの微調整で選んだところ

ディスクや曲のタイトルをつける

ディスクや曲の名前（タイトル）をつけておくと、再生中にタイトルが表示されます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

停止中に P.MODE（モード）ボタンを押してプログラムモード、またはグループモードを解除してください。

入力切換を "MD" にする。

1 タイトル入力状態にする

❶ TITLE INPUT（タイトル インプット）ボタンを押す

- MD から情報を読み込むため、少し時間がかかります。
- 途中でやめるには、手順 3 の前に TITLE INPUT（タイトル インプット）ボタンを押します。

❷ 編集したいタイトル（ディスクタイトルまたは、トラックタイトル）を選ぶ

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"DISC"（ディスク）: ディスクタイトル ***1**

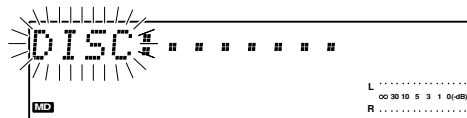
"001"、"002"..... : トラックタイトル ***2**

*1 停止中に手順 1 - ❶ を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。

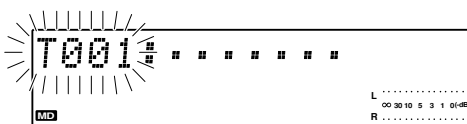
*2 ⏮または ⏭ ボタンを押すたびに "001"、"002" ･･･ とトラックタイトルが順番に表示されます。
再生中に手順 1 - ❶を行うと、演奏中のトラックから表示が始まります。

❸ 確定する

MD の録音モード（"LP2" または "LP4"）の設定でスタンプ機能を使用している場合、曲のタイトルの頭の部分に "LP: " が表示されます。 →60

ディスクタイトルのとき ：
"DISC"（ディスク）を選びます。

トラックタイトルのとき ：
目的のトラック No. を選びます。
（数字ボタンでも選べます。）

入力できる文字数について

MD 全体で最大1792 文字（英、数、記号の場合）、タイトルはそれぞれ最大 80 文字まで入力できます。カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（CLEAR（クリアー））をご利用ください。
→95

次ページに続く

2 タイトルを入力する

"Aa"、"1 2"、" アァ " のいずれも表示されていないときは、いずれかの文字入力ボタンを押してください。

❶ DISPLAY(ディスプレイ)/CHARAC.(キャラクター) ボタンを繰り返し押して文字グループを選ぶ

❷ 文字入力ボタンを押して文字を選ぶ

同じボタンを繰り返し押すと文字がかわります。

(例 :A a選択時に ② を押すと A→B→C→a→b→c のように替わります。)

❸ SET(セット) ボタンを押して文字を確定する

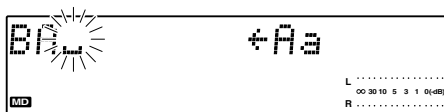
(❶ ～ ❸ を繰り返し、文字を入力します。)

文字グループは以下の通りです。

"Aa" グループ:
　Ａ～ｚ、記号

"1 2" グループ:
　０～９と記号

" アァ " グループ:
　アイウエオ・・・ガギグゲゴ・・・と記号

- ⊲/⊳ ボタンを押すと入力場所（カーソル）を左右に移動できます。
- 間違えたときは、CLEAR(クリアー) ボタンを押して消去します。

カーソルが移動、次の文字入力待ち

タイトル編集文字一覧表

ボタン ＼ グループ	"Aa"	"1 2"	"アァ"
1ア		1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
2カABC	A B C a b c	2	カ キ ク ケ コ
3サDEF	D E F d e f	3	サ シ ス セ ソ
4タGHI	G H I g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
5ナJKL	J K L j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
6ハMNO	M N O m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マ ミ ム メ モ
8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
0ワヲン゛゜		0	゛ ゜ ワ ヲ ン
+10 &()–	& ( ) - / + * = < > # % @		
+100 ' , :	' , : ? ! ; . " _ ` $ (空白)		

- ゛、゜はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
- 文字入力ボタンを１回押したとき、最初に表示されるアルファベットは、そのときの状態によって大文字と小文字が入れ替わります。

3 タイトル入力を実行する

❶ ENTER（エンター）ボタンを押してタイトル入力を確定する

❷ TITLE INPUT（タイトル インプット）ボタンを押して編集を終了する

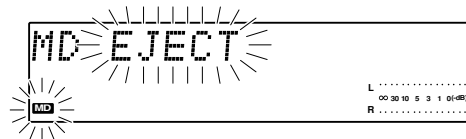
❸ ▲（MD取り出し）ボタンを押してMDを取り出す

ディスクを取り出すとMDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に"編集した内容を取り消す" を参照して操作してください。 →96

- ENTER（エンター）ボタンを押すと、次に編集するタイトル（ディスク名または曲名）を選択することができます。続けてタイトル編集をするときは、手順 1-❷ から繰り返してください。

- タイトルを確定する前に電源をオフ（スタンバイ）にしたり、TITLE INPUT（タイトル インプット）ボタンを押して設定を取り消したりすると入力中の内容は消去されます。

情報を書き込み中

MD 排出中

"MD WRITING（ライティング）" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING（ライティング）" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

タイトルを変更、消去する

❶ " ディスクや曲のタイトルをつける " の手順 1 を行い、変更または消去したいディスクタイトルまたは、トラックタイトルを選ぶ

❷ ◁/▷ ボタンを押してカーソルを変更または消去したい文字にあわせる

- 文字を挿入したいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

❸ CLEAR（クリアー）ボタンを押して文字を消去する（消去のときは手順 ❺ へ）

❹ 変更したいときは、" ディスクや曲のタイトルをつける " の手順 2 を行う

❺ " ディスクや曲のタイトルをつける " の手順 3 を行う

編集した内容を取り消す

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。
編集を取り消すときは、必ずディスクを取り出す前に行ってください。
万一、編集後にMDを取り出したり、他の録音をしたりすると取り消すことができなくなります。

停止中に P.MODE ボタンを押してプログラムモード、またはグループモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

1 "EDIT CANCEL" を選ぶ

❶ MD EDIT ボタンを押す

❷ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタン押して
"EDIT CANCEL" を選ぶ

❸ 確定する

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
"EDIT TRACK"
"EDIT GROUP"
"EDIT CANCEL"

- 編集後にＭＤ を取り出した場合などは、"EDIT CANCELx " と表示され操作できません。
- 途中でやめるには、手順 2 の前に MD EDIT ボタンを押します。

2 編集の取り消しを実行する

"CANCEL　ok?" と表示されるので、よければ ENTER ボタンを押して確定する

グループ機能

ステレオ長時間録音モード（LP2またはLP4）を使って、複数のCDを1枚のMDに録音できるようになりました。しかし、1枚のMDに収録される曲数が多くなると曲の管理も大変になります。
そこで、MDに収録されている曲を各グループごとにタイトルをつけたり、選んだグループだけを再生したりしグループに分けて管理します。収録曲が多くても簡単に操作することができます。
グループ機能はMD規格の推奨方法にもとづいています。本機でグループ登録したMDは他のMDのグループ機能対応機器でも再生・編集ができますが、一部の機種ではグループ名などが正しく表示されなかったり、編集できない場合があります。
MDに入力できる制限に近い文字数がタイトル入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。スタンプ機能で自動的につく"LP:"も文字数に含まれます。→ 60

グループ登録する

先頭曲と最終曲を選んで連続している複数の曲をグループ登録することができます。

停止中に P.MODE ボタンを押してプログラムモード、またはグループモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

例：3曲目から12曲目までをグループ登録するとき

1 "EDIT GROUP" モードにする

❶ MD EDIT ボタンを押す

❷ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、"EDIT GROUP" を選ぶ

❸ 確定する

SET

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
"EDIT TRACK"
"EDIT GROUP"
"EDIT CANCEL"

次ページに続く

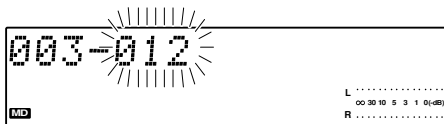
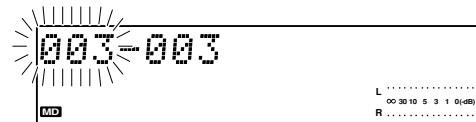
2 グループ登録する曲を選ぶ

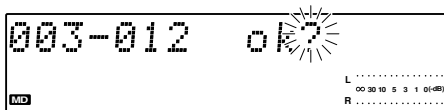
❶ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、"GR START "を選ぶ

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
"GR START"
"GR CANCEL"
"GR EDIT"

❷ 確定する

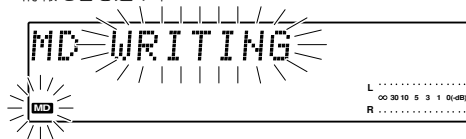
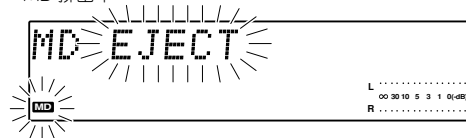
❸ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、グループの先頭曲（トラック番号）を選び、SETボタンを押す。

❹ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、グループの最終曲（トラック番号）を選び、SETボタンを押す。

● 1曲だけでもグループ登録ができます。

3 グループ操作を実行する

● 実行中は **"EDIT NOW"** と表示され、終了すると **"COMPLETE"** と表示されます。実行できないときは **"CAN'T EDIT"** と表示されます。

応用編

4 MD を取り出す

ディスクを取り出すとMDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に"編集した内容を取り消す" を参照して操作してください。 →96

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。例えば、3曲目から12曲目までをグループAにし、12曲目から18曲目までをグループBにしたい場合、12曲目を二つのグループに登録できません。
- 連続していない曲をグループに登録することはできません。例えば1曲目と3～12曲目を一つのグループに登録できません。曲を移動して連続する曲番号にしてからグループ登録しなおしてください。
- 連続している曲でも、あいだにグループをはさんで登録することはできません。例えば、すでにグループAとして5～10曲目が登録されているときに、グループBとして3～12曲目を指定すると、グループ登録できません。グループAをグループ解除してから、もう一度グループ登録しなおしてください。
- グループ数は最大99個まで登録することができます。

グループ範囲を変更する

先頭曲と最終曲を再選択してグループ登録されている曲の範囲を変更します。

停止中に P.MODE ボタンを押してプログラムモード、またはグループモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

応用編

1 "EDIT GROUP" モードにする

❶ MD EDIT ボタンを押す

MD EDIT

❷ MULTI CONTROL （◁/▷）ボタンを押して、"EDIT GROUP" を選ぶ

❸ 確定する

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"EDIT TRACK"
"EDIT GROUP"
"EDIT CANCEL"

2 " GR EDIT を設定する

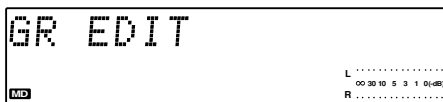
❶ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、"GR EDIT"を選ぶ

❷ 確定する

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"GR START"
"GR CANCEL"
"GR EDIT"

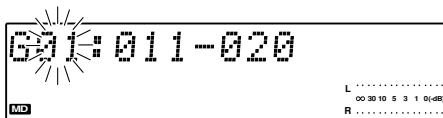
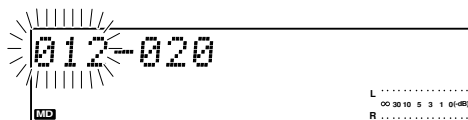
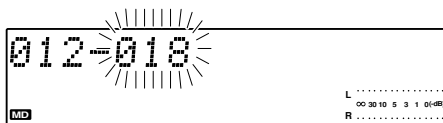
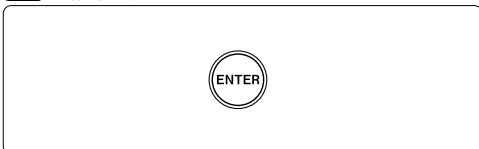
GR EDIT

L
∞ 30 10 5 3 1 0(-dB)
R
MD

3 新しくグループ登録する曲の範囲を選ぶ

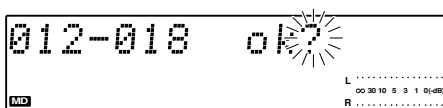
❶ MULTI CONTROL(◁/▷)ボタンを押して、範囲を変更するグループを選び、SETボタンを押す。

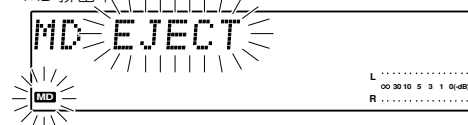
❷ MULTI CONTROL(◁/▷)ボタンを押して、グループの先頭曲(トラック番号)を選び、SETボタンを押す。

グループの先頭曲（トラック番号）を入力

❸ MULTI CONTROL （◁/▷）ボタンを押して、グループの最終曲(トラック番号)を選び、SETボタンを押す。

グループの最終曲（トラック番号）を入力

4 変更を実行する

012-018
● 実行中は "EDIT NOW" と表示され、終了すると "COMPLETE" と表示されます。実行できないときは "CAN'T EDIT" と表示されます。

5 MD を取り出す

ディスクを取り出すと MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に " 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 →96

情報を書き込み中

MD 排出中

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

グループを解除する

登録したグループを解除することができます。

停止中にP.MODE（モード）ボタンを押してプログラムモード、またはグループモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

1 "EDIT GROUP"（エディット グループ） モードにする

❶ MD EDIT（エディット） ボタンを押す

MD EDIT

❷ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）（◁/▷）ボタンを押して、"EDIT GROUP"（エディット グループ）を選ぶ

❸ 確定する

SET

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
"EDIT TRACK"（エディット トラック）
"EDIT GROUP"（エディット グループ）
"EDIT CANCEL"（エディット キャンセル）

2 " GR CANCEL"（キャンセル） を設定する

❶ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）（◁/▷）ボタンを押して、"GR CANCEL"（キャンセル） を選ぶ

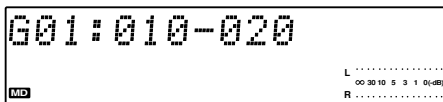
❷ 確定する

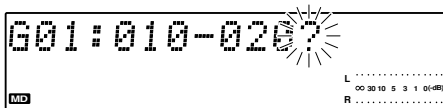
SET

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
"GR START"（スタート）
"GR CANCEL"（キャンセル）
"GR EDIT"（エディット）

応用編

3 "ALL GROUP" または解除するグループを選ぶ

❶ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、"ALL GROUP"（すべてのグループを解除）または解除するグループを選ぶ

❷ 確定する

4 グループ解除を実行する

CANCEL ALL ?

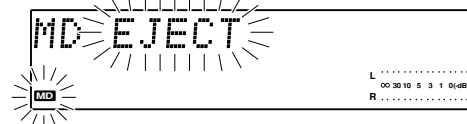
G01:010-020?

- 実行中は "EDIT NOW" と表示され、終了すると "COMPLETE" と表示されます。実行できないときは "CAN'T EDIT" と表示されます。

5 MD を取り出す

ディスクを取り出すと MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に " 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 → 96

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

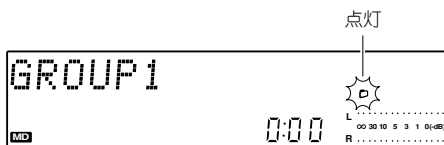
応用編

聞きたいグループを選ぶ (グループサーチ機能)

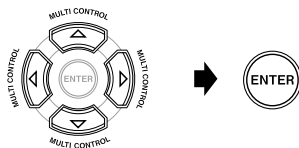
聴きたいグループの先頭の曲に簡単に飛び越します。停止中にリモコンを使って操作します。

入力切換をMDにして、グループ登録されているMDを入れる。

1 リモコンのP.MODEボタンを押してグループモードにする

2 GROUP SEARCHモードにする

GROUP SEARCHボタン(TOP MENU/GROUP SEARCH/JPEG LISTボタン)を押す

3 聴きたいグループを選ぶ

グループを選び、ENTERボタンを押す

- 選んだグループを再生するには **MD ▶/❚❚** ボタンを押します。
- グループ再生を止めるには **■ (停止)**ボタンを押します。
- グループサーチ機能を解除するには **GROUP SEARCH**ボタン(**TOP MENU/GROUP SEARCH/JPEG LIST**ボタン)をもう一度押します。

選んだグループの曲を繰り返し聞く(REPEAT)

選んだグループ内の全曲または1曲を繰り返し再生します。

REPEATボタンを押すたび、以下のように切り換わります。

① **"REPEAT"と"ONE"が点灯(1曲リピート):**
1曲だけを繰り返します

② **"REPEAT"が点灯(全曲リピート):**
グループ内の全曲を繰り返します

③ **消灯:**リピート再生をやめる

Single Colle
MD ▶ REPEAT ONE 0:00
L ∞ 30 10 5 3 1 0(-dB) R

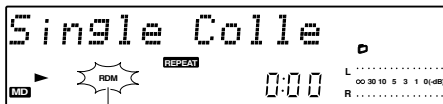
選んだグループの曲を順不同で聞く(RANDOM)

グループ内の曲を順不同で再生します。

❶ "聞きたいグループを選ぶ(グループサーチ機能)の ❶ から ❸ の操作で聞きたいグループを選ぶ →104

❷ リモコンのRANDOMボタンを押す

RANDOM

RANDOM ボタンを押して "RDM" を点灯させる。

RDM 点灯

ランダム再生を解除するには

■ (停止)ボタンを押して、RDMを消灯させます。

- グループ内の全曲の再生が 1 回終わると停止します。
- REPEATボタンを押すとランダム再生が繰り返されます。

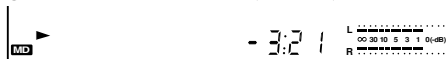
グループ再生中の時間表示について

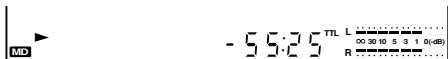
リモコンのみ

TIME DISP.

- 1曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①と②のみ表示します。
- 時間表示の合計が1000分以上になると "−−−:−−" と表示されます。

① 再生中の曲の経過時間

② 再生中の曲の残り時間 ("-" 点灯)

③ 選択されたグループの経過時間 ("TTL" 点灯)

④ 選択されたグループの残り時間 ("TTL"、"-" 点灯)

⑤ MD の録音可能残り時間

MD レコーダーのタイトル表示について

"MD レコーダーのタイトル表示について" を参照ください →48

- グループのタイトルが登録されていないときは、"GROUP ＊＊"（＊＊は番号を示します）が表示されます。

グループや曲のタイトルをつける

グループや曲のタイトルをつけると再生中にタイトルが表示されます。

入力切換をMDにして、グループ登録されているMDを入れる。

1 タイトルをつけるグループを選ぶ

"聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）の 1 から 3 の操作でタイトルをつけたいグループを選ぶ →104

- MDを読みとるまでに多少時間がかかります。
- 途中でやめるには、手順 3 の前に TITLE INPUT（タイトル インプット）ボタンを押します。

2 タイトル入力状態にする

❶ TITLE INPUT（タイトル インプット）ボタンを押す

❷ 編集したいタイトル（グループタイトル、またはトラックタイトル）を選ぶ

❸ 確定する

◁/▷ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

"G ＊＊" : グループタイトル
（"＊＊"は選んだグループ番号を表します。）

"T001"、"T002"..... : トラックタイトル

グループタイトルのとき ：
"G ＊＊" を選びます。

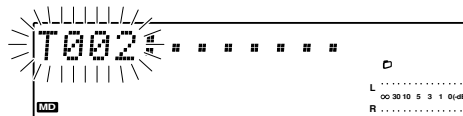
トラックタイトルのとき ：
目的のトラックNo.を選びます。

3 タイトルを入力する

以降の手順は94ページの 2 以降を参照下さい

入力できる文字数について

MD全体で最大1792文字（英、数、記号の場合）、タイトルはそれぞれ最大80文字まで入力できます。
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（CLEAR（クリアー））をご利用ください。
→95

応用編

グループ録音の設定

CD の全曲をひとつのグループとして録音するように設定することができます。

MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

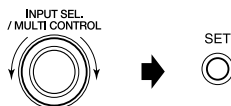
1 録音の準備をする

❶ MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる
❷ 入力切換を "DVD/CD" にする
❸ DVD/CD プレーヤー部にディスクを入れる

- "PGM(プログラム)" 表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE(モード) ボタンを押して消灯させてください。
- "RDM(ランダム)" 表示が点灯しているときは、RANDOM(ランダム) ボタンを押してランダム再生モードを解除します。
- "HIGH(ハイ)" 表示が点灯している場合、MD は 4 倍速録音になります。

2 GROUP MAKE(グループ メイク) の設定をGROUP ON(グループ オン)にする

❶ MODE(モード)ボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROL(インプット セレクター/マルチ コントロール)ツマミを回して "GROUP MAKE(グループ メイク)"を選び、SET(セット)ボタンを押す

❷ INPUT SEL./MULTI CONTROL(インプット セレクター/マルチ コントロール)ツマミを回して "GROUP ON(グループ オン)" を選び、SET(セット) ボタンを押す

ツマミを回すと、以下のように切り換わります。
"GROUP ON(グループ オン)" : CDの全曲をグループ録音に登録する設定
"GROUP OFF(グループ オフ)" : グループに登録しない設定(初期設定)

3 その他の録音モードを選ぶ

" 録音モードを設定する " を行う →60

録音モードの設定をしないときは手順 4 へ

- 録音モードの設定を省くこともできます。その場合の録音モードは初期設定値で録音されます。(→60)

応用編

次ページに続く

4 CD の再生状態を確認する

CDの再生状態を確認し、再生中のときは停止させる

AUTO/MONO

■

5 録音を始める

MD O.T.E.

- 再生側か、録音側のどちらかが停止すると、自動的に停止します。

応用編

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると.....
"MD WRITING（ライティング）" が表示されます。

"MD WRITING（ライティング）" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING（ライティング）" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

グループ登録したMDの曲を編集すると

グループに登録されている曲を編集すると次のようになります：

曲を移動する

グループ登録されている曲を移動すると移動先のグループに登録されます。移動先がグループに所属していないときは、移動した曲はグループに所属しない曲になります。

例：グループＡとして３〜５曲目が登録されていて、グループＢとして９〜12曲目が登録されているとき、グループＡの４曲目を11曲目に移動するとグループＢの曲になります。また、グループＡの４曲目を７曲目に移動するとグループに所属しない曲になります。

曲をつなげる

グループに登録されている曲をつなげると、つなげるときに前にある曲のグループに所属します。

例：グループＡとして３〜５曲目が登録されていて、グループＢとして６〜12曲目が登録されているとき、グループＡの５曲目とグループＢの６曲目をつなげると、つなげられた曲はグループＡに登録されます。また、グループＡの３曲目を２曲目とつなげると、つなげられた曲はグループに属さない曲になります。

曲を分ける

グループに登録されている曲を分けると、分けた曲も分ける前のグループに登録されます。

例：グループＡとして３〜５曲目が登録されているとき、５曲目を分けると分けてできた６曲目もグループＡに登録されます。

曲を消す

グループに登録されている曲を消す場合、グループ内の全曲を消すと、そのグループも消去されます。

例：グループＡとして３〜５曲目が登録されていて、グループＢとして６〜12曲目が登録されているとき、グループＡの３〜５曲目を消すとグループＡが消去され、このときグループＢにつけられたタイトルは変わりませんが、タイトルが登録されていない場合、表示される番号は自動的（-1）に調整されます。

- グループ機能の情報は、ディスクのタイトル情報として記録されています。グループ機能に対応していない機器でグループ登録されているMDのディスクタイトルを表示させると、通常のディスクタイトル以外の情報も表示されますが故障ではありません。
- グループ機能に対応していない機器で、グループ登録されているMDの編集操作はしないでください。
- グループ機能に対応した他のMD機器でグループ編集・登録されたMDを本機で使用すると、正しく動作しないことがあります。
- MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。

タイマーを使う

おやすみタイマー（SLEEP）

設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

タイマー再生、タイマー録音（PROG. 1、PROG. 2） →111

設定した時間帯に選んだソースを再生したり、ラジオまたは外部入力ソースを録音します。

AI タイマー再生（PROG. 1、PROG. 2） →113

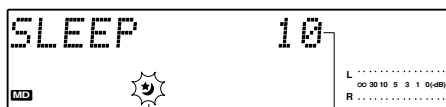
タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。

応用編

おやすみタイマー（SLEEP）

何分後に電源をオフ（スタンバイ）するか設定します。

- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
- 1回押すごとに10分ずつ増えていきます。最大90分まで設定できます。

10→20→30 ..... 70→80→90→解除→10→20 .....

おやすみタイマー表示が点灯　　セットする時間

- おやすみタイマーの動作中にSLEEPキーを押すと残り時間の確認ができます。

解除するには

電源をオフ（スタンバイ）にするか、または SLEEP ボタンを解除になるまで繰り返し押す。

プログラムタイマーを設定する (PROG. TIMER)

PROG. 1とPROG. 2 には動作する時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

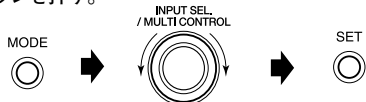
時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。 →29
" 接続のしかた " を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →12 〜 →17

1 観る、聞く(録音する)ための準備をする

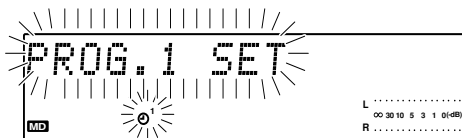
DVD/CDを観る、聞く	MD を聞く	録音する
ディスクを入れる (通常再生だけできます。)	MD を入れる (通常再生だけできます。)	録音の準備をする。→57
ラジオを聞く	**外部入力ソースを聞く**	
放送局をプリセットしておく。→50	必要に応じて外部入力端子に接続した機器のタイマー設定をする。	

- タイマー予約は、PROG. 1 と PROG. 2 の 2 系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1 と PROG. 2 の動作する時間帯が重ならないように 1 分以上の間隔をあけて予約してください。

2 プログラムタイマーの番号を設定する

❶ MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"TIMER SET" を選び、SET ボタンを押す。

❷ "PROG.1 SET" または "PROG.2 SET" を選ぶ

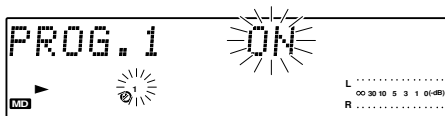
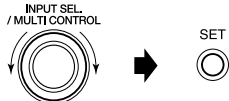
❸ 確定する

ツマミを回すたび、以下のように切り換わります。
"PROG.1 SET"
"PROG.2 SET"

- すでに設定が済んでいるタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。

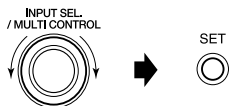
応用編

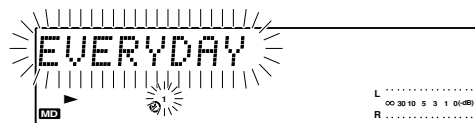
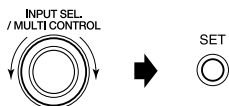
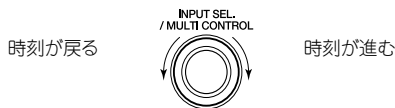
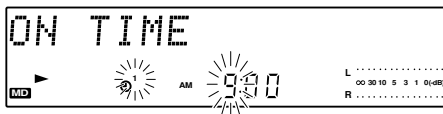
次ページに続く

3 プログラムタイマーのONを選ぶ

PROG.1 ON

- タイマーのセットを解除するときはOFFを選びます。
- OFFを選ぶと元の状態に戻ります。

4 タイマー実行曜日を選ぶ

❷ "SUNDAY"から"SATURDAY"を選んだときは1回で終了するか("ONE TIME")、毎週実行するか("EVERYWEEK")、を選ぶ

ツマミを回すたび、以下のように切り換わります。

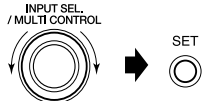
"EVERYDAY"（毎日）
"SUNDAY"（日曜日）
"MONDAY"（月曜日）
"TUESDAY"（火曜日）
"WEDNESDAY"（水曜日）
"THURSDAY"（木曜日）
"FRIDAY"（金曜日）
"SATURDAY"（土曜日）
"MON-FRI"（月曜日－金曜日）
"TUE-SAT"（火曜日－土曜日）
"SAT-SUN"（土曜日－日曜日）

5 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

- オン時刻とオフ時刻ともに❶、❷の手順を行い、"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。
- 間違えたときは、MODEボタンを押して、手順2からやり直してください。
- ラジオ番組などをタイマー録音するとき、録音したい番組の放送開始時間にあわせて本機のタイマー開始時間を設定すると、番組の最初の部分が頭切れになります。頭切れしないように録音するには、録音開始時間を番組の放送開始時間よりも1分程度早く設定してください。録音開始の不要部分は、MDの編集機能を使って録音終了後に消去できます。

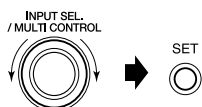
6 希望の予約を設定する

タイマー再生、AI タイマー再生をするとき

❶ モードを選ぶ

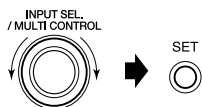
"PLAY" または "AI PLAY" を選び、SETボタンを押す

"PLAY"（タイマー再生）
"REC"（タイマー録音）
"AI PLAY" (だんだん音が大きくなるタイマー再生)

❷ 音量を調整する

音量を調整し、SETボタンを押す

- "PLAY" モード： 調整した音量で再生されます。
- "AI PLAY"モード：タイマーの再生が始まると調整した音量まで徐々に上がります。

❸ 入力ソースを選ぶ

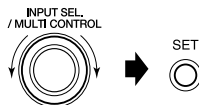
聞くソースを選び、SET ボタンを押す

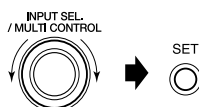
" TUNER" （ラジオ）
"DVD/CD"
"MD"
" TAPE/VIDEO1 "
"VIDEO2"
"TV"
"DIGITAL-IN"（外部デジタル入力）

次ページに続く

タイマー録音をするとき

❶ モードを選ぶ

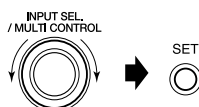
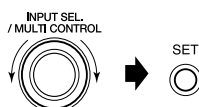
"REC" を選び、SETボタンを押す

"PLAY"（タイマー再生）
"REC"（タイマー録音）
"AI PLAY" (だんだん音が大きくなるタイマー再生)

❷ 音量を調整する

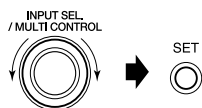
音量を調整し、SETボタンを押す

- 調整した音量で再生されます。

❸ 入力ソースを選ぶ

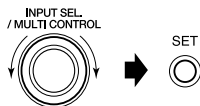
録音するソースを選び、SETボタンを押す

" TUNER" （ラジオ）
" TAPE/VIDEO1 "
"VIDEO2"
"TV"
"DIGITAL-IN"（外部デジタル入力）

❹ 放送局を選ぶ（TUNER 時のみ）

プリセットチャンネルを選び、SETボタンを押す

次ページに続く

❹ 放送局を選ぶ（TUNER 時のみ）。
プリセットチャンネルを選び、SETボタンを押す。

- SETボタンを押して設定が終了すると "COMPLETE" と表示します。

❺ 録音モードを選ぶ
録音モードを選び、SETボタンを押す

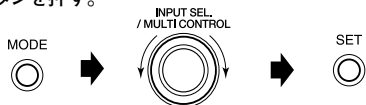
① "STEREO"
② "LP2"
③ "LP4"
④ "MONO"

❻ SETボタンを押して設定を確定する
- SETボタンを押して設定が終了すると "COMPLETE" と表示します。

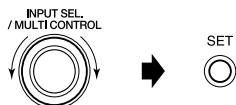
メモ　予約内容を変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

7 電源をオフ（スタンバイ）にする

- スタンバイ状態になると STANDBY/TIMER 表示灯が緑色に点灯します。
- タイマー設定後、電源がオフ（タイマースタンバイ）中に停電があったり、電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、STANDBY/TIMER 表示灯が緑色に点滅します。このような場合は、もう一度時刻を合わせてから設定をやり直してください。

タイマーの解除と再設定

❶ MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して"TIMER SET" を選び、SETボタンを押す。

❷ 解除、または再設定する "PROG.1 SET" または "PROG.2 SET" を選び、SETボタンを押す。

SET

❸ "PROG.1 OFF"または"PROG.2 OFF"を選び、SETボタンを押す。

一度設定したタイマーの解除と再設定をします。

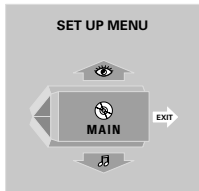
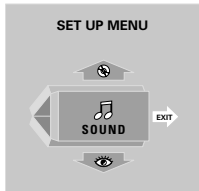
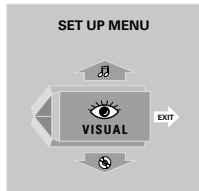
- タイマーを解除しても、設定した内容は記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーの内容はそのまま残っています。

- OFF を選ぶとタイマーが解除されてもとの表示に戻ります。

応用編

DVD/CD の設定を変更する

SETUP MENU を使って DVD/CD の設定を変更します。
SETUP MENUには、次の3種類があります。

"MAIN" →117

"SOUND" →119

"VISUAL" →121

視聴制限
DVD ビデオの視聴制限を設定します。(視聴制限に対応したDVDビデオソフトのみ機能します。)

TV アスペクト
接続したテレビに合わせて、ワイド画面（16：9）または従来サイズ画面（4：3）の設定をします。

TV モード
接続したテレビが従来サイズ（4：3）のとき、ワイド画面で収録されているソフトを表示させる方式を設定します。

OSD 位置
OSD（On Screen Display）の表示位置を設定します。

オンスクリーンメッセージ
オンスクリーンメッセージのオン／オフを切り換えます。

IPB 表示
IPB 表示のオン／オフを切り換えます。

デジタル出力 PCMダウンサンプリング変換
96kHz のハイサンプリングレートのデジタル出力するとき、ダウンサンプリング変換する／しないを設定します。

デジタル出力 DOLBY DIGITAL
DOLBY DIGITAL 出力を設定します。

デジタル出力 DTS
DTS 出力を設定します。

デジタル出力 MPEG
MPEG 出力を設定します。

サーチ音声
サーチ中の音声のオン／オフを切り換えます。

ダイナミックレンジコントロール
ダイナミックレンジコントロール機能の切り換えをします。(DOLBY DIGITALのみ)

プレーヤーメニュー言語
本機のメニュー画面などの表示言語を設定します。

ディスクメニュー言語
ディスクのメニュー画面の表示言語を設定します。

音声言語
ディスクの音声言語を設定します。

字幕言語
ディスクの字幕言語を設定します。

スチルモード
スチル画像のブレを押さえるときに選びます。

S 端子モード
本機の**S1/S2ビデオ出力**端子の出力信号を設定します。

用語説明

OSD(On Screen Display)：OSDとは、テレビ画面にメニューやアイコンなどを表示し、対話方式で操作する方法をいいます。(「オンスクリーンディスプレイを使って操作する」→72)

On Screen Message：再生、停止、サーチなどの操作をしたときにテレビ画面に表示される表示をいいます。

IPB表示(DVD)：DVDでの映像方式のMPEG2では、1画面を右の3つのピクチャータイプに分けデジタル信号に符号化しています。

I-ピクチャー(フレーム内符号化)：基準の映像であり、単独で画面を構成します。画質が最もよく、画質を調整する場合はこの静止映像が適しています。

P-ピクチャー(前方向予測符号化)：過去の映像(I-ピクチャーまたはP-ピクチャー)から算出される映像です。

B-ピクチャー(両方向予測符号化)：前後の映像(I-ピクチャーまたはP-ピクチャー)の比較から算出されるもので、映像情報がもっとも少ない画面です。

SET UP MENU の基本操作

SET UP MENU の基本的な操作方法について説明します。
SET UP MENUの各画面("MAIN"、"SOUND"、"VISUAL")を使って、必要な設定を行ってください。
ソース(音源)をDVD/CDにし、停止中にリモコンを使って操作します。設定を変更した場合、リジューム機能が解除されることがあります。

応用編

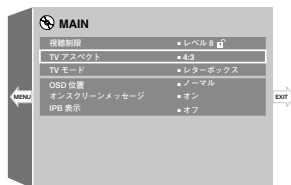
❶ DVD SET UP ボタンを押す

- **"SET UP MENU"**画面表示中に、**RETURN**ボタンを押すか、カーソル(▷)ボタンを押すと設定モードをキャンセルできます。

❷ リモコンのMULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、変更する画面を選び、ENTER ボタンを押す

押すたびに切り換わります。

MAIN → 117
SOUND → 119
VISUAL → 121

❸ MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、変更する項目を選び、ENTER ボタンを押す

- **Sub MENU**画面表示中に、カーソル(◁)ボタンを押すと**"SET UP MENU"**画面に戻ります。
- **Sub MENU**画面表示中に、カーソル(▷)ボタンを押すと**"SET UP MENU"**を終了します。

❹ MULTI CONTROL(△/▽)ボタンを押して、内容を変更し、ENTER ボタンを押す

- 画面の**"↩"**を選び**ENTER**ボタンを押すと**Sub MENU**画面に戻ります。(**RETURN**ボタンを押すか、カーソル(◁)ボタンを押しても**Sub MENU**画面に戻ります)

"MAIN"（メイン）の設定

接続したテレビに合わせる設定や視聴制限、オンスクリーンディスプレイの位置、オンスクリーンメッセージ、IPB表示の設定を行います。
操作方法は、➡116 をご覧ください。

設定項目	設定内容
"視聴制限" （視聴レベルを変更すると暗証番号入力画面になります。➡118） 初期設定値：8 制限なし	**"8 制限なし" :** 成人向け、一般向け、子供向けなどすべてのDVDソフトを再生したいとき選びます。 **"7"～"1" :** 制限レベルが記録されている DVD ソフト（成人向けや暴力シーンを含むもの）は、その制限レベルに応じて再生を制限します。 **"0 すべて不可":** すべてのDVDソフトの再生を禁止したいとき選びます。たとえば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDソフトの再生を禁止したいときなど。 **"暗証番号変更":** 暗証番号を登録した後、視聴制限の暗証番号を変更するとき選びます。（暗証番号を登録していないときは選べません） **"一時解除":** 暗証番号を登録した後、視聴制限を一時的にやめたいとき選びます。（暗証番号を登録していないときは選べません）
"TV アスペクト" 初期設定値：4：3	**"4 : 3" :** アスペクト比が4:3の従来サイズのテレビと接続したとき選びます。 **"16 : 9" :** アスペクト比が16:9のワイドサイズのテレビと接続するとき選びます。ワイドソフトはフル画面で再生されます。（テレビ側の画面モードをフルに設定してください）
"TV モード" 初期設定値：レターボックス	**"パン & スキャン" :** パン＆スキャン指定されたワイドソフトを、パン＆スキャン画面（両側または片側の切れた画面）で再生します。ただしパン＆スキャン指定のないソフトは、レターボックスで再生します。 **"レターボックス" :** パン＆スキャン指定のないワイドソフトは、レターボックス画面（上下に黒い帯のある画面）で再生します。
"OSD（オンスクリーンディスプレイ）位置" 初期設定値：ノーマル	**"ノーマル" :** テレビ画面の上部に表示させます。通常はこの設定を選びます。 **"シネマ" :** テレビ画面のやや下に表示させます。オンスクリーンディスプレイやオンスクリーンメッセージがテレビ画面からはみだしてしまうとき選びます。

設定項目	設定内容
"オンスクリーンメッセージ" 初期設定値：オン	**"オン":** オンスクリーンメッセージを表示させるときに選んでください。 **"オフ":** オンスクリーンメッセージを表示させたくないときに選んでください。
"IPB 表示" 初期設定値：オフ	**"オン":** IPB 表示をするときに選びます。 **"オフ":** IPB 表示をしないときに選びます。

暗証番号を入力する

- **プログラム再生モードのとき、"視聴制限"を設定することができません。プログラム再生を解除（→67）してから、"視聴制限"操作を行ってください。**

暗証番号を設定していないとき:

❶ カーソルボタン（△/▽）を押して、視聴レベル"0"～"7"を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

❷ 数字ボタンで暗証番号を入力し、ENTER（エンター）ボタンを押す

- 数字を間違って入力したときは、カーソルボタン（△/▽）を押して、いったん入力した数字を消してから入力し直します。

❸ 登録した暗証番号はメモをとり大切に保管してから、ENTER（エンター）ボタンを押す

- 暗証番号が登録されました。

暗証番号を変更するとき:

❶ カーソルボタン（△/▽）を押して"暗証番号変更"を選び ENTER（エンター）ボタンを押す

❷ 数字ボタンで現在設定されている暗証番号を入力し、ENTER（エンター）ボタンを押す

- 数字を間違って入力したときは、カーソルボタン（△/▽）を押して、いったん入力した数字を消してから入力し直します。

❸ 新しい暗証番号4桁を入力し、ENTER（エンター）ボタンを押す

❹ 入力した暗証番号はメモをとり大切に保管してから、ENTER（エンター）ボタンを押す

- 暗証番号が変更されました。

"SOUND" の設定

本機のデジタル音声出力端子に関連システム機器を接続したときの音声出力方式を設定します。
また DVD やビデオ CD のサーチ中の音声出力、ダイナミックレンジコントロール機能の設定を行います。
操作方法は、→116 をご覧ください。

設定項目	設定内容
"デジタル出力 PCM ダウンサンプリング変換" 初期設定値：オン	**"オン"**：96kHzのハイサンプリンググレートのデジタル出力をするとき、48 kHz/16bitのPCMにダウンコンバージョンして出力します。接続したAVアンプが96 kHzのデジタル入力に対応していないとき選びます。 **"オフ"**：ダウンコンバージョンしません。接続したAVアンプが96 kHzのデジタル入力に対応しているとき選びます。ただし、ディスクが96 kHzのデジタル出力を禁止している場合は、ダウンコンバージョンして出力します。
"デジタル出力 DOLBY DIGITAL" *1 初期設定値：ビットストリーム	**"ビットストリーム"**：ビットストリームで出力します。ドルビーデジタルデコーダーと接続するとき選びます。 **"PCM"**：48 kHz（2ch.）のPCMに変換をして出力します。ドルビーデジタルデコーダーと接続していないとき選びます。
"デジタル出力 DTS" *1 初期設定値：ビットストリーム	**"ビットストリーム"**：ビットストリームで出力します。DTSデコーダーと接続するとき選びます。 **"PCM"**：48 kHz（2ch.）のPCMに変換をして出力します。DTSデコーダーと接続していないとき選びます。
"デジタル出力MPEG"*1 初期設定値：ビットストリーム	**"ビットストリーム"**：ビットストリームで出力します。MPEGデコーダーと接続するとき選びます。 **"PCM"**：48 kHz（2ch.）のPCMに変換して出力します。MPEGデコーダーと接続していないとき選びます。

***1** ドルビーデジタルデコーダー/DTSデコーダー/MPEGデコーダー以外の機器を接続するときは **"PCM"** に設定してください。**"ビットストリーム"** に設定すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。

応用編

設定項目	設定内容
" サーチ音声 " 初期設定値：オン	**"オン"**: 早送りの速度が一段階のとき、音声が出力されます。 **"オフ"**:早送り中に音声を出力しないとき選びます。
" ダイナミックレンジコントロール " （DOLBY DIGITALのみ） 初期設定値：ノーマル	**"ワイド"**:ディスクの音声レベルで再生します。 **"ノーマル"**:最大音量と最小音量の差が少なくなります。 **"ミッドナイト"**:最大音量と最小音量の差がさらに少なくなります。深夜など、小音量で再生するとき選んでください。

"VISUAL" の設定

本機の"SET UP MENU"画面の表示言語やディスクのメニュー画面の表示言語、音声言語、字幕言語などを変更するとき選びます。(選んだ言語がそのDVDディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。また、ディスクのメニュー画面で各言語設定を行うソフトの場合は、ディスクのメニュー画面で設定にした言語になります。)
また、スチルモード、S 端子モードの設定を行います。
操作方法は →116 をご覧ください。

設定項目	設定内容
"プレーヤーメニュー言語" 初期設定値：日本語	**"英語"：**英語で表示するとき選びます。 **"フランス語"：**フランス語で表示するとき選びます。 **"スペイン語"：**スペイン語で表示するとき選びます。 **"ドイツ語"：**ドイツ語で表示するとき選びます。 **"イタリア語"：**イタリア語で表示するとき選びます。 **"日本語"：**日本語で表示するとき選びます。 **"簡体字中国語"：**簡体字中国語で表示するとき選びます。 **"繁体字中国語"：**繁体字中国語で表示するとき選びます。
"ディスクメニュー言語" 初期設定値：日本語	**"英語"：**英語で表示するとき選びます。 **"日本語"：**日本語で表示するとき選びます。 **"その他 _ _ _ _"："ディスクの言語コード表"** のコード番号で言語を指定するとき選びます。→123
"音声言語" 初期設定値：日本語	**"オリジナル"：**ディスク側で設定されている優先言語で再生するとき選びます。 **"英語"：**英語で再生するとき選びます。 **"日本語"：**日本語で再生するとき選びます。 **"その他 _ _ _ _"："ディスクの言語コード表"** のコード番号で言語を指定するとき選びます。→123

設定項目	設定内容
"字幕言語" 初期設定値：オート	**"オート" : "音声言語"**の設定に応じて、字幕言語を自動設定するとき選びます。 ● **"音声言語"**で設定した言語で再生されたときは、字幕を表示しません。 ● **"音声言語"**で設定した言語で再生されなかったときは、**"音声言語"**で設定した言語の字幕を表示します。 **"英語" :** 英語字幕を表示します。 **"日本語" :** 日本語字幕を表示します。 **"その他 _ _ _ _" : "ディスクの言語コード表"**のコード番号で言語を指定するとき選びます。→123
"スチルモード" 初期設定値：オート	**"オート" :** フレームスチルまたはフィールドスチルを自動的に切り換えるとき選びます。通常はこの設定にしてください。 **"フレーム" :** スチル映像の画質を良くしたいとき選びます。連続する2つのフィールド（スチル映像）が交互に映し出されます。映像はブレることがあります） **"フィールド" :** スチル映像をブレないようにするとき選びます。（映像情報はフレームの半分になります。画質は荒くなります）
"S端子モード" 初期設定値：ノーマル	**"ノーマル" :** S1、S2ビデオ入力に対応していないテレビのS端子に接続したときに選びます。 **"S1" :** S1ビデオ入力のみに対応しているテレビのS端子に接続したときに選びます。 **"S2" :** S2ビデオ入力に対応しているテレビのS端子に接続したときに選びます。

ディスクの言語コード表

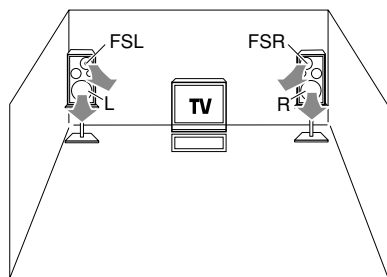
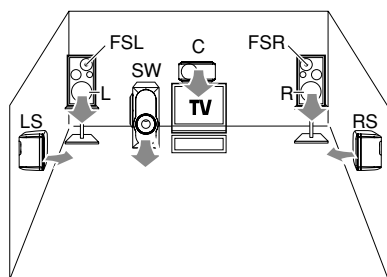
コード番号	言語
6565	アファル
6566	アブハジア
6570	アフリカーンス
6577	アムハラ
6582	アラビア
6583	アッサム
6588	アイマラ
6590	アゼルバイジャン
6665	バシキール
6669	ベルロシア（白ロシア）
6671	ブルガリア
6672	ビハール
6678	ベンガル（バングラ）
6679	チベット
6682	ブルターニュ
6765	カタロニア
6779	コルシカ
6783	チェコ
6789	ウェールズ
6865	デンマーク
6869	ドイツ
6890	ブータン
6976	ギリシャ
6978	英語
6979	エスペラント
6983	スペイン
6984	エストニア
6985	バスク
7065	ペルシャ
7073	フィンランド
7074	フィジー
7079	フェロー
7082	フランス
7089	フリジア
7165	アイルランド
7168	スコットランド（ゲール）
7176	ガリチア
7178	グアラニー
7185	グジャラト
7265	ハウサ
7273	ヒンディー
7282	クロアチア
7285	ハンガリー
7289	アルメニア
7365	インターリングア
7378	インドネシア
7383	アイスランド

コード番号	言語
7384	イタリア
7387	ヘブライ
7465	日本語
7473	イディッシュ
7487	ジャワ
7565	グルジア
7575	カザフ
7576	グリーンランド
7577	カンボジア
7578	カンナダ
7579	韓国（朝鮮）語
7583	カシミール
7585	クルド
7589	キルギス
7665	ラテン
7678	リンガラ
7679	ラオ
7684	リトアニア
7686	ラトビア（レット）
7771	マダガスカル
7773	マオリ
7775	マケドニア
7776	マラヤーラム
7778	モンゴル
7779	モルダビア
7782	マラッタ
7783	マライ（マレー）
7784	マルタ
7789	ビルマ
7865	ナウル
7869	ネパール
7876	オランダ
7879	ノルウェー
7982	オーリャ
8065	パンジャブ
8076	ポーランド
8083	パトシュ
8084	ポルトガル
8185	ケチュア
8277	レトロマンス
8279	ルーマニア
8285	ロシア
8365	サンスクリット
8368	シンド
8372	セルボクロアチア
8373	シンハラ
8375	スロバキア
8376	スロベニア
8377	サモア

コード番号	言語
8378	ショナ
8379	ソマリ
8381	アルバニア
8382	セルビア
8385	スンダ
8386	スウェーデン
8387	スワヒリ
8465	タミル
8469	テルグ
8471	タジク
8472	タイ
8473	ティグリニア
8475	トルクメン
8476	タガログ
8479	トンガ
8482	トルコ
8484	タタール
8487	トウイ
8575	ウクライナ
8582	ウルドゥー
8590	ウズベク
8673	ベトナム
8679	ヴォラピュック
8779	ウォロフ
8872	コーサ
8979	ヨルバ
9072	中国語
9085	ズールー

スピーカーの設定をする

サラウンド効果をより高めるにはスピーカーの距離や、音量を正しく合わせておく必要があります。
スピーカーの設定をすると、各スピーカーの音量を合わせたり、音の遅延時間を調整することによって、スピーカーの距離の違いを、補正することができます。

スピーカー設置例・フロントサラウンドシステム

スピーカー設置例・5.1 チャンネルシステム

L　：左フロントスピーカー
FSL：左フロントサラウンドスピーカー
C　：センタースピーカー
R　：右フロントスピーカー
FSR：右フロントサラウンドスピーカー
SR　：右サラウンドスピーカー
SL　：左サラウンドスピーカー
SW　：サブウーハー

応用編

システムの選択をする

❶ リモコンのSP SETUP（スピーカーセットアップ）ボタンを押し、MULTI CONTROL（マルチ）（◁/▷）ボタンで"SPEAKER MODE"（スピーカー モード）を選ぶ。

押すごとに次のように切り換わります。

SPEAKER MODE（スピーカー モード）
SP LEVEL（レベル）
SP DISTANCE（ディスタンス）

❷ ENTER（エンター）ボタンを押して確定する。

サラウンドシステム選択のモードになります。

❸ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）（△/▽）ボタンで"FRONT SYSTEM"（フロント システム）または"5.1CH SYSTEM"（システム）を選ぶ。

FRONT SYSTEM（フロント システム）：
フロントサラウンドシステムで楽しむ場合に選択します。（本機オリジナル）

5.1CH SYSTEM（システム）：
今後発売予定の3.1チャンネルスピーカーシステムを追加して5.1チャンネルで楽しむ場合に選択します。

❹ ENTER（エンター）ボタンを押して確定する。

- "SPEAKER MODE"（スピーカー モード）表示が点滅します。
- 操作を終了するときはSP SETUP（スピーカーセットアップ）ボタンを押します。

音量バランスの設定をする

❶ リモコンのSP SETUPボタンを押し、MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンで"SP LEVEL"を選ぶ。

押すごとに次のように切り換わります。

SPEAKER MODE
SP LEVEL
SP DISTANCE

❷ ENTERボタンを押して確定する。

❸ 手順❷の操作をするとテスト音が出て、自動的にスピーカーが切り換わります。

フロントサラウンドシステムの時

→ L → FSL → R → FSR → SW →

5.1チャンネルシステムの時

→ L → FSL → C → R → FSR → SR → SL → SW →

❹ MULTI CONTROL（△/▽）ボタンを押して音量を調節する。

＋10dBから－10dBの範囲で調整できます。

● 全てのスピーカーからの音量が同じに聞こえるように調節します。サブウーハーは、お好みに合わせて調節してください。

❺ ENTERボタンを押して確定する。

● "SP LEVEL"表示が点滅します。
● 操作を終了するときはSP SETUPボタンを押します。

スピーカー距離の設定をする

❶ リモコンのSP SETUPボタンを押し、MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンで"SP DISTANCE"を選ぶ。

押すごとに次のように切り換わります。

SPEAKER MODE
SP LEVEL
SP DISTANCE

❷ ENTERボタンを押して確定する。

スピーカー"L"の設定モードになります。

❸ MULTI CONTROL（△/▽）ボタンを押して、リスニングポジション（視聴位置）とスピーカー"L"の距離を設定する。

0.3mから9.0mの範囲で調整できます。

❹ MULTI CONTROL（◁/▷）ボタンを押して、次のスピーカーの設定をします。

フロントサラウンドシステムの時

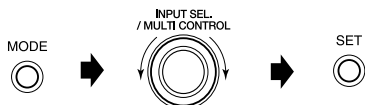
5.1チャンネルシステムの時

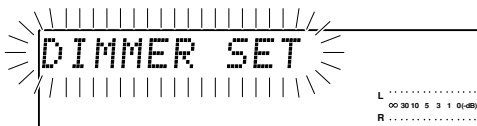
各スピーカーに対して手順❶～❸の操作で設定します。

❺ ENTERボタンを押して確定する。

● "SP DISTANCE"表示が点滅します。
● 操作を終了するときはSP SETUPボタンを押します。

応用編

表示部の明るさを設定する

リモコンのDIMMERボタンを押すたびに、明るさが切り換わります。

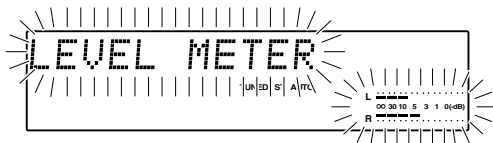
- メインアンプ**M-AXD7**の表示部の明るさも合わせて切り換わります。

ツマミを回すたび、以下のように切り換わります。

"DIMMER OFF"	（通常の明るさ）
"DIMMER ON"	（表示部の輝度を下げる）

- 約３秒後にもとの表示に戻ります。

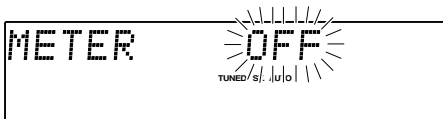
レベルメーターの ON / OFF を切り換える

1 LEVEL METER モードにする

MODEボタンを押し、INPUT SEL./MULTI CONTROLツマミを回して "LEVEL METER" を選び、SETボタンを押す。

- 表示部およびメーター部が点滅します。

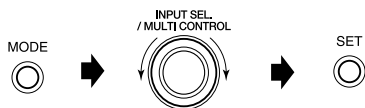
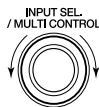
2 表示の ON/OFF を切り換える

❶ ON/OFF を切り換える

❷ 確定する

- ツマミを回すたび、表示が切り換わり**"ON"**または**"OFF"**が点滅します。

オートパワーセーブ機能について (Auto Power Save = A.P.S.)

電源がオンで、CD、MD が停止状態のとき、約30分放置すると自動的に電源がオフ（スタンバイ）になる機能です。電源を切り忘れたときなどに便利です。この機能は次の操作でオン／オフを選べます。

❶ "A.P.S. SET" を選ぶ

❷ "A.P.S. ON" または "A.P.S. OFF" を選択する

❸ 確定する

- 入力切換が **TUNER**、**TAPE/VIDEO1**、**VIDEO2**、**TV**、**AUX**、 **DIGITAL-IN**、**D.AUDIO**のときは、音量がゼロまたは **MUTE**がオンのときに限りオートパワーセーブ機能が働きます。

応用編

知っておきましょう

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ CD、MD を取り出します

❷ MD ▶/❚❚ キーを押す

```
MD NO DISC
```

❸ DVD/CD ▶/❚❚ キーを押す

```
NO DISC
```

❹ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください

❺ 数秒間待って、電源をオフにします

ディスクの取り扱いかた

ディスク取り扱上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CDディスクのご注意

レーベル面に COMPACT disc のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。
シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

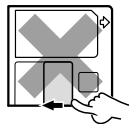
CD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RW ディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

MDの取り扱いかた

MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

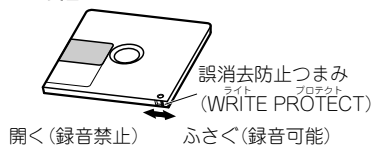
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECT）を開いた状態にしておきます。
再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

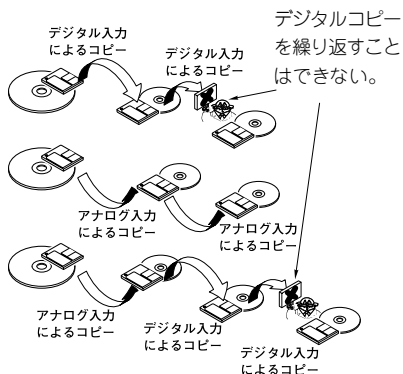
MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

Hi-MDについて

本機では対応していないので使用しないでください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話 (03)5353-0336（代表）
FAX. (03)5353-0337

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜いて約1日保持しているメモリーの内容

アンプ部 ： 電源の状態、インプットセレクター、ボリューム値、サウンドプリセット、**TAPE/VIDEO1**、**VIDEO2**、**TV**、**AUX**、および**D.AUDIO**のインプットレベル値、オートパワーセーブの設定、サウンドモード、ルームイコライザーの設定、**D-BASS**の設定、**TONE/TURN OVER**の設定、マニュアルイコライザーの設定、**DIMMER**の設定、スピーカーの設定

チューナー部 ： 受信バンド、周波数、プリセット放送局、**AUTO/MONO**の設定、タイマーの設定内容

MDレコーダー部 ： 録音モード、録音スピード、テキストコピー、グループメイク

故障かな？と思ったら…

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。
- MDのディスクが入ったままリセットすると自動的に排出されます。

電源プラグをコンセントから抜き、⏻ ボタンを押しながら、差し込み直す。

マイコンをリセットすると下記のディスプレイが表示されます。

INITIALIZE

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →23 ● 操作範囲内で操作する。 →23

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
電源が入らない。またはチャンネルが切り換わらない。	● システムコントロールコードを根元までしっかりと挿し込む。→13
音が出ない。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →12 〜 →17 ● 音量を上げる。 ● MUTE（ミュート）をオフ（解除）にする。 →31 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →31 ● 音量を上げる。 →31 ● MUTE（ミュート）をオフ（解除）にする。 →31
"STANDBY（スタンバイ）/TIMER（タイマー）" の表示が赤く点滅し,音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源コードを抜いてスピーカーコードを接続し直す。
"STANDBY（スタンバイ）/TIMER（タイマー）" の表示が緑色に点滅する。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →29
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →29
タイマーが作動しない。	● "**時刻合わせ**" をみて現在時刻を合わせる。 →29 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →112

知識編

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →14 ● 放送バンドを合わせる。 →49 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →52
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● アンテナをテレビから離す。またはテレビを消す。
プリセットしたあと、P.CALL（プリセットコール）ボタンを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →53 ● もう一度プリセットする。 →53

DVD/CD プレーヤー部

症　状	処　置
再生がはじまっても、映像が出ない。	● TVなどの入力切換が合っていない、または電源が入っていない。 ● 接続コード類が正しく接続されていない。 →15
早送り・早戻しで画像が乱れる。	● 早送り、早戻し時は、多少画面が乱れます。故障ではありません。
画質／音質がよくない。	● 接続コード類が正しく接続されていない。 →12～→17 ● 雑音源と思われる機器が、そばにある。 ● ディスクに汚れやキズがついている。汚れは拭き取り、ディスクはキズをつけないように大切に扱ってください。 →129 ● 光学レンズが結露している場合があります。このようなときには、本機の電源を切った状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。 →128
再生がはじまるまでに時間がかかる。	● ディスクの種類の検出、モーターの回転を安定させるためで、故障ではありません。
テレビ画面に警告が表示され再生ができない。	● ディスク表面に指紋や汚れがついていると再生映像が乱れたり音飛びをする場合があります。やわらかい布などで、汚れを放射状にふきとってください。 →128 ● ディスクを正しく入れ直してください。 →40 ● 視聴制限または、リージョンコードにより再生できない。 →24 →25
画面が乱れる。	● 再生したいディスクのビデオフォーマットと接続したテレビのビデオフォーマットが合っていない。 →25
ビデオ CD のメニュー再生ができない。	● P.B.C.をオフにしているときはメニュー再生できません →79 ● プレイバックコントロール付きのビデオCD以外は、メニュー再生できません。

知識編

DVD/CD プレーヤー部

症　状	処　置
字幕がでない。	● 字幕の入っていないDVDディスクは字幕が表示されません。 ● 字幕言語の設定を変える。 →71 →74
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	● 複数の音声（または字幕）言語の入っていないDVDディスクは、言語を切り換えられません。
アングルが切り換えられない。	● 複数のアングルの入っていないDVDディスクは、アングルを切り換えられません。またアングルの記録されていない部分では、アングルを切り換えられません。
視聴制限が変更できない。	● パスワードを紛失してしまった場合は、初期設定の内容を工場出荷状態に戻してください。 →131
設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● 再生しようとしているDVDディスクに、初期設定で選んだ言語が入っていないときは、ディスクの優先言語が選ばれます。
操作をしたときにテレビ画面にメッセージがでない。	● "オンスクリーンディスプレイ"が "オフ"になっている場合は "オン"にします。 →72
希望の言語でメニュー画面のメッセージがでない。	● 再生しようとしているDVDディスクに、初期設定で選んだ言語が入っていないときは、ディスクの優先言語が選ばれます。
禁止アイコンが表示され、操作を受け付けない。	● DVDやビデオCDは、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがありますのでソフトに従った操作をしてください。また本機の状態により操作が制限されている場合もあります。 →25
字幕が欠ける。	● 接続するTVの画面サイズの切り換え／画面の縦方向サイズ調整を確認してください。
テレビ画面に "This type of file can't be decoded." と表示され再生ができない。	● 本機が対応していないJPEGファイルを再生しようとしている。"使用できるディスクについて"をご覧ください。 →24
DVD/CD⏏ボタンを押しても、"LOCKED（ロックド）" と表示され、ディスクが出てこない。	● 電源プラグをコンセントから抜き、⏻ボタンを押しながら、差し込み直す。

MD レコーダー部

症　状	処　置
再生ボタンを押しても音が出ない。	● 録音済 MD または再生用 MD を入れる。
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能な MD に取り換える。 →130 ● 入力切換を録音したいソースにする。 →57 ● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。録音ソースをアナログに変更する。 →60

知識編

MD レコーダー部（MD 規格上の症状）

症　状	原　因
録音レベルが低い。（外部入力端子使用時）	● 外部入力レベルを調整する。 →54
録音後音がひずむ。（外部入力端子使用時）	● 録音レベルの設定をしていない。（外部入力使用時）外部入力レベルを調整する。 →54
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"（ディスク フル）と表示される。	● 255曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00" になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● MD全体の残り時間が 12 秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00" になります。消去された曲の合計時間が 12 秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2
録音済みの時間と、録音可能時間の合計が MD 全体の記録時間（60 分、74 分、80 分）と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"（リーディング）が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間 "READING"（リーディング）が表示されます。 ● ディスクの録音状態によっては、通常よりも長い間 "READING"（リーディング）が表示されます。
モノラル録音された MD のとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。
タイトルが 1792 文字入らない。 グループ登録できない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。 ● スタンプ（STAMP）機能で自動的に付く "LP:" や、グループ情報表示も文字数に含まれます。

＊1 録音モードが STEREO（ステレオ）モードの場合（LP2/MONO（モノラル）モードの場合：24 秒　LP4 モードの場合：48 秒）
＊2 STEREO（ステレオ）（ステレオ録音モード）、LP2（ステレオ 2 倍長時間録音モード）、LP4（ステレオ 4 倍長時間録音モード）、MONO（モノラル）（モノラル録音モード）
＊3 録音モードが STEREO（ステレオ）モードの場合（LP2/MONO（モノラル）モードの場合：4 秒 LP4 モードの場合：8 秒）

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
BLANK DISC	● 何も録音されていない MD です。
BUFFER OVER	● 74 分以内に 201 曲以上の CD を 4 倍速録音しようとしている。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。 ● プログラムモード、グループモードのときに編集しようとしている。
CAN'T SETUP	● **ROOM EQ** 用マイクが接続されていない。 またはヘッドホンが接続されている。
NO DISC	● DVD または CD が入っていない。
RANDOM	● ランダムモードのときに **MD O.T.E.** 録音をしようとしている。ランダムモードを解除する。 → 68
TEXT FULL	● 約 1500 文字以上のテキスト情報がある **CD TEXT** のテキスト情報を表示しようとしている。
NO PLAY	● **DVD または CD で TOC*** の情報が読み取れない。
DISC FULL	● 録音可能なエリアがないか、256 曲目を録音しようとしている。録音可能な MD に入れ換える。一枚のディスクには 256 曲以上録音できません。
MD NO DISC	● MD が入っていない。
MD WRITING	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、MD タイトルが書かれている。
PGM FULL	● プログラムで33曲目を選択しようとしている。 → 66
PLAY ONLY	● 再生専用の MD に録音しようとしている。録音用の MD を入れる。
PROTECTED	● MD の誤消去防止つまみが "録音禁止" になっている。"録音可能" にする。 → 130
CAN'T REC	● CD または MD が **READING** 中、もしくは CD がサーチ中に **O.T.E.** 録音しようとした。
NOT SUPPORT	● JPEG ファイルを再生中に **O.T.E.** 録音しようとした。

* CD には音声信号以外に **TOC**（**Table of Contents**）という情報が記録されています。**TOC** とは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

ディスプレイ表示	意　味
R.EQ ERROR1	● 測定しようとしている部屋のノイズが大きいため測定できません。 →32
R.EQ ERROR2	● マイクに信号の入力がないため測定できません。 →32
READING	● **TOC*** 情報を読み込んでいる。
SAME TNO	● 同じ曲を２回以上プログラムして４倍速録音しようとしている。
SCMS	● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。アナログ録音を選んでください。→60
TITLE FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 MD 全体で 1792 文字、1 曲につき最大 80 文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)カタカナを使用した場合は、1 文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(1 文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
TRAY OPEN	● DVD/CD トレイが開いている。
UTOC ERROR	● **MD** の **UTOC*** の内容が異常である。**"ALL ERASE"** を行う。→88 消去できないときは、MD を取り換える。
WAIT 74min.	● CD から MD に 4 倍速録音をしたのちに同じ曲を 4 倍速録音しようとしている。再録音できるまでの時間が表示される。
・・・・・・・・・	● MD タイトルが書かれていない。

* CD には音声信号以外に **TOC**（**Table of Contents**）という情報が記録されています。**TOC** とは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
録音用 MD に特有な情報を **UTOC** と呼びます。この **UTOC** には、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

知識編

定　格

メインアンプ（M-AXD7）

[オーディオ部]

2チャンネル動作時
- 実用最大出力 .... 50 W + 50 W（JEITA、6 Ω）
- S/N比 .... 105 dB（JEITA）
- 全高調波ひずみ率 ... 0.0025%（1 kHz、19 W、6 Ω）

4チャンネル動作時
- 実用最大出力
  - フロント .... 25 W + 25 W（JEITA、6 Ω）
  - サラウンド .... 25 W + 25 W（JEITA、6 Ω）
- S/N比 .... 100 dB（JEITA）
- 全高調波ひずみ率 ..... 0.003%（1 kHz、10 W、6 Ω）

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V、50 Hz/ 60 Hz
待機時消費電力 .... 0.07 W以下
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） ..... 130 W
最大外形寸法 .... 幅　270 mm
高さ　101 mm
奥行　336 mm
質量（重量） .... 5 kg（正味）

プリアンプ（C-AXD7）

[オーディオ部]

S/N比 .... 100 dB
（CD再生、テープ/ビデオ1出力、JEITA測定法による）
全高調波ひずみ率 .... 0.001 %
（CD再生、テープ/ビデオ1出力、JEITA測定法による）
トーンコントロール特性
- BASS（TURN OVER 100 Hz） ...... ±3.1dB(at 100 Hz)
- （TURN OVER 150 Hz） ...... ±5.1dB(at 100 Hz)
- （TURN OVER 200 Hz） ...... ±5.7dB(at 100 Hz)
- TREBLE（TURN OVER　5 kHz） .. ±5.7dB(at 10 kHz)
- （TURN OVER　7 kHz） .. ±5.1dB(at 10 kHz)
- （TURN OVER 10 kHz） .. ±3.1dB(at 10 kHz)

グラフィックイコライザー特性
- 調整中心周波数 .... 63 Hz、160 Hz、400 Hz、1 kHz、2.5 kHz、6.3 kHz、16 kHz
- 可変範囲 .... ±8 dB

D-BASS
- Movieモード（+10） .... +15 dB(40Hz、Vol. 60)
- Musicモード（+10） .... +13 dB(40Hz、Vol. 60)

入力端子（感度／インピーダンス）
- テープ/ビデオ1、ビデオ2、テレビ、AUX .... 700 mV / 40 kΩ
- D.AUDIO IN .... 250 mV / 10 kΩ

出力端子（レベル／インピーダンス）
- テープ/ビデオ1 .... 700 mV / 600 Ω（10k Ω負荷）
- プリアウト（フロント、サラウンド1、サラウンド2、センター、サブウーハー） .... 600 mV / 600 Ω（10k Ω負荷）
- D.AUDIO OUT .... 1 V /32 Ω（10k Ω負荷）

[デジタル部]

入力端子（光デジタル入力 PCM）
- 対応サンプリング周波数 .. 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

出力端子（光デジタル出力 PCM/ビットストリーム）
- .... -21 ～ -15 dBm（波長 660 nm）

知識編

[チューナー部]

FMチューナー部
- 受信周波数範囲 .... 76 MHz～90 MHz
- アンテナインピーダンス .... 75 Ω不平衡

AMチューナー部
- 受信周波数範囲 .... 531 kHz～1,629 kHz

[DVD/CDプレーヤー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
信号方式 .... NTSC
映像出力（ビデオ端子） .... 1 Vp-p（75 Ω）
S映像出力（S1/S2ビデオ端子）
- Y出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
- C出力レベル .... 0.286 Vp-p（75 Ω）

コンポーネント映像出力（D1/D2端子）
- Y信号 .... 1 Vp-p（75 Ω）
- Cb信号 .... 0.7 Vp-p（75 Ω）
- Cr信号 .... 0.7 Vp-p（75 Ω）

[MDレコーダー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）

記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式

回転数 .... 400 rpm〜900 rpm(CLV)

音声圧縮方式 .... ATRAC, ATRAC 3

D/Aコンバーター .... 1 Bit

オーバーサンプリング .... 8 fs (352.8 kHz)

A/Dコンバーター

.... ΔΣ方式 64fs オーバーサンプリング

サンプリング周波数 .... 44.1 kHz

レーザー情報

波長 .... 765〜805 nm

レーザーパワークラス .... Class 3B

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V, 50 Hz/ 60 Hz

待機時消費電力 0.2W以下

定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） .... 54 W

最大外形寸法 .... 幅 270 mm
高さ 101 mm
奥行 347 mm

質量（重量） .... 5 kg(正味)

スピーカーシステム (LS-AXD7)

形式

フロントスピーカー部

.... 2ウェイ2スピーカーシステム

.... 防磁設計（JEITA規格グレードⅡ）

フロントサラウンドスピーカー部

.... 1ウェイ1スピーカーシステム

.... 防磁設計（JEITA規格グレードⅡ）

エンクロージャー .... バスレフ型

スピーカー構成

ウーファー .... 120 mmコーン型

ツイーター .... 25 mmバランスドーム型

フルレンジ .... 50 mmコーン型

インピーダンス .... 6 Ω

最大入力 .... 50 W

出力音圧レベル

フロントスピーカー部 .... 85 dB/W at 1 m

フロントサラウンドスピーカー部 ..... 81 dB/W at 1 m

再生周波数特性

フロントスピーカー部 .... 45 Hz 〜 20,000 Hz

フロントサラウンドスピーカー部

.... 140 Hz 〜 20,000 Hz

最大外形寸法 .... 幅 164 mm
高さ 330 mm
奥行 211 mm

質量（重量） .... 3.9 kg(1本)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

ご注意

1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書
製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
(お問い合わせ先は「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の保有期間
当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について
システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

知識編

修理を依頼される時は
「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は
保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理
「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は
保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み
(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料: 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話(　　　)　　　-

ケンウッド全国サービス網

2005年10月現在

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道

札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740

東北

仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311

関東・信越

さいたまサービスセンター	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-311-1(加茂宮ビル1F)	☎(048) 664-3611
千葉サービスセンター	〒277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
東京サービステーション	〒169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
新潟サービスステーション	〒950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736

中部・甲州

名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
静岡サービスステーション	〒420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
松本サービスステーション	〒390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
金沢サービスステーション	〒920-0036	金沢市元菊町21-87(第2濱伍ビル1F)	☎(076) 265-5045

近畿・四国

大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〒760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413

中国

広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210

九州

福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〒890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010

カスタマーサポートセンター 〒226-8525 横浜市緑区白山1-16-2
☎(0570)010-114(ナビダイヤル) 携帯電話･PHSでのご利用は ☎ (045) 933-5133
FAX (045) 933-5553

- ケンウッドサービス窓口 営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター 営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

（各サービス窓口の名称､所在地､電話番号は変更になることがありますのでご了承ください）

知識編

KENWOOD

株式会社ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは､カスタマーサポートセンターをご利用ください。

電話 (0570)010-114（ナビダイヤル） 携帯電話･PHSでのご利用は (045) 933-5133

FAX（045）933-5553

住所 〒226-8525 横浜市緑区白山 1-16-2

アフターサービスについては､お買い上げの販売店か､または､上記「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ､最寄りのサービス窓口にご相談ください。